取扱説明書

はじめに
設置と準備
S-VHS側の操作
DVD側の操作
ダビング
他機との接続
その他

DVDプレーヤー 一体型S-VHSビデオ

型名 HR-DS1

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（５～８ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

LPT0735-001B

もくじ

最初にお読みください

もくじ 2
主な特長 4
付属品を確かめる 4
安全上のご注意 5
使用上のご注意 9
ディスクについて 12
各部の名称 14
リモコンの使いかた 20
ビクター以外のテレビを操作する 20
2 台以上のビクター製ビデオを操作する 21

設置と接続をする

接続 22
アンテナとテレビをつなぐ 22
本機とテレビをつなぐ 25
テレビ画面のサイズを設定する 26
受信チャンネルを設定する 28
ガイドチャンネルを設定する 38
日付と時刻を設定する 40

S-VHS側の操作をする

ビデオを見る 41
番組を録画する 44
G コード® 機能を使って予約する 46
G コード® 機能を使わずに予約する 48
予約を確認する 50
予約を変更・取消しする 51
番組の頭出しをする 52
コマーシャルを飛ばして録画・再生する 53
コマ送りやスローで再生する 54
VHSテープにS-VHS画質で録画する 55
再生中の映像を調節する 56
聞きたい音声を選ぶ 57
最適な画質に設定する 58
最適な画質で録画する 59
省電力の設定 60

DVD側の操作をする

ディスクを再生する 62
DVD のメニューを使って再生する 63
映像を見ながら早送り／早戻しする 64
コマ送り再生する 65
スローで再生する 65
場面の頭出しや曲をスキップする 66
続きから見る（リジューム機能） 67
再生設定メニューを使う 68
再生設定メニューについて 68
再生設定メニューの操作方法 69
1場面（1曲）または全番組（全曲）をくり返し再生する（リピート） 70
指定した範囲をくり返し再生する（A-Bリピート） 71
チャプター番号を指定して再生する（チャプターサーチ） 72
指定した時間から再生する（タイムサーチ） 73
選んだ順番に再生する（プログラム再生） 74
本機が選んだ順番に再生する（ランダム再生） 75
いろいろな再生 76
ビデオCDメニューから選ぶ（PBC再生） 76
動画を連続写真のように表示する（ストロボ再生） 77
DVDビデオ映像のアングルを変える（アングル） 78
字幕を切り換える（字幕言語） 80
音声言語や音声を選ぶ（音声言語） 81
画面を拡大する（ズーム） 82
ダイジェスト画面から見たい場面を選ぶ（ダイジェスト） 83
効果的なサウンドを楽しむ（3Dフォニック） 84
DVD 画質を調整する（シアターモード） 85
ディスクの時間情報を見る 86

MP3ディスクの操作（DVD側）

MP3 ディスクについて 88
MP3 ディスクの操作 89
MP3 ファイルを再生する 89
数字ボタンで2ケタまでのトラック／グループを選ぶ 90
数字ボタンで3ケタのトラックを選ぶ 91
グループを好きな順番で再生する（プログラム再生） 92
本機が選んだ順番でグループを再生する（ランダム再生） 94
グループ、またはグループ全体をくり返す（リピート） 96
視聴制限を設定する（パレンタルロック） 98
設定を変更する 100
パレンタルロックを一時解除する 102

ダビングする

テープをダビングする 104
他機で再生、本機で録画する 104
本機で再生、他機で録画する 105
DVD側からS-VHS側へダビングする 106
DVDビデオをS-VHSテープにダビングする 106
オーディオ機器とつないでダビングする 107
光デジタル音声出力でデジタル録音する 107

他機と接続する

BS デジタルチューナー内蔵テレビをつなぐ 108
BS デジタルチューナーをつなぐ 109
デジタル CS チューナーをつなぐ 110
CATV をつなぐ 111
BS/CS デジタルチューナーとつないで録画予約する 112
ビデオコントロール端子に接続して録画予約する（BS デジタルリンク予約） 112
ビデオコントロール端子を使わずに録画予約する（着信予約） 114
オーディオ機器とつなぐ 115
本機とドルビーデジタルデコーダーまたはDTS 内蔵アンプをつなぐ 115

メニューを使って設定する

メニューの使いかた 116
メニュー画面一覧 116
DVD 設定メニュー 117
再生設定メニュー 118
お買い上げの時の設定を変える（S-VHS側） 119
モード選択の設定内容について 120
お買い上げの時の設定を変える（DVD側） 122
DVD 設定メニューについて 123

その他

チャイルドロックとその他の機能 126
故障かな？と思ったら 127
S-VHS 側 127
DVD 側 129
地域番号一覧表 130
ガイドチャンネル一覧表 134
言語コード一覧表 135
カントリーコード一覧表 136
ビクターサービス窓口案内 138
保証とアフターサービス 140
別売品のご案内 141
主な仕様 142
索引 143

主な特長

他社製テレビ、4台のビクター製ビデオも操作できる
マルチブランドリモコン ☞20

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
Gコード® 予約* ☞46

CM部分を自動的にカットして録画する
オートCMカット ☞53

停止した場所からDVDが再生できる
リジューム機能 ☞67

＊Gコード(又はG-CODE)は、ジェムスター社の登録商標です。
＊Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

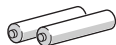
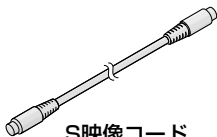
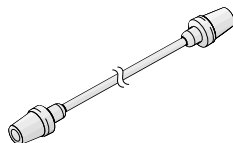
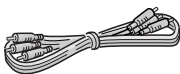
CD-Rに記録したMP3ファイルの再生ができる
MP3ファイルの再生 ☞89

BS/CSデジタル放送などの録画予約が簡単にできる
BSデジタルリンク予約 ☞112

ドルビーデジタル/DTSサラウンドに対応した
ドルビーデジタル/DTS対応光音声出力 ☞115

付属品を確かめる

箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。

リモコン

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

S映像コード
（1.2 m）

アンテナコード（1.2m）
（地上波放送用）

映像／音声コード
（1.2m）

商標と著作権

・本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・Dolby、ドルビーデジタルおよびダブルD記号DDは、ドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物、著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
・本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
DTSは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。著作権1996年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。
・DVDディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、レンタルすることは、法律により禁止されています。
・DVDロゴは商標です。

S-VHS／VHS側の動作または操作が書かれています。

DVD側の動作または操作が書かれています。

DVD-VIDEO DVDビデオが操作できます。

ビデオCDが操作できます。

音楽CDが操作できます。

CD-R/RWが操作できます。

CD-ROMが操作できます。

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

- 注意(警告を含む) が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

- してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止

- 必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

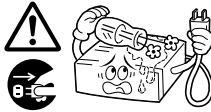
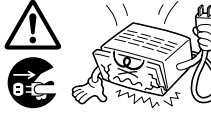
お断り

- この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

■ 火災や感電の原因となります。

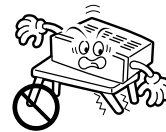
- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

- 内部に水や物が入ってしまったとき。

- 落としたり、キャビネットが破損したとき。

- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■ このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。

■ お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

表示された電源電圧(交流 100V)以外で使用しない

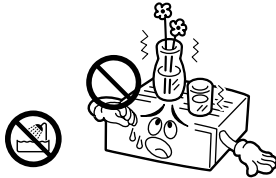
■ 火災や感電の原因となります。

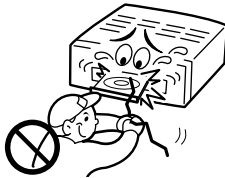
⚠警告

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

この機器の上に水の入ったもの（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

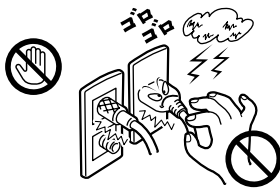
■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

内部に物を入れない

■ 通風孔、ビデオカセットやディスク出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

ぬらさない

■ 火災や感電の原因となります。

■ 風呂場では使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

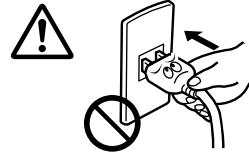
■ 感電の原因となります。

電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

この機器のカバー（キャビネット）は外したり、改造しない

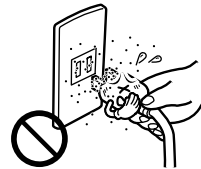
■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

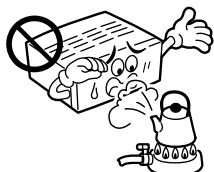
■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。

電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・電源コードを加工しない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
・電源コードを熱器具に近づけない。

電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

⚠注意

次のような所には置かない

■ 火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

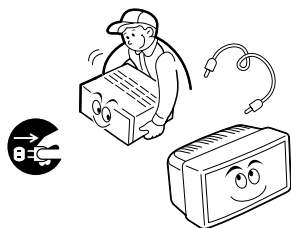
通風孔をふさがない

■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

次のことに注意してください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団などの上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

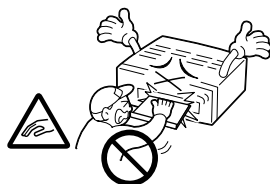
■ ファンの通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
■ ディスクも取り出しておいてください。

この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

ディスクトレイに手を入れない

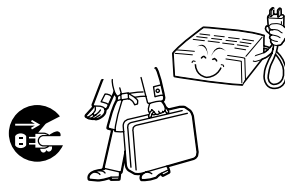
■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。また、重みでカバー(キャビネット)が変形して、内部の部品が破損・故障し、火災や感電の原因となることがあります。

この機器の上や下に重ねて置かない

■ お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したりして、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

⚠注意

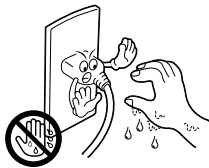
お手入れをするときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

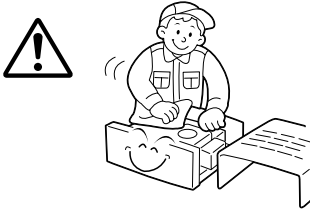
電源プラグはコードの部分を持って抜かない

■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

■ 感電の原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

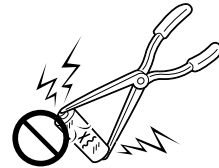
■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

トレイやカセット挿入口の前に物を置かない

■ カセットを取り出す時やディスクトレイが開く時に、前にある物が倒れてやけどや破損、けがの原因となる場合があります。本機の前に物は置かないでください。

電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(＋)とマイナス(ー)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

- 電池(電池ケース)のプラス(＋)、マイナス(ー)をショートさせない。
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。

■ **もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。**

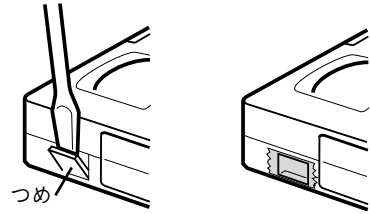
使用上のご注意

ご使用の前にお読みください。

大切な録画の前に

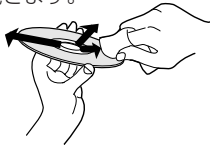
- ■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画･録音されていることを確かめてください。
- ■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
- ■ 万一、本機およびビデオカセットテープの不具合により、正常に録画･録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

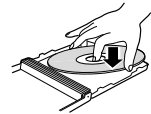
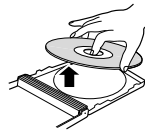
- ■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
- ■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に張ってください。

きれいな画面でご覧いただくために(ディスクのお手入れ)

- ■ ディスクに付いた指紋やほこりなどの汚れは映像や音声の乱れの原因になります。柔らかい布などでいつもきれいにしておきましょう。

■ ディスクのお手入れ

- ● 柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭きます。

- ● 汚れがひどいときは、少し水で湿らせた布で軽く拭きとり乾いた布で仕上げてください。
- ● シンナーやベンジン、従来のアナログレコード用クリーナー、静電気防止用スプレーなどは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となる場合があります。

■ ディスクのとり扱いかた

- ● ディスクを取り出す
- ● ディスクをしまう

- ● 正しいディスクの持ちかた

・再生面に手を触れないように持ってください。

■ 再生用レンズが汚れたときは

長期間使用していると、再生用レンズにほこりや汚れなどが付着して正常な再生ができなくなる場合があります。使用回数や設置環境にもよりますが、市販のDVDレンズクリーナーで半年に一度は、クリーニングすることをおすすめいたします。クリーニング方法については、レンズクリーナーの取扱説明書も良くお読みください。

著作権保護技術について

本機は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

著作権について

- ・ 著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送を録画･ダビングできません。
- ・ 本機で録画･編集したものや縮小画面等を、営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

使用上のご注意（つづき）

ビデオカセットテープをきれいな画面でご覧いただくために(クリーニングテープ)

■ 本機にはオートヘッドクリーニング機構が付いていますが、長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。このようなときは、別売の「ビデオデッキクリーナー」でビデオヘッドを掃除してください。

■ こんな症状になったら

- テープを再生すると、ザラザラした画面になる。
- 映像が不鮮明、または映らない。
- 画面に「クリーニングテープをおためしください」と表示される。またこのとき本体表示窓にU1が表示される。（画面表示はメニューの「オンスクリーン」（**120**ページ参照）が「切」に設定されていると表示されません。）

こんなときは

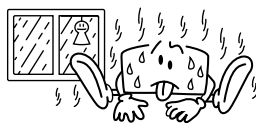
- 乾式の**ビデオデッキクリーナーTCL-SD（別売）**を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

■ ヘッドの汚れの原因

- 高温･多湿(梅雨時期など)
- 空気中のほこり

- テープの傷、汚れ
- 長時間の使用など

■ ビデオデッキクリーナーを使っても正常な画面にならないときは

お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口(**138**～**139**ページ)にご相談ください。

つゆつきにご注意

■ つゆつきとは

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」（または結露）といいます。

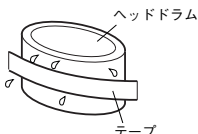
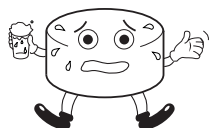
■ つゆつきが発生すると

本機内部のレンズやヘッドドラムに水滴が付き、正常に動作しないことがあります。

■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。

- 本機を、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、ディスクやビデオカセットを取り出して**あらかじめ本機の電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。

■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。本機の電源を入れて数時間待ってからご使用ください。もし何時間たっても正常に動作しないときはお買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口（**138**～**139**ページ）にご相談ください。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

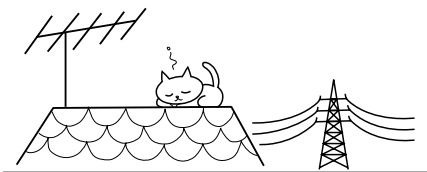
内容の補償について

■ 万一、本機の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ビデオカセットテープは

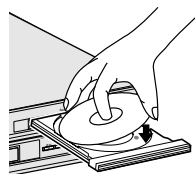
■ ビデオカセットは S-VHS、VHS タイプをお使いください。
■ 録画済みテープに上書きして録画すると、前に録画されたものは消されます。
■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。
■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ディスクの取扱上のお願い

■ シンナーやベンジン、アルコール、レコードクリーナーでふかない。
■ プロテクター（傷つき防止用）などは使わない。
■ シールや紙などのラベルを張らない。
■ シールやラベルが剥がれたディスクは使わない。
■ 市販のラベルプリンターなどを使用して印刷したディスクは使わない。
■ 円形以外の特殊形状（ハート、長方形等）のディスクや大きくそったり、ひび割れたディスクを使用すると故障の原因になります。

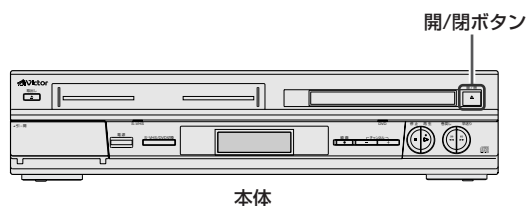
ディスクの入れかた

●ディスクの入れかた

文字のある面を上にしてディスクトレイの上に置きます。再生するディスクによっては大きさが違いますので、溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

・ 開閉中のディスクトレイを手でおさえたりしないでください。故障の原因となります。
・ 再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイの上に乗せないでください。
・ ディスクトレイを上から強く押したり、上にものを置かないでください。
・ 8センチディスクは、内側の凹部に置きます。

●ディスクトレイの開き方

本体の開／閉ボタンを押す

本体

・ 再度本体の開／閉ボタンを押すとディスクトレイは閉じます。
・ ディスクトレイの開閉は、本体の開／閉ボタン操作で行なってください。

ディスクの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
　・ 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
　・ 直射日光が当たるところや暖房器具の近く
　・ 夏の自動車の車内
■ 落としたり衝撃を与えないでください。
■ ケースに入れて、立てて保管してください。
■ ケースに入れないで重ねたり、立てかけたり、落としたりすると変形やひび割れの原因になります。

ディスクについて

再生できるディスク

本機で、再生できるディスクと表示マーク（ロゴ）は次のディスクです。

DVDビデオ	ビデオCD
DVD VIDEO 2 または ALL リージョン番号	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD
音楽用CD	CD-R
COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD-DA ファイル	COMPACT disc Recordable CD-DA/MP3 ファイル
CD-RW	CD-ROM
COMPACT disc ReWritable CD-DA/MP3 ファイル	COMPACT disc MP3 ファイル

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 本機は、日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。
- DVDビデオにはリージョン（地域）番号が表示されています。リージョン番号が「ALL」または「2」が含まれているときのみ本機で再生できます。
- 本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- DVDビデオの2層ディスクの場合、1層から2層目に切り換えるとき、映像や音声が乱れることがありますが、これは故障ではありません。

リージョン番号について

DVDビデオには、世界を6つの区域に分けたリージョン番号と呼ばれる、再生可能な地域番号が割り当てられています。この番号が本機のリージョン番号と一致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオのディスク上に「ALL」または「2」が表示されているディスクに限り再生できます。

本機で再生できるDVDビデオの表示例

再生できないディスクについて

本機では次の種類のディスクは再生することができません。いずれのディスクでも、ひび割れ、変形または接着剤などで補修したような壊れたディスクやハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプCDなど）は再生できません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。

- CD-ROM（PHOTO-CD,CD-Gを含む）
- DVDオーディオ
- スーパーオーディオCD（SACD）
- 1.3GBの倍密度CD（DDCD）
- ハイデンシティーCD（HDCD CD）

次のようなディスクも再生できません。

- 「2」以外のリージョン番号のディスク
- リージョン番号が「2」でも、NTSC方式以外の映像方式（PAL, SECAM）のディスク
- DVD+RWフォーマットのディスク
- DVD-RWフォーマットのディスク
- DVD-RAM

DVDビデオの表示マーク

DVDのディスクやパッケージに、ディスクに記録されている内容や機能をマークで表示している場合があります。マークを確認して内容や機能を確認してください。ただし、機能があっても表示マークのない場合もあります。

●映像に関する表示

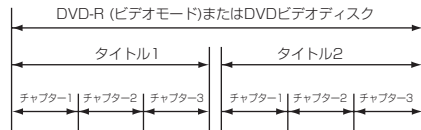
マーク	内　容
2	字幕の数
3	アングル数
4:3	4:3の標準サイズで記録されている。
LB	4:3の標準サイズで上下に黒帯が入っている画面（レターボックス）
16:9 LB	ワイドテレビではワイド画像(16:9)、画面サイズが4:3のテレビではレターボックスで再生される。
16:9 PS	ワイドテレビではワイド画像(16:9)、画面サイズが4:3のテレビではパン＆スキャン(両側または片側が切れた)画面で再生される。

●音声に関する表示

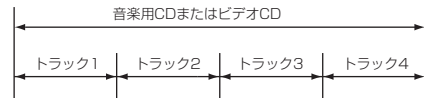
マーク	内　容
3	音声トラックの数
DOLBY DIGITAL	ドルビーデジタル表示 ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声の圧縮技術です。本機の光デジタル音声出力端子は、5-1チャンネル「フロントーL/R, センター, リアーL/R, LFE (Low Frequency Effect)」のサラウンド音声まで対応しています。
dts DIGITAL OUT	DTS(Digital Theater System) 本機の光デジタル音声出力端子に、DTSデコーダーを内蔵したアンプを接続するとDTS音声を楽しめます。

ディスクのファイル構造

DVDビデオ

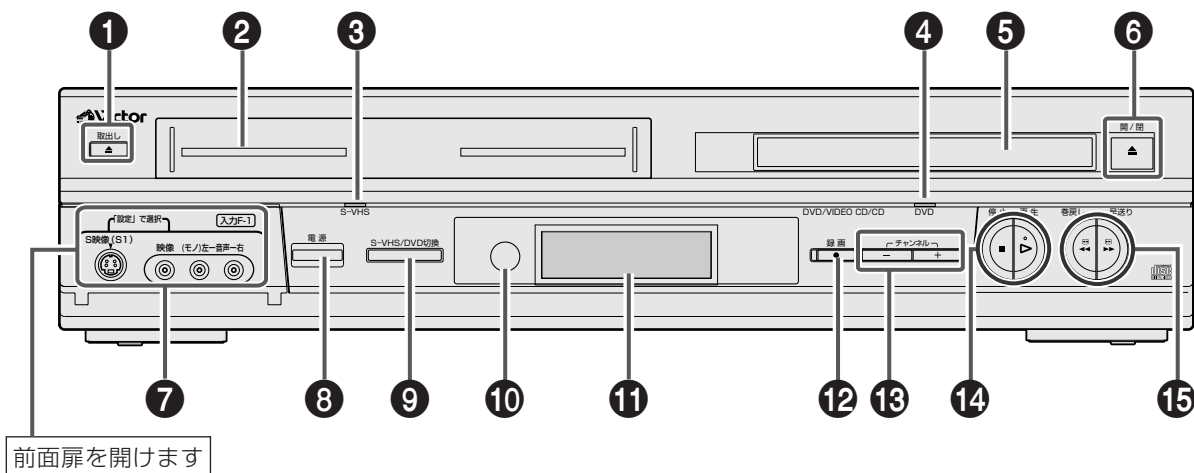
一般に、DVDビデオでは、ディスクをタイトルと呼ばれる単位で分け、さらにそれをチャプター,と言う単位に分けています。タイトルおよびチャプターにはそれぞれ番号が付けられています。 通常は映画1作品やアルバム1枚に1タイトルあります。チャプターはタイトルの中の映像や曲の区切りになります。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

・ DVD-Rのビデオモードのディスクも上記と同じ構造です。

音楽用CD/ビデオCD

一般に音楽CDには、トラックと言う単位で1曲ごとに区切られています。トラックには番号が付けられています。たとえば、3曲目はトラック3になります。ビデオCDについても同様です。

各部の名称

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体前面

前面扉を開けます

❶ **取出し（⏏）ボタン**（☞**41**ページ）
VHS カセットを取り出すときに押します。

❷ **VHSカセット挿入口**
VHS カセットを入れます。

❸ **S-VHSランプ**（☞**41**ページ）
S-VHS 側を選んだ時に緑色に点灯します。

❹ **DVDランプ**（☞**62**ページ）
DVD 側を選んだ時に緑色に点灯します。

❺ **ディスクトレイ**（☞**11**ページ）
❻の開／閉ボタンを押して、ディスクを入れます。

❻ **開／閉ボタン**（☞**11**ページ）
ディスクトレイを「開／閉」するときに押します。

❼ **映像／音声入力F-1端子（前面扉内）**
（☞**104、120**ページ）
ビデオカメラなどの映像をダビングしたいときにお使いください。メニュー映像入力F-1でS映像か映像を選んでください。

❽ **電源ボタン**
本機の電源を「入／切」します。

❾ **S-VHS／DVD切換ボタン**（☞**106**ページ）
S-VHS側またはDVD側に切り換える時に押します。

❿ **リモコン受光部**

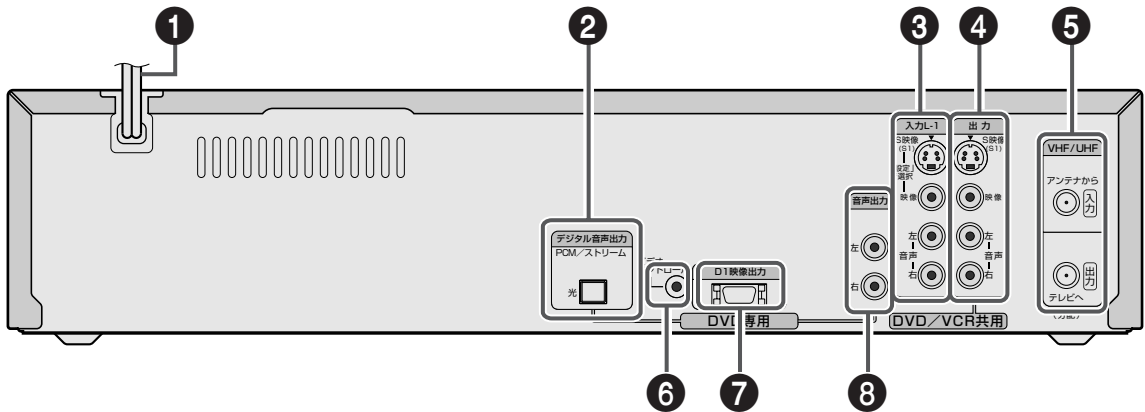
⓫ **表示窓**（☞**18**ページ）

⓬ **録画ボタン**（☞**44、45**ページ）
録画を始めるときに押します。録画中にくり返し押すと、録画時間を 30 分単位で設定できます。

⓭ **チャンネル＋／－ボタン**
ビデオのチャンネルを切り換えます。S-VHS デッキのトラッキング調節にも使用します。

⓮ **停止(■)再生(►)ボタン**(☞**41、62**ページ)
録画や再生を止めるときに押します。
再生を始めるときに押します。

⓯ **早送り（►►）／巻戻し（◄◄）ボタン**
停止中にテープを早送りしたり巻戻したりするときに押します。再生中に押すと、映像を見ながら早送り（または巻戻し）できます。

本体背面

❶ **電源コード**
家庭用のコンセント（AC 100V）につなぎます。

❷ **光デジタル音声出力端子**（☞**107**、**115**ページ）
DVDのデジタル音声信号が出力される端子です。

❸ **S映像／映像／音声入力L-1端子**
（☞**104**、**108**ページ）
BSデジタルチューナーや他のビデオデッキなどのS映像／映像／音声出力端子とつなぎます。
メニューの映像入力L-1につないでいる端子（映像またはS映像）に合わせて設定してください。（☞**120**ページ）
着信予約時の入力端子として使います。
（☞**114**ページ）

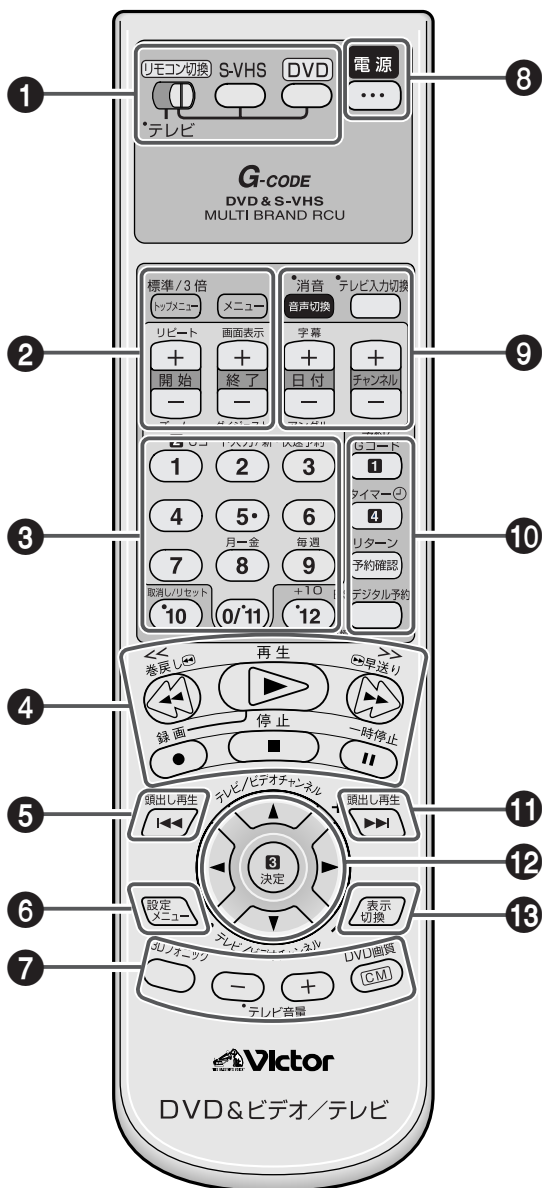
❹ **S映像、映像／音声出力端子**
（☞**22**、**105**ページ）
テレビ（または他のAV機器）の映像／音声入力端子とつなぎます。

❺ **VHF／UHF入力端子**（☞**22**ページ）
VHF／UHFアンテナをつなぎます。

VHF／UHF出力端子（☞**22**ページ）
テレビのVHF／UHFアンテナ入力端子とつなぎます。

❻ **ビデオコントロール端子**
（☞**108**～**110**、**112**ページ）
外部のBSデジタル機器から録画予約をするときにお使いください。

❼ **D1映像出力**（☞**24**ページ）
DVDのコンポーネント映像信号が出力される端子です。

❽ **音声出力端子**
DVDのアナログ音声出力端子です。

リモコン

❶ **リモコン切換（テレビ／ビデオ）スイッチ**
（☞**20**ページ）

- テレビ側（左側）：テレビが操作できます。
- ビデオ側（右側）：ビデオやDVDが操作できます。

S-VHS ボタン
S-VHS 側を操作するときに押します。

DVD ボタン
DVD 側を操作するときに押します。

❷ **標準／3倍（S-VHS側）／トップメニュー（ DVD側 ）ボタン**

標準／３倍ボタン（☞**44** ページ）
録画スピードを設定するときに押します。

トップメニューボタン（☞**63** ページ）
DVDビデオのタイトルメニューを表示するとき押します。

メニューボタン（☞**63** ページ）
DVDビデオに記録されているメニュー画面が表示されます。

リピートボタン（☞**69、70** ページ）
リピートを設定します。再生設定メニューを表示させるときに押します。

ズームボタン（☞**82** ページ）
DVD ビデオ画像を２倍に拡大します。

画面表示ボタン（☞**68** ページ）
DVD 側でディスクを再生するときの設定メニューを表示します。

ダイジェストボタン（☞**83** ページ）
DVD ビデオやビデオ CD の各タイトル、チャプター、トラックの最初の場面を一覧表示するときに押します。

開始＋／－ボタン（☞**48** ページ）
新・快速予約の録画開始時刻を入力します。

終了＋／－ボタン（☞**48** ページ）
新・快速予約の録画終了時刻を入力します。

乾電池の入れかた
リモコンに乾電池を入れるときには、⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。

乾電池についてのご注意
- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長期間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5分以上たってから再度乾電池を入れ、操作してください。

乾電池交換の目安は
リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

乾電池を交換するときは
- 単3形乾電池をご使用ください。
- 2本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

❸ **数字ボタン（1〜9、0/11）**

- 受信チャンネル切換（ S-VHS側 ）
- テレビチャンネル切換（ テレビ側 ）
- 受信チャンネル設定（ S-VHS側 ）
  （☞**28 〜 37** ページ）
- Gコード® 録画予約（ S-VHS側 ）（☞**46**ページ）
- ディスクの設定（ DVD側 ）
  トラック、タイトル、グループ、チャプター、シーン、時間、メニュー項目の選択

❹ **ビデオ操作ボタン（ ビデオ側 ）**
（☞**41〜45**ページ）
巻戻し、再生、早送り、録画、停止、一時停止ボタン、バリアブルサーチ（巻戻し／早送り）ボタン

❺ **頭出し再生（|◀◀）ボタン（ ビデオ側 ）**
（☞**52、64**ページ）
ビデオの頭出しやディスクの手前のチャプター、タイトル、グループ、トラックの頭にするときに押します。またディスクを再生中に、押し続けると早戻し再生ができます。（MP3ディスクを除く）
ビデオ CD のメニュー画面の選択にも使います。

❻ **設定メニューボタン（ ビデオ側 ）**
（☞**119、122**ページ）
メニューやDVD設定メニューを表示させるときに押します。

❼ **3Dフォニックボタン（ ビデオ側 ）**
（☞**84**ページ）
2本のスピーカーだけでもサラウンドシステムを組んだような効果を出したいときに使います。

DVD 画質ボタン（☞85 ページ）
部屋の明るさや照明に合わせた画質（シアターモード）を設定できます。

CM ボタン（☞53 ページ）
CM をカットして録画したり、とばして再生するときに押します。

テレビ音量＋／－ボタン
テレビの音量を調節できます。

❽ **電源ボタン（ ビデオ側 ／ テレビ側 ）**
電源を入／切するときに押します。

❾ **消音／音声切換ボタン（ ビデオ側 ／ DVD側 ）**
テレビに切り換えたときは、音声を消します。
聞きたい音声（HiFi/L/R/ノーマル）を選びます。
DVD ビデオ／ビデオ CD の音声言語や音声チャンネルを切り換えます。

テレビ入力切換（ テレビ側 ）
テレビの入力切換ができます。

字幕ボタン（ DVD側 ）（☞**80** ページ）
字幕が記録されたDVDビデオを再生中、字幕言語の切換や字幕表示のオン／オフをするときに使います。

アングルボタン（ DVD側 ）（☞**78、79** ページ）
マルチアングルで収録されたDVDビデオを再生中、アングルを切換えるときに使います。

日付＋／－ボタン（☞**48** ページ）
新・快速予約の録画日を入力します。

チャンネル＋／－ボタン（☞**49** ページ）
新・快速予約の録画チャンネルを入力します。

❿ **予約／Gコードボタン（ ビデオ側 ）**
（☞**46、48**ページ）
G コード予約または新・快速予約を始めるときに使います。

タイマー（ ◷ ）ボタン（☞**47、49** ページ）
VHS側での予約録画の設定／解除したいときに押します。

リターン／予約確認ボタン
1 つ前の画面に戻すときに押します。
予約を確認するときに押します。

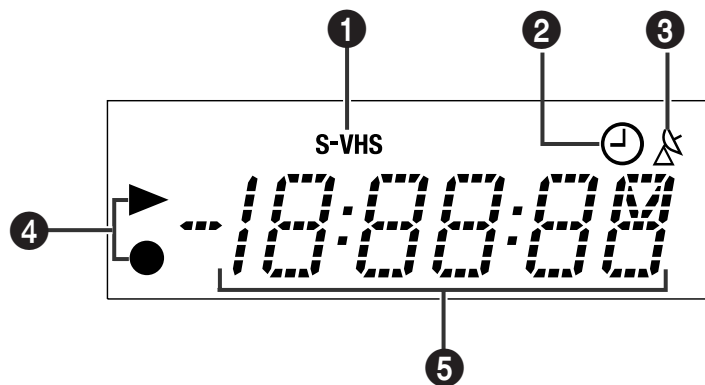
BS デジタル予約ボタン（☞**112、113** ページ）
着信予約するときに押します。着信予約待機中は本体表示窓のBSデジタル予約ランプ（◷ と ）が点灯します。

⓫ **頭出し再生（▶▶|）ボタン（ ビデオ側 ）**
（☞**52、64**ページ）
ビデオの頭出しやディスクの次のチャプタータイトル、グループ、トラックの頭にスキップするときに押します。またディスクを再生中に押し続けると早送り再生ができます。（MP3ディスクを除く）
ビデオ CD のメニュー画面の選択にも使います。

⓬ **メニュー操作ボタン（ ビデオ側 ）**
カーソル／決定ボタン（☞**119、122** ページ）

⓭ **表示切換ボタン（ ビデオ側 ）**
（☞**43、87**ページ）
本体表示窓や画面表示の内容（現在時刻、残量時間、経過時間、チャンネル）を切り換えるときに押します。

本体表示窓

本体表示窓には、現在選択されている DVD または S-VHS の状態が表示されます。

❶ **S-VHS表示**
S-VHS モードで録画できるときに点灯します。

❷ **タイマー（◷）表示（S-VHS側のみ）**
S-VHS側の予約録画待機中のときに点灯します。

❸ **アンテナ（ ）表示**
BS チャンネル選択時に点灯します。
BS デジタルリンク予約または着信予約時は ◷ と を同時に表示します。

❹ **録画(S-VHS側)/再生表示(DVD/S-VHS兼用)**
選択しているデッキの再生または録画中に点灯します。
▶：再生中
●：録画中
（ワンタッチタイマー録画中は点滅します）

❺ **カウンター／チャンネル表示（DVD/S-VHS兼用）**
DVD やテープの走行時間、残量、チャンネル番号、時計、グループ番号、タイトル番号、チャプター番号、トラック番号や録画モードなどを表示します。
録画一時停止中は、カウンター表示などが点滅します。

S-VHS 側録画モード
SP：録画スピードが「標準」のとき点灯します。
EP：録画スピードが「3 倍」のとき点灯します。

テレビ画面表示

リモコンの決定ボタンを押すと、カウンター（または残量、チャンネル、時計）を表示し続けます。
もう一度押すと消えます。
DVD 側の画面表示については、☞68 ページをご覧ください。

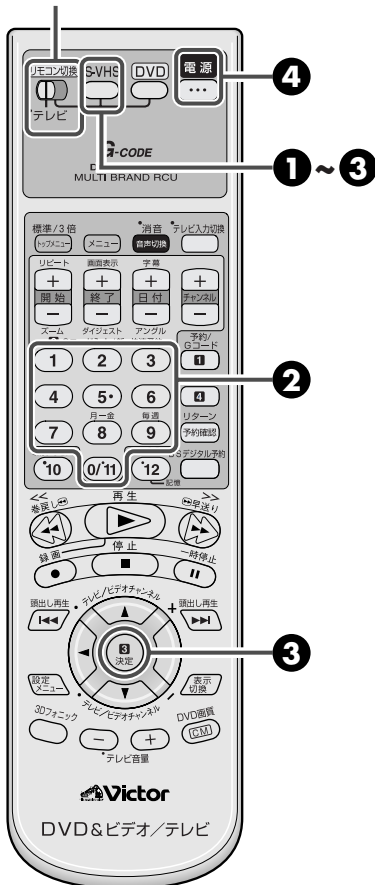
❶ チャンネル番号
❷ 受信放送の音声
❸ オートCMカット（☞53ページ）
❹ 曜日／時刻
❺ テープ走行位置
❻ 音声出力（☞57ページ）
❼ オートトラッキング（☞56ページ）
❽ カセットの有無
❾ ワンタッチタイマー録画時間
❿ テープ走行
⓫ 録画スピード
⓬ ピクチャーセレクト（☞58ページ）
⓭ テープ走行方向
⓮ 頭出し番号（☞52ページ）
⓯ カウンター
⓰ テープ残量

- メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときに表示される内容です。上のS-VHS側の表示は、同時にすべて表示されることはありません。

リモコンの使いかた

本機のリモコンで、国内メーカー 12 社いずれかのテレビが操作できます。
お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作（電源の入/切、チャンネル切換、外部入力の切換、消音（ミューティング）、音量の調節）ができるようになっています。
他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

ビクター以外のテレビを操作する

- テレビのリモコンを使って電源を切っておきます。
- リモコンの切換スイッチを「テレビ」側にします。

❶ [S-VHS]を押し続ける

- 手順 ❸ の操作が終わるまで、押し続けます。

❷ 数字ボタンを押してメーカー番号(2ケタ)を入力する

- 松下製のときは[0/11]➡[2]の順に押します。

メーカー番号一覧

メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号
ビクター	01	日立	06	パイオニア	11
松下	02または03	東芝	07	NEC	12
三菱	04	三洋	08または09	フナイ	13、15または16
ソニー	05	シャープ	10	アイワ	14

❸ [決定]を押す

❹ [電源]を押す

- 電源ボタンを押して、テレビの電源が入れば、設定は完了です。
  テレビの設定で電源が入らないときは、
  もう一度、手順❶から❹の操作をしてみてください。
- 松下製、三洋製またはフナイのテレビをお使いのときは、もう一つのメーカー番号を入力してみてください。
- テレビによっては、操作できないものがあります。

- リモコンの電池をはずすと、お買い上げ時の設定に戻ります。電池を交換したときなどはメーカー番号の設定をもう一度やり直してください。

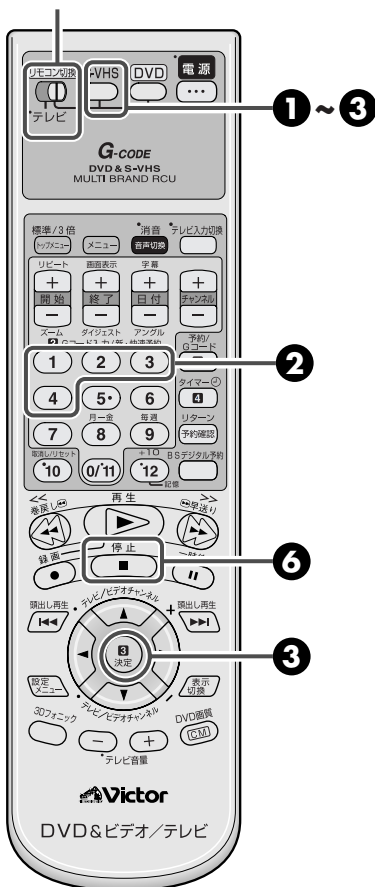
テレビとビデオの切り換え

❶ リモコン切換スイッチを[テレビ]側または[ビデオ]側にする

テレビを操作する場合	ビデオを操作する場合

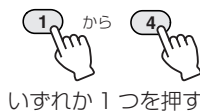
2台以上のビクター製ビデオを操作する

リモコン切換スイッチ

- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。

❶ [S-VHS]を押し続ける

- 手順 ❸ の操作が終わるまで、押し続けます。

❷ [1]から[4]のうちの1つを押す

いずれか 1 つを押す

[1]：Aコード（本体表示窓：A）
[2]：Bコード（本体表示窓：b）
[3]：Cコード（本体表示窓：C）
[4]：Dコード（本体表示窓：d）

❸ [決定]を押す

❹ 本体の[電源]を押して電源を切る

❺ 本体の[再生(►)]を5秒以上押す

本体表示窓

- 本体表示窓に現在設定されている本体のリモコンコードが表示されます。

❻ 本体に向けてリモコンの[停止(■)]を押す

本体表示窓

b

- リモコンで設定したコードが点滅して本体に設定されます。

- お買い上げ時は、リモコンも本体も「Aコード」に設定されています。

- リモコンの電池をはずすと、リモコンコードが「A」に戻ります。Aコード以外に設定しているときは、もう一度、設定をやり直してください。

アンテナとテレビをつなぐ

テレビ

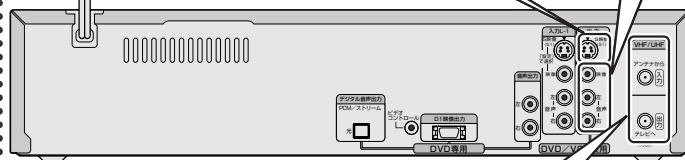
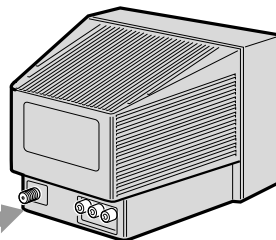
1 テレビから アンテナ線をはずす

ケーブルの形状によっては、UHF/VHF混合器（別売VZ-84）、UHF/VHF分波器（別売VZ-81A）、アンテナ変換器（別売VZ-71A）などが必要になります。
（☞23ページ）

75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）

壁のアンテナ端子から

2 外したアンテナ線を本機につなぐ

3 付属のアンテナコードで本機とテレビをつなぐ

S映像入力端子へ

（黄）（白）（赤）

映像／音声入力端子へ

本機に付属のS映像コード

本機に付属の映像／音声コード

S映像出力端子へ

（黄）（白）（赤）

映像／音声出力端子へ

本機背面

VHF/UHF アンテナから 入力 出力 テレビへ （分配）

4

● テレビに映像入力端子がないとき

別売のRFコンバーター（RF-VD550）をご使用ください。
詳細はRFコンバーター（RF-VD550）の取扱説明書をご覧ください。

ビデオを見るときは

テレビで1チャンネルまたは2チャンネル（別売のRFコンバーターのビデオチャンネル切り換えスイッチで選ばれているチャンネル）を選びます。

● テレビに映像入力端子があるとき
付属の映像/音声コードでテレビとつなぐ

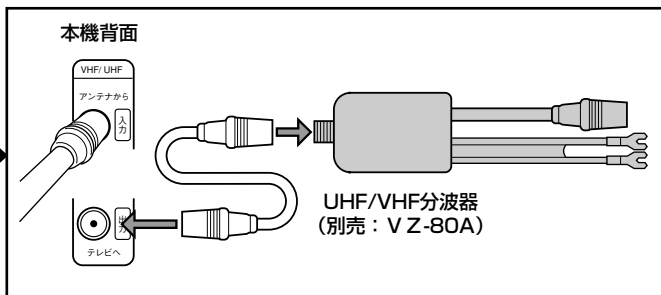
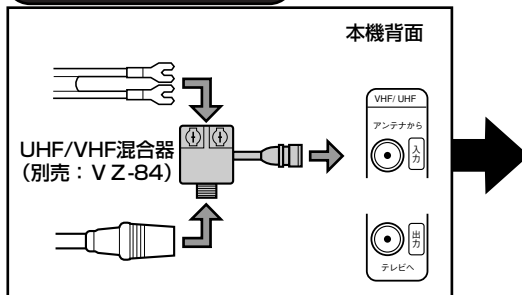
テレビに映像入力端子があるときには、付属の映像 / 音声コードで、S映像入力端子があるときには、付属のS映像コードで、本機とテレビをつないでください。

ビデオを見るときは

本機をつないでいるテレビの「ビデオチャンネル」を選びます。
選びかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

電源プラグはすべての接続が終わってから、壁のコンセントに差し込みます

アンテナ線の接続について

75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）とフィーダー線

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）とフィーダー線

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

本機背面

アンテナ変換器
（別売：ＶＺ-71Ａ）

VHF/ UHF
アンテナから
入力
出力
テレビへ

1．ケーブルを加工する

10　5　5

あみ線を折り返す

2．カバーをあける

3．芯線をネジ止めする

4．金具をペンチで曲げておさえる

5．カバーをつける

本機背面

VHF/ UHF
アンテナから
テレビへ

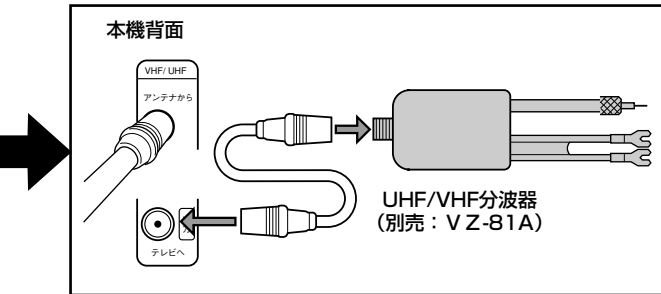
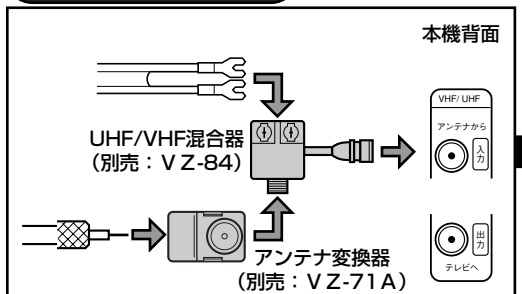
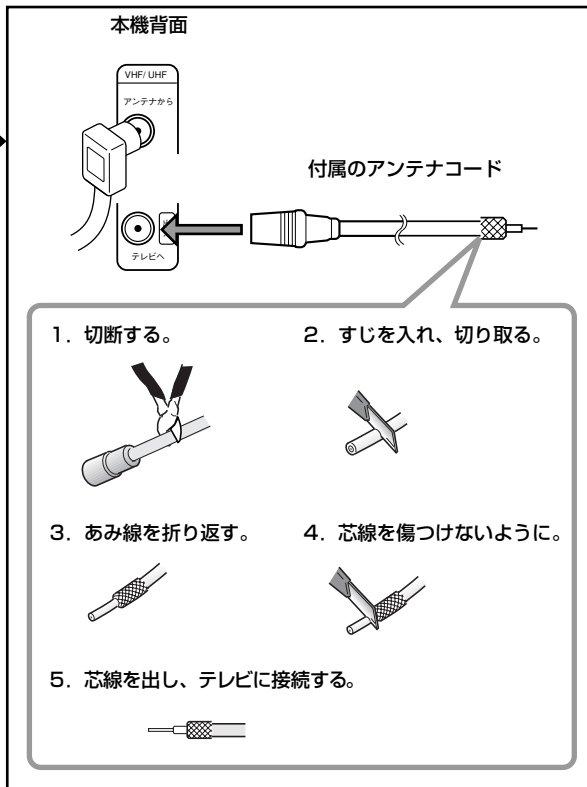
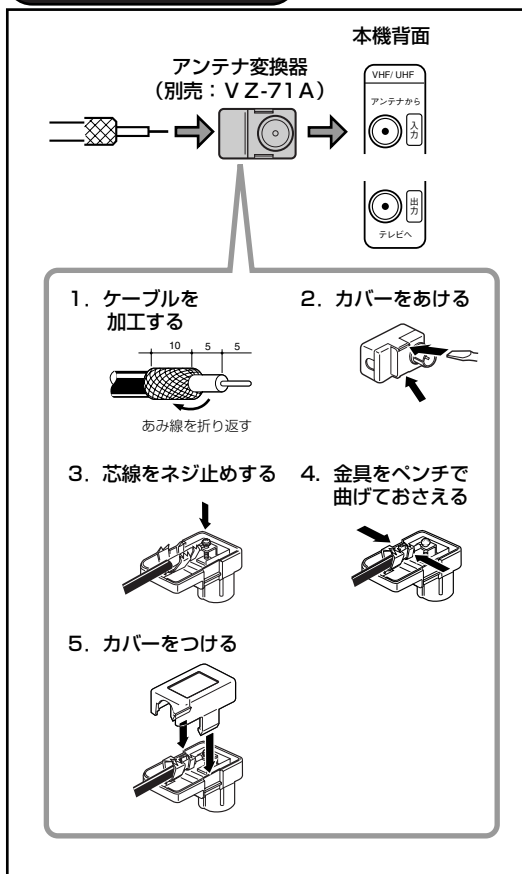
付属のアンテナコード

1．切断する。

2．すじを入れ、切り取る。

3．あみ線を折り返す。

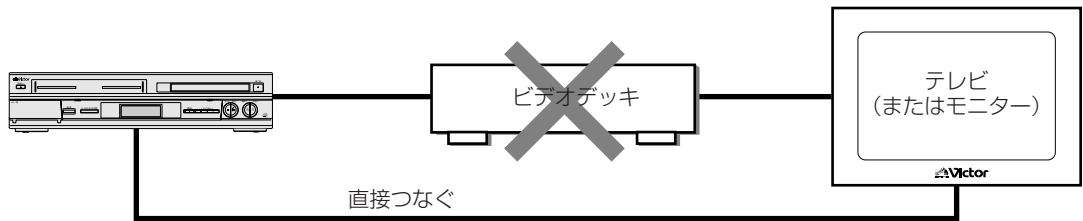
4．芯線を傷つけないように。

5．芯線を出し、テレビに接続する。

本機とテレビをつなぐ

本機をお使いいただくにはテレビやモニターと接続する必要があります。また、デジタル端子付きの機器やドルビーデジタルデコーダー内蔵のアンプと接続すると、より本格的な音声がお楽しみいただけます。

＊説明上の煩雑さを避けるために、以下の説明では本機の映像出力をテレビに接続するものとして説明しますが、テレビの代わりにモニターやプロジェクターに接続することもできます。

接続上の注意

- すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 各プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や音が出ないなどの原因となります。
- 本機の映像出力は、直接テレビ（またはモニター）とつないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、再生中に画像が乱れることがあります。

本機とテレビの映像／音声端子を接続する

テレビにＳ映像入力端子があるときは、本機のＳ映像出力端子とつないでください。
テレビにＤ１／Ｄ２／Ｄ３／Ｄ４端子入力があるときは、本機のＤ１映像出力端子とつないでください。

テレビ側で、本機をつないでいる「外部入力」を選びます。

- 「外部入力」の選びかたは、お持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。

全ての電源を切ってから接続してください。

接続後、DVD 設定メニューの「ディスプレイ設定 ➡TV のタイプ」を設定してください。
(☞**124**、**126** ページ)

テレビにS映像入力端子がない場合は、別売の映像コードを使って、本機の映像出力とテレビの映像入力端子を接続してください。

S映像出力端子へ　**S映像コード**　S映像入力端子へ

音声出力端子へ　**音声コード**　音声入力端子へ
(白)　(赤)

D1映像出力端子へ　**コンポーネントビデオコード（D-D）（別売）**　D端子入力へ

VX-DS110（1m）:別売

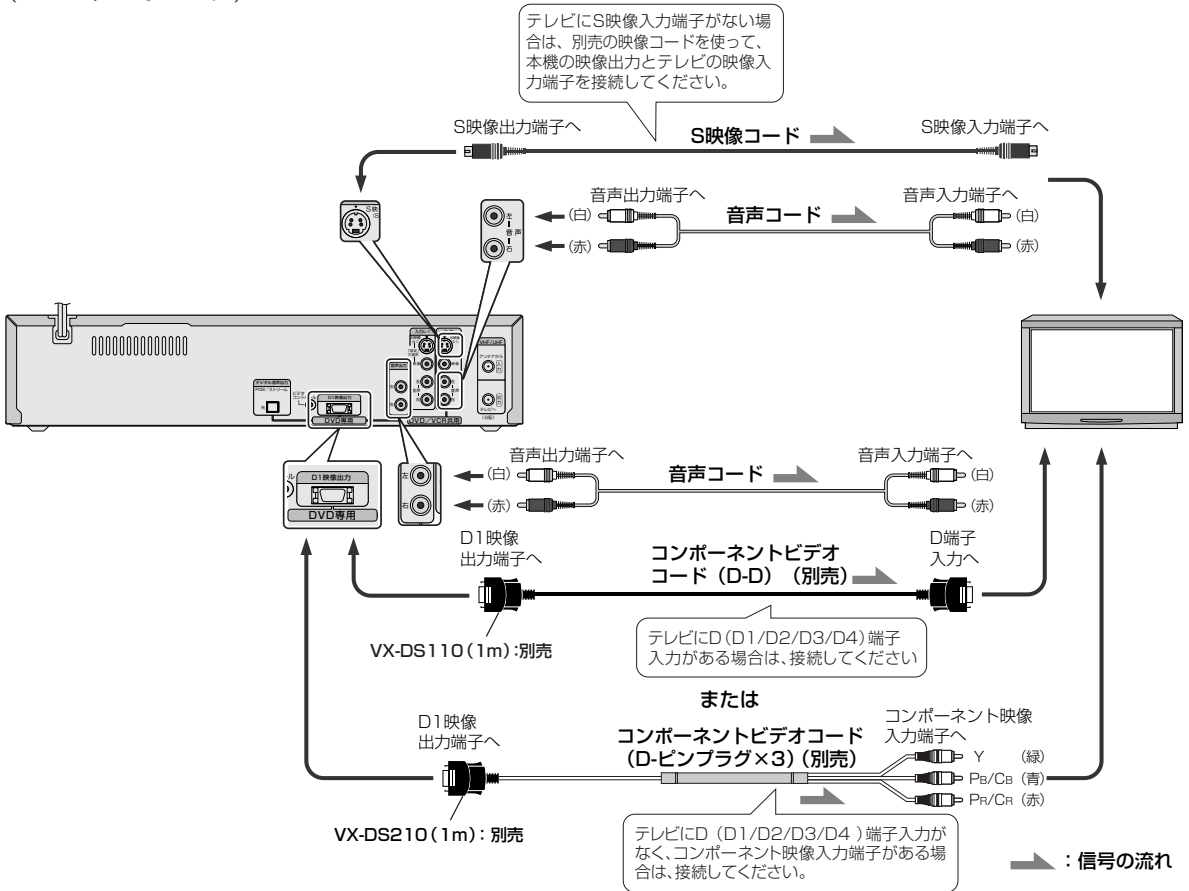
テレビにD（D1/D2/D3/D4）端子入力がある場合は、接続してください

または

D1映像出力端子へ　**コンポーネントビデオコード（D-ピンプラグ×3）（別売）**　コンポーネント映像入力端子へ
Y（緑）　PB/CB（青）　PR/CR（赤）

VX-DS210（1m）：別売

テレビにD（D1/D2/D3/D4 ）端子入力がなく、コンポーネント映像入力端子がある場合は、接続してください。

：**信号の流れ**

- **本機のD1映像出力端子にテレビを接続した場合は、次の出力切り換え操作をします。**
  ①本体の停止(■)ボタンを3秒以上押します。
  - 本体表示窓に現在の出力モード「YC」が表示されます。

  ②さらに本体表示窓に「YPbPr」と表示されるまで停止(■)ボタンを押し続けます。
  - 乱れていた映像が正常になります。

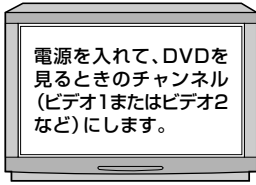
映像出力表示
「YC」表示 ：S映像出力端子から信号が出力されます。
「YPbPr」 ：D1映像出力端子から信号が出力されます。
- 映像出力端子（黄色）からは、どちらに切り換えても、正常に出力されます。

D端子入力付きテレビをお持ちのかたへ
- コンポーネントビデオコードを接続したときは、音声コードも接続してください。
- 当社製ハイビジョンテレビで、ビデオ1入力端子がY/PB/PR端子とS映像端子を兼用しているときは、市販のコンポーネントビデオコード(D-ピンプラグ ×3)とS映像／音声コード(ビデオ2入力端子へ)の両方の接続をしてください。

テレビ画面のサイズを設定する

画面サイズを設定する(16:9テレビをお持ちのかたへ)

16：9テレビをご使用のときは、メニュー設定が必要です。
4：3テレビをご使用のかたは設定の必要はありません。

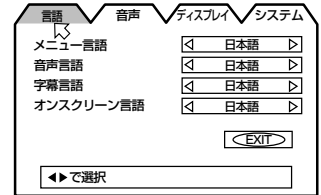
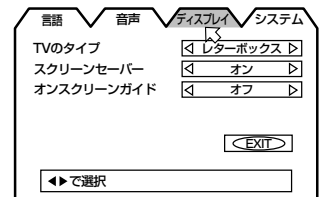
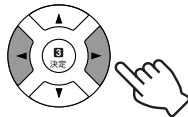
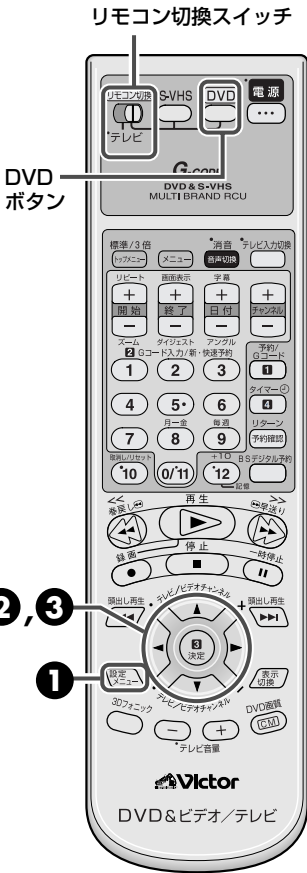
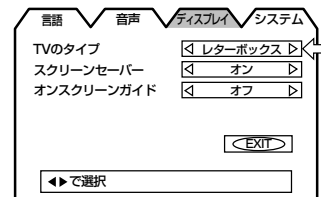
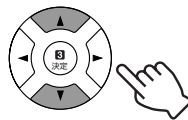
電源を入れて、DVDを見るときのチャンネル(ビデオ1またはビデオ2など)にします。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- DVDボタンを押してDVDランプを点灯させます。

❶ [設定メニュー]を押して「DVD設定」画面を表示する

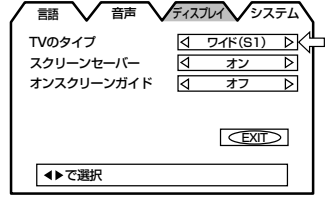
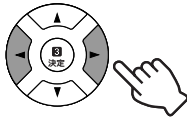
- CDまたはMP3ディスクが入っていると、表示されません。ディスクを出してください。

❷ [◀／▶] を押して「ディスプレイ」を選ぶ

❸ [▲／▼] を押して「TVのタイプ」を選ぶ

メモ

4:3テレビをお持ちのかたへ
- 「TVのタイプ」を「ワイド(S1)」にしたときは、縦長の画像になる場合があります。

ワイドテレビをお持ちのかたへ
- 「TVのタイプ」を「パンスキャン」にしたときは、字幕が見えなかったり、画面の端が欠ける場合があります。通常は「レターボックス」に設定してください。
- 画像サイズの判別をするために、本機とテレビの接続は、D端子またはS映像端子で接続することをおすすめいたします。

❹ [◀／▶]を押して「ワイド(S1)」を選ぶ

- 押すごとに設定が切り換わります。

ワイド(S1)
横長で画面が16:9のテレビのときに選択します。
パンスキャンまたはレターボックス
従来の4:3画面のテレビのときに選択します。(☞**13**、**124**ページ)

S1映像入力端子付きの4：3テレビをお持ちのかたは、「ワイド(S1)」に設定してください。

❺ [設定メニュー]を押して終了する

- DVD設定メニュー画面が消えます。

受信チャンネルを設定する（通常のテレビ番組をご覧になる方へ）

地域番号を入力して受信チャンネルを自動的に設定する（一括チャンネル合わせ）

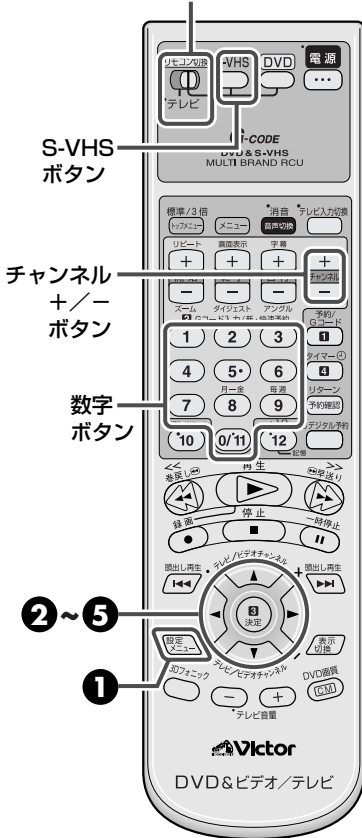
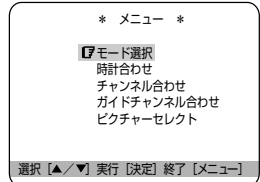
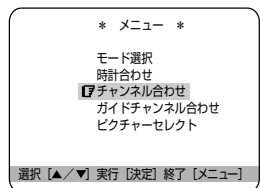
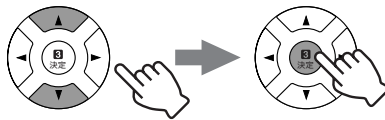
本機はお住まいの地域番号を入力するだけで、チャンネルを自動的に設定します。
また、G コード録画予約をするためのガイドチャンネルも自動的に設定されます。

- お住まいの地域の地域番号をお確かめください。（☞**130**～**133**ページ）
- お住まいの地域番号が無いときは、お近くの地域番号を入力するか、右ページの「オートチャンネル合わせで設定する」の操作をしてください。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押して、S-VHSランプを点灯させます。

リモコン切換スイッチ
S-VHSボタン
チャンネル＋／－ボタン
数字ボタン
❷～❺
❶

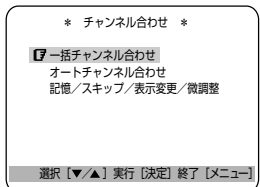
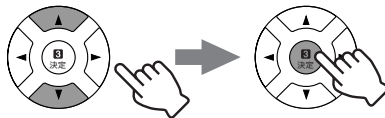
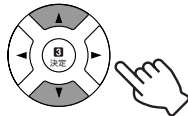
❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

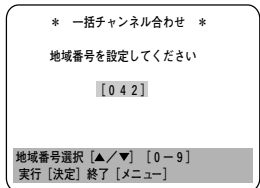
＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼] を押して「チャンネル合わせ」を選び、[決定] を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「一括チャンネル合わせ」を選び、[決定] を押す

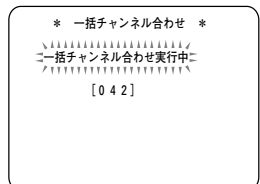
＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▼／▲］実行［決定］終了［メニュー］

❹ [▲／▼]を押して地域番号を選ぶ

＊ 一括チャンネル合わせ ＊
地域番号を設定してください
［０４２］
地域番号選択［▲／▼］［０－９］
実行［決定］終了［メニュー］

- 押し続けると、早く変わります。
- 数字ボタンでも選択できます。

例　地域番号が 042（東京 23 区）のとき
[0/11]➡[4]➡[2]の順に押す。（詳しくは ☞**138**～**141**ページ参照）

❺ [決定]を押す

- 「一括チャンネル合わせ」が実行されます。

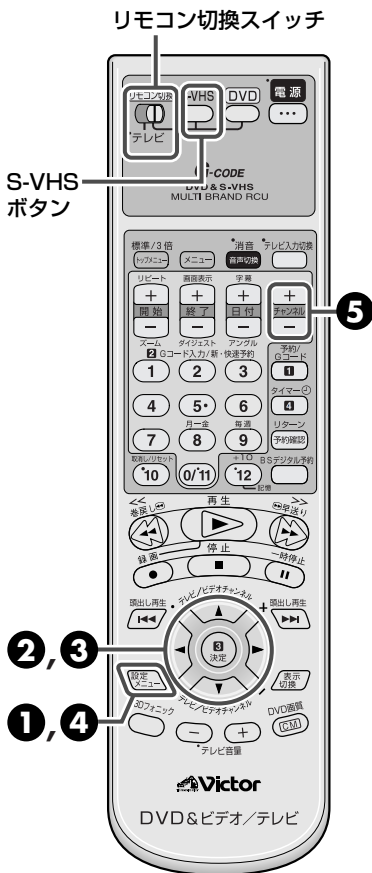
＊ 一括チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ実行中
［０４２］

一括チャンネル合わせ終了後、チャンネル＋／－ボタンで受信したチャンネルを確認し、右のような変更がないかたは、「日付と時刻を設定する」へ進んでください。（☞**40**ページ）

- **不要なチャンネルを飛ばしたいとき**：☞**30**ページ参照
- **新たにチャンネルを追加したいとき**：☞**32**ページ参照
- **チャンネル表示を変更したいとき**：☞**34**ページ参照
- **映りが悪いとき**：☞**36**ページ参照

受信チャンネルを設定する（CATV放送をご覧になる方へ）

オートチャンネル合わせで設定する

本機は受信チャンネルを自動設定できます。自動設定を行なった後は、ガイドチャンネルを設定してください。CATV 放送を受信されている方におすすめいたします。

リモコン切換スイッチ

S-VHSボタン

準備
- UHF／VHFアンテナまたはCATVの接続をしてください。（☞22、111ページ）
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

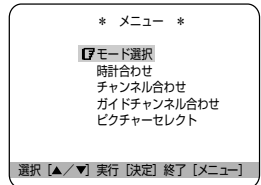
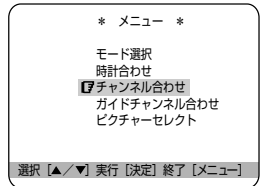
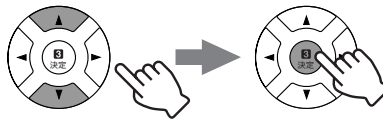
❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

＊ メニュー ＊
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- ピクチャーセレクト

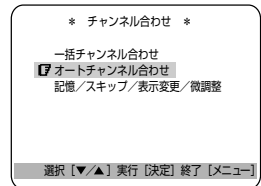
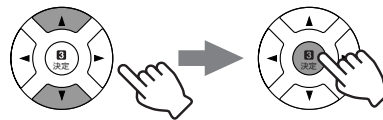
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊ メニュー ＊
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「オートチャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
- 一括チャンネル合わせ
- オートチャンネル合わせ
- 記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▼/▲］実行［決定］終了［メニュー］

- 「オートチャンネル合わせ」が実行されます。

オートチャンネル合わせ終了後、「ガイドチャンネル合わせ」を設定してください。（☞**38** ページ）

❹ [設定メニュー]を押して終了する

- メニュー画面が消えます。

❺ [チャンネル＋／－]を押して受信したいチャンネルを確認する

- 次のような変更がないかたは、「日付と時刻を設定する」へ進んでください。（☞**40**ページ）
- 不要なチャンネルを飛ばしたいとき　：☞ **30**ページ参照
- 新たにチャンネルを追加したいとき　：☞ **32**ページ参照
- チャンネル表示を変更したいとき　：☞ **34**ページ参照
- 映りが悪いとき　：☞ **36**ページ参照

メモ

CATV放送について
- お買い上げ時には、CATV 放送のチャンネルは受信できない状態になっています。また、CATV 放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」では設定されません。
- CATV 放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV 放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）の使用が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は前面外部入力「F-1」、背面外部入力「L-1」またはビデオチャンネル（1チャンネルか2チャンネル）にします。
- くわしくは、CATV 放送会社にお問い合わせください。

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

不要な放送局を受信できないようにする（チャンネルスキップ）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときに設定します。

- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してビデオを見るときのチャンネル（ビデオ1またはビデオ2など）にします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押して、S-VHSランプを点灯させます。

❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

＊ メニュー ＊

- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊ メニュー ＊

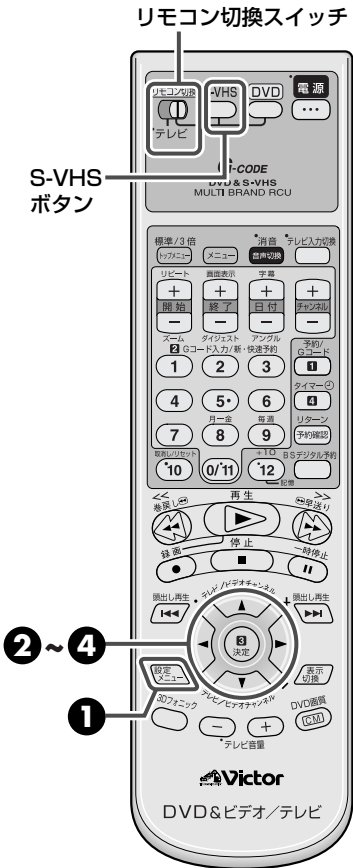
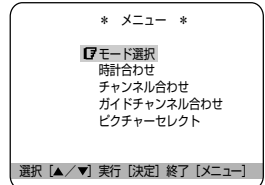
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- ピクチャーセレクト

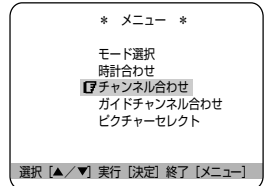
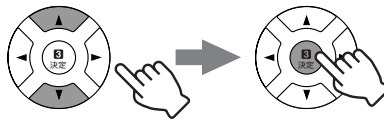
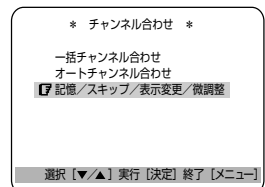
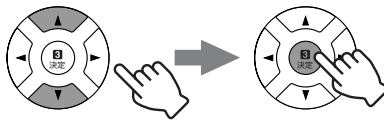
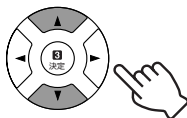
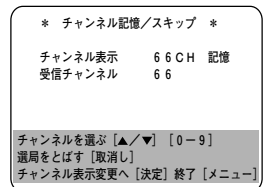
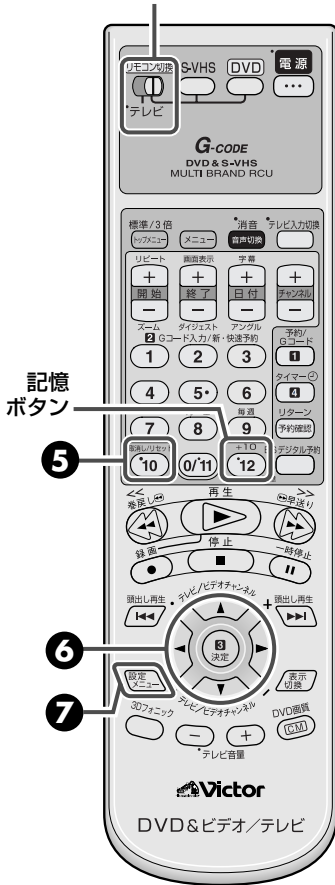
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊

- 一括チャンネル合わせ
- オートチャンネル合わせ
- 記憶／スキップ／表示変更／微調整

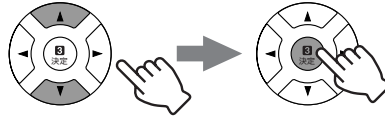
選択［▼／▲］実行［決定］終了［メニュー］

❹ [▲／▼]で飛ばしたいチャンネルを選ぶ

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

チャンネル表示　６６ＣＨ　記憶
受信チャンネル　６６

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［メニュー］

- 数字ボタンでも選択できます。
- テレビ画面には選んだチャンネルの映像がメニュー画面と重なって映ります。

❺ ［取消し／リセット］を押して スキップ設定をする

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　６６ＣＨ　スキップ
受信チャンネル　　６６

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［メニュー］

❻ 他の放送局もスキップするときは、手順の ❹ と ❺ をくり返す

❼ ［設定メニュー］を押して 終了する

- メニュー画面が消えます。

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには

1. 左ページの手順❶から❸までを行う
2. ▲／▼ ボタンを押し、受信したい放送局を選ぶ
3. 記憶ボタンを押す
4. 設定メニューボタンを押し、メニュー操作を終了する

- チャンネル表示を変更したいときは、☞ **34** ページをご覧ください。
- 受信の状態があまり良くないときは、「微調整」をしてください。(☞**36**ページ)
- 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。(☞**38**ページ)

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

放送局をひとつずつ設定する

次のようなときは、ご自分で放送局をひとつづつ受信できるように設定してください。

- 「一括チャンネル合わせ」では受信できない放送局があるとき（☞**28** ページ）
- テレビのチャンネルとチャンネル表示を合わせたいとき
- 新しく放送局が開局されたとき

- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してビデオを見るときのチャンネル(ビデオ1またはビデオ2など)にします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押して、S-VHSランプを点灯させます。

リモコン切換スイッチ

S-VHSボタン

❷,❸

❶

❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

＊　メニュー　＊

☞モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊　メニュー　＊

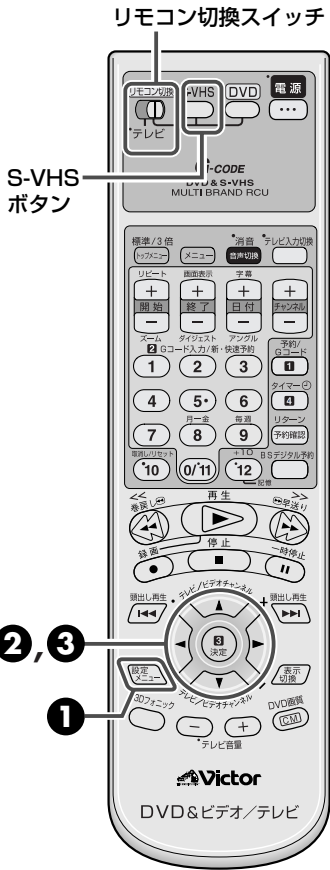
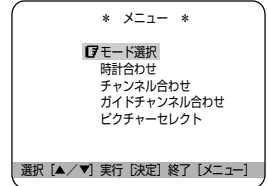
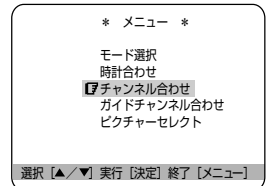
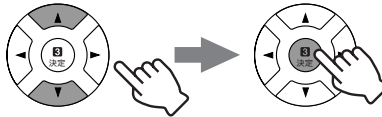
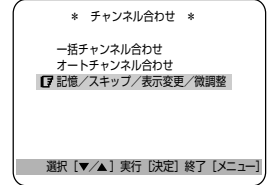
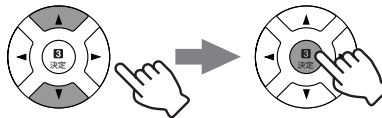
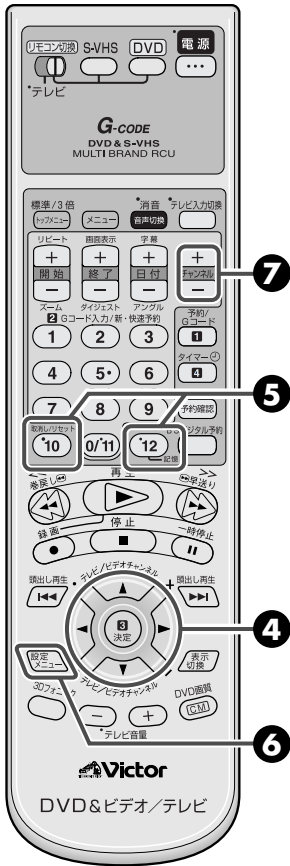
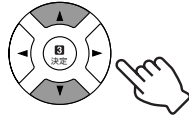
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

＊　チャンネル合わせ　＊

一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
☞記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▼／▲］実行［決定］終了［メニュー］

- テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が「チャンネル記憶／スキップ」画面と重なって映ります。

❹ [▲/▼]を押してチャンネル表示を順番に変え、一つ一つのチャンネルが映るか確認する

＊ チャンネル記憶/スキップ ＊

チャンネル表示　　1CH　記憶
受信チャンネル　　1

チャンネルを選ぶ［▲/▼］［0－9］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［メニュー］

1ch → 2ch---→112ch→113ch

❺ 映るチャンネルは[記憶]を押して登録する。映らないチャンネルは[取消し]を押して削除する

＊ チャンネル記憶/スキップ ＊

チャンネル表示　　2CH　スキップ
受信チャンネル　　2

チャンネルを選ぶ［▲/▼］［0－9］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［メニュー］

（登録する）

（削除する）

- [記憶]を押すと、チャンネル表示の右側に「記憶」を表示します。
- [取消し]を押すと、チャンネル表示の右側に「スキップ」を表示します。
- 1～113CHまで、一つずつ順番に設定してください。

❻ [設定メニュー]を押して終了する

- メニュー画面が消えます。

❼ [チャンネル+/－]を押して登録したチャンネルを確認する

- お好みのチャンネル番号に変えたいときは、(☞**34**ページ)の操作をしてください。

- 設定が完了したあとで、Gコード予約するためのガイドチャンネルも設定してください。(☞**38**ページ)

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

チャンネル表示を変更する

テレビと同じチャンネル表示に合わせたいときなどに設定してください。

- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネル(ビデオ1またはビデオ2など)にします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押して、S-VHSランプを点灯させます。

例　CATV放送の16チャンネル(c16チャンネル:本機での表示は66チャンネル)を、「7チャンネル」で見られるようにする。

リモコン切換スイッチ

S-VHSボタン

数字ボタン

❷～❹

❶

DVD&ビデオ／テレビ

❶ [設定メニュー]を押して[メニュー]画面を表示する

＊ メニュー ＊

モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊ メニュー ＊

モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊

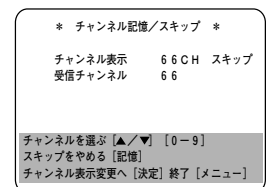
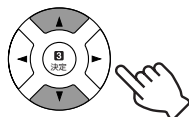
一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▼／▲］実行［決定］終了［メニュー］

❹ [▲／▼]を押して「66チャンネル」を選ぶ

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

チャンネル表示　６６ＣＨ　スキップ
受信チャンネル　６６

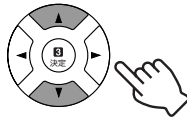
チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［メニュー］

- テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。
- 数字ボタンでも選べます。

❺ [決定]を1回押してチャンネル表示に「☞」を表示する

＊　チャンネル表示変更　＊

☞チャンネル表示　　66CH
受信チャンネル　　66

チャンネル表示を変える［▲／▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
受信チャンネル変更へ［決定］終了［メニュー］

❻ [▲／▼]を押してチャンネル表示を選び、[7]に変える

＊　チャンネル表示変更　＊

☞チャンネル表示　　7CH
受信チャンネル　　66

チャンネル表示を変える［▲／▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
受信チャンネル変更へ［決定］終了［メニュー］

❼ [記憶]を押して「チャンネル番号」を本機に記憶する

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　7CH　記憶
受信チャンネル　　66

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［メニュー］

❽ [設定メニュー]を押して終了する

- メニュー画面が消えます。
- 他のチャンネルも変更するときは ❹ ～ ❼ の手順をくり返します。

設置と準備

メモ
- 設定が完了したあとで、Gコード予約するためのガイドチャンネルも設定してください。
（☞38～39ページ）

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

映りの悪いチャンネルを調整する

本機にはノイズの多いチャンネルをよりクリアーに調整する機能があります。

- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してビデオを見るときのチャンネル（ビデオ1またはビデオ2など）にします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押して、S-VHSランプを点灯させます。

❶ [チャンネル＋／－]を押して映りの悪いチャンネルを選ぶ

- テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。
- 数字ボタンでも選べます。

❷ [設定メニュー]を押して[メニュー]画面を表示する

＊ メニュー ＊
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

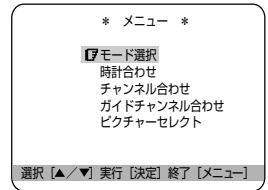
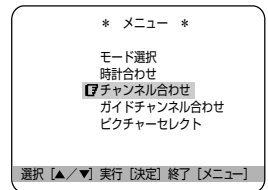
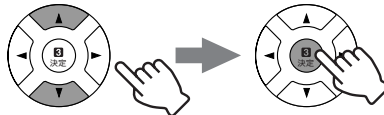
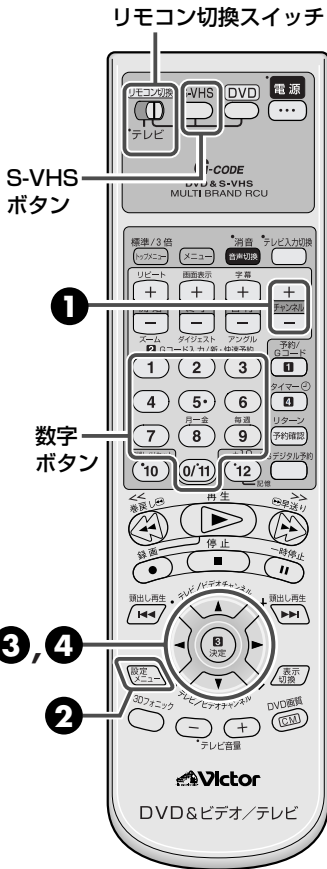
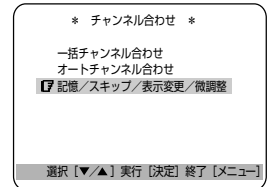
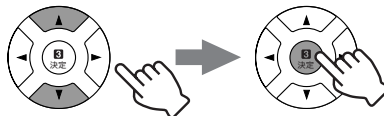
❸ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

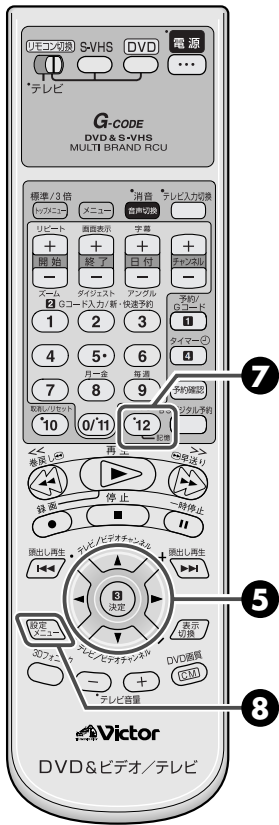
＊ メニュー ＊
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❹ [▲／▼]を押して「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
- 一括チャンネル合わせ
- オートチャンネル合わせ
- 記憶／スキップ／表示変更／微調整

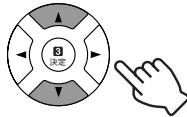
選択［▼／▲］実行［決定］終了［メニュー］

リモコンの数字ボタン（0〜9）でチャンネルを選ぶときは

数字ボタン（0〜9）を押す。
例：4チャンネルを選ぶときは4を押す
例：10チャンネルを選ぶときは1と0を続けて押す

5 [決定]を3回押して「チャンネル微調整」を表示する

＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　　1ＣＨ
受信チャンネル　　1
微調整　　－＊－

微調整する［▲／▼］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル記憶／スキップへ［決定］
終了［メニュー］

6 [▲／▼]を押して映像を見ながら微調整する

＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　　1ＣＨ
受信チャンネル　　1
微調整　　＊－－

微調整する［▲／▼］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル記憶／スキップへ［決定］
終了［メニュー］

7 [記憶]を押して変更を記憶する

8 [設定メニュー]を押して終了する

● メニュー画面が消えます。

設置と準備

ガイドチャンネルを設定する

Gコード® 予約をするためのチャンネル設定をする

ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、G コードによる録画の予約ができなくなります。
一括チャンネル合わせをしたあとは、ガイドチャンネルが自動的に設定されるため操作する必要はありません。
次のような操作をしたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。

- 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき(☞**32** ページ)
- 「一括チャンネル合わせ」のあとで、新たな放送局を追加したとき
- チャンネル表示を変えたとき

- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してビデオを見るときのチャンネル(ビデオ1またはビデオ2など)にします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押して、S-VHSランプを点灯させます。

数字ボタン

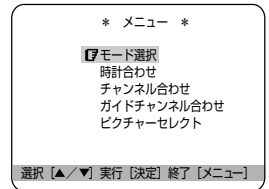
❷,❸

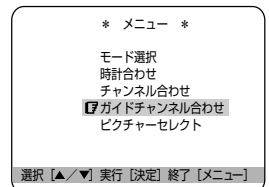
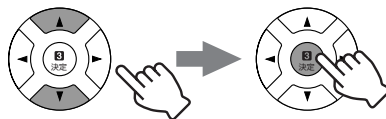
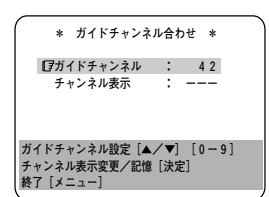
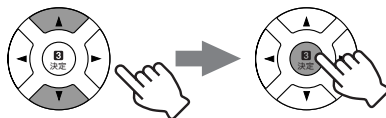
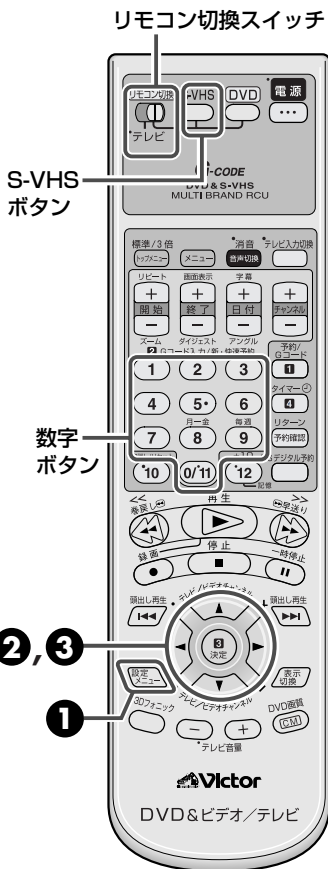
❶

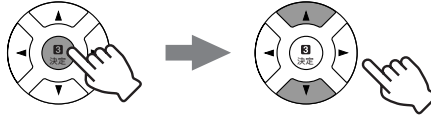
Victor
DVD&ビデオ/テレビ

例　テレビ神奈川のガイドチャンネル42を設定する。

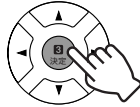
❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

＊　メニュー　＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「ガイドチャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊　メニュー　＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「ガイドチャンネル」を選び、[決定]を押す

- ガイドチャンネル一覧表を参照して入力します。(☞**142**ページ)
- 数字ボタンでも選択できます。

- ガイドチャンネルとは、Gコード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。
- ガイドチャンネルやチャンネル表示を変更するときは、数字ボタン(0〜9)を使うこともできます。
  例：「10」と入力するには、1➡0/11と押す。
  例：「102」と入力するには、1➡0/11➡2と押す。

❹ [決定]を押したあと[▲／▼]で設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

＊　ガイドチャンネル合わせ　＊

ガイドチャンネル　：　42
☞チャンネル表示　：　7

チャンネル表示設定 [▲／▼] [0－9]
ガイドチャンネル変更／記憶 [決定]
終了 [メニュー]

❺ [決定]を押して変更を確定する

＊　ガイドチャンネル合わせ　＊

☞ガイドチャンネル　：　42
チャンネル表示　：　7

ガイドチャンネル設定 [▲／▼] [0－9]
チャンネル表示変更／記憶 [決定]
終了 [メニュー]

❻ 他にも設定したい放送局があるときは、手順の ❸ ～ ❺ をくり返す

❼ [設定メニュー]を押して終了する

● メニュー画面が消えます。

Gコードインフォのガイドチャンネルを設定する

Gコードインフォとは、将来に始められる放送です。その放送をGコードを使って録画予約するためには、Gコードインフォのためのガイドチャンネルを設定する必要があります。
録画予約の方法はGコード録画予約と同じです。(☞46ページ)
ただし、**Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。**

＊　ガイドチャンネル合わせ　＊

☞ガイドチャンネル　：　42
チャンネル表示　：　7

ガイドチャンネル設定 [▲／▼] [0－9]
チャンネル表示変更／記憶 [決定]
終了 [メニュー]

日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。正しい日付と時刻を設定してください。

例　2002年12月24日、午後5時30分に合わせる。

❶ [設定メニュー]を押して[メニュー]画面を表示する

＊　メニュー　＊

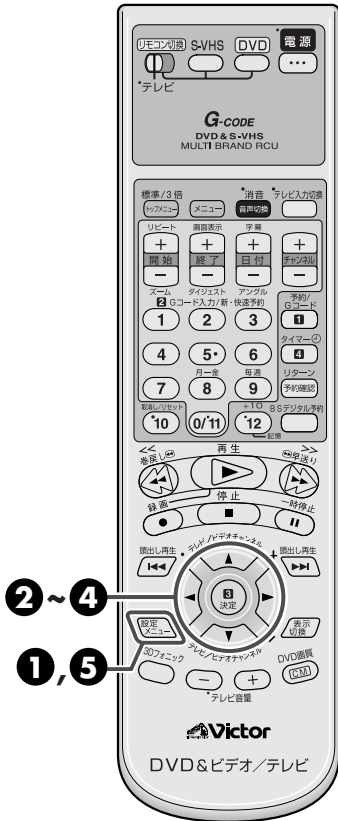
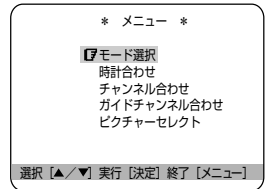
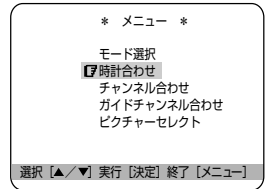
☞モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「時計合わせ」を選び、[決定]を押す

＊　メニュー　＊

モード選択
☞時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ 時刻、日付、西暦を合わせる

[▲/▼]を押して時刻を合わせ、[決定]を押す

▼

[▲/▼]を押して日付を合わせ、[決定]を押す

▼

[▲/▼]を押して西暦を合わせ、[決定]を押す

- [▲/▼]は押し続けると速く変わります。
  時刻：　30分単位で変わります
  日付：　15日単位で変わります

＊　時計合わせ　＊

ＰＭ　５：３０

１２月２４日　２００２年

ぴったり　　３チャンネル

設定［▲／▼］移動［決定］終了［メニュー］

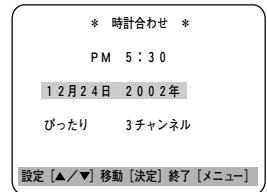
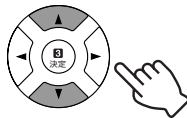
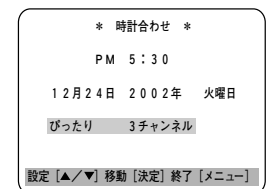
❹ [▲／▼]でぴったりクロックのチャンネルを選ぶ

＊　時計合わせ　＊

ＰＭ　５：３０

１２月２４日　２００２年　火曜日

ぴったり　　３チャンネル

設定［▲／▼］移動［決定］終了［メニュー］

- 「一括チャンネル合わせ」(☞**28**ページ)を行ったあとは、自動的に設定されています。
- 自分で選ぶときは、NHK教育テレビを選びます。

❺ [設定メニュー]を押して終了する

- 時計が動き始めます。

メモ

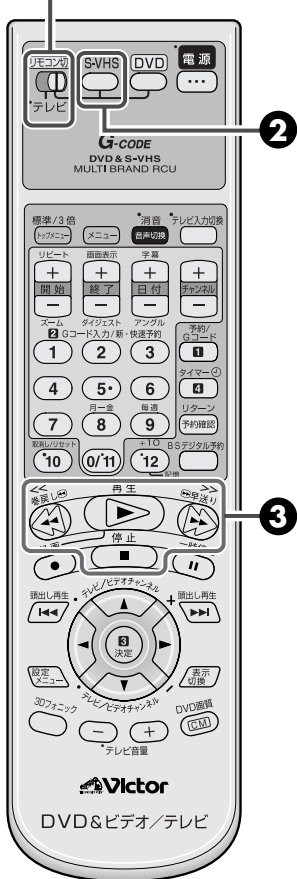
ぴったりクロックとは

- 毎日7、12、19時に、NHK教育テレビの時報が放送されているかどうかを確認し、時報が放送されると、時計の誤差を自動修正します。
- 平成14年10月現在、時報は1日1回、正午のみです。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  - ・番組編成で時報が放送されていないとき
  - ・時報が放送されていないとき
  - ・本機の電源が入っているとき
  - ・現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  - ・時報のバックに音楽が入っているとき
- 高校野球シーズンなどは、時報が放送されないことがあり、現在時刻とのずれが生じます。
- ぴったりクロックが働いていないと、本機の時計が正確に合わないことがあります。この状態で録画予約すると、番組の開始または終了部分がずれた状態で録画されます。ぴったりクロックが働いていないときは、時計を正確に合わせることをおすすめします。
- 停電が60分以上続いた時は「－：－－」表示が点灯します。日付と時刻を再度設定してください。

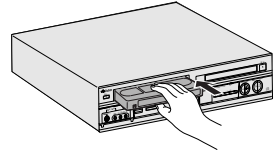
ビデオを見る

ビデオテープを再生してみましょう

準備
- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に☞20～27ページをご覧ください。
- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。

リモコン切換スイッチ

❶ テープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターがリセットされます。
- ツメのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。

カセットの出し入れ口に手を入れないでください。手がはさまれると、けがの原因となることがあります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [S-VHS]を押す

- 本体のS-VHSランプが点灯します。

❸ [再生(►)]を押す

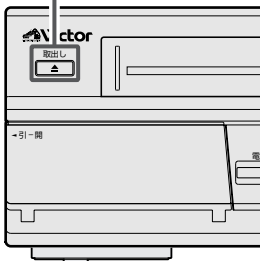
再生が始まります。

取出し（▲）ボタン

再生をやめる

再生や早送り／巻戻しを止めるには、停止(■)ボタンを押します。

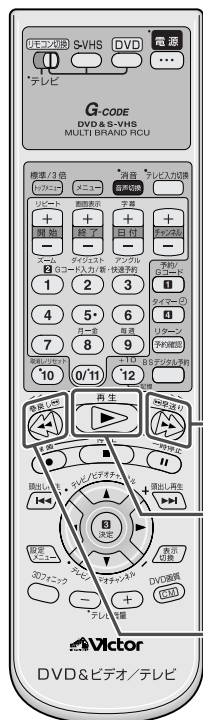
テープを取り出す

本体のボタンでのみ操作できます。

- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- 設定画面の「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。(☞59ページ)

S-VHS側の操作

ビデオを見る（つづき）

映像を見ながら早送り／巻戻しする（シャトルサーチ）

早送り（►►）ボタン

再生（►）ボタン

巻戻し（◄◄）ボタン

再生中に

早送り（►►）ボタンを押すごとに、
スピードが交互に切り換わります。
（標準） ＋5倍速 ⟷ ＋11倍速
（3倍）＋11倍速 ⟷ ＋31倍速

巻戻し（◄◄）ボタンを押すと逆転再生（－1倍速）し、
巻戻し（◄◄）ボタンを押すごとに、
スピードが交互に切り換わります。
（標準） －5倍速 ⟷ －11倍速
（3倍）－11倍速 ⟷ －31倍速

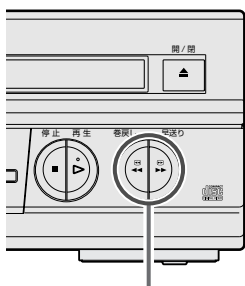
本体で操作する場合は、次のようになります。
早送り（►►）ボタンを押す：早送り方向
巻戻し（◄◄）ボタンを押す：巻戻し方向

通常再生に戻すには、再生（►）ボタンを押します。

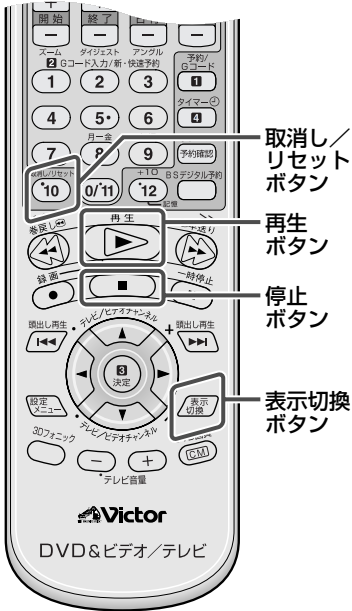
早送り／巻戻しをする

早送り（►►）／巻戻し（◄◄）ボタン

停止中に

	リモコンで操作する場合	本体で操作する場合
早送りするときは		
巻戻しするときは		

- シャトルサーチ中は音声が出ません。
- 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。

テープをくり返し再生する（リピート再生）

[再生(►)]を5秒以上押す

（5秒以上押し続ける）

途中で止めるには、停止(■)ボタンを押します。

- 本体の表示窓の「▶」が点滅して、テープの始めから終わりまでを100回くり返し再生します。

テープを再生中に、映像が上下に揺れるときは

メニューの「モード選択➡Vスタビライズ（ビデオスタビライザー）」を「入」にしてください。(☞**121** ページ参照)
映像の上下の揺れが補正されます。

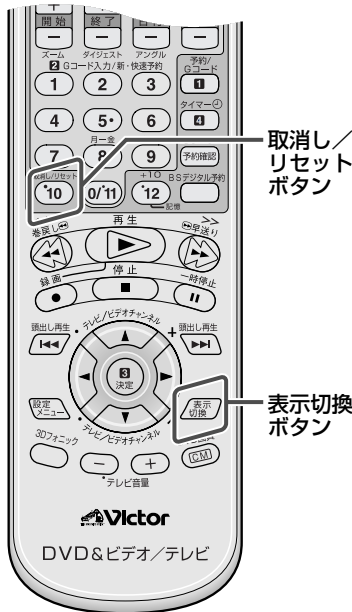
テープを見終わったあとは、必ず「Vスタビライズ」を「切」に戻してください。

- 録画中、スロー再生中は、効果はありません。

テープの残り時間を調べる

取消し／リセットボタン

表示切換ボタン

再生中または録画中にテープの残り時間を表示させることができます。

表示切換ボタンを押すごとに、表示窓の表示が次のように切り換わります。

＊：テープの残量は少しの間テープを走行させないと表示されません。
＊＊：再生中は表示しません。

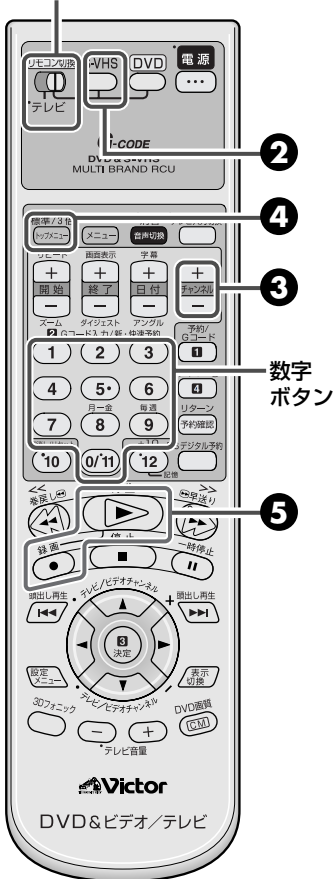
カウンターをリセットするには [取消し／リセット]を押す

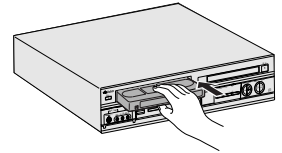
本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが、「0:00:00」に戻ります。

- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されるテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、モード選択画面の「オンスクリーン」を「切」にしてください。(☞**120**ページ)
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「－－－－」になったり、点滅したりすることがあります。

番組を録画する

BSデジタル放送の番組を録画するときは、☞112〜114ページをご覧ください。

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に☞**20**〜**27**ページをご覧ください。
- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してビデオを見るときのチャンネル(ビデオ1またはビデオ2など)にします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。

❶ ツメのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターがリセットされます。
- ツメのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [S-VHS]を押す

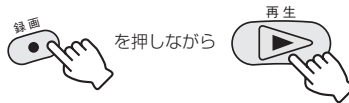
- 本体の S-VHS ランプが点灯します。

❸ [チャンネル+/−]を押して番組を選ぶ

❹ [標準/3倍]を押して録画スピードを選ぶ

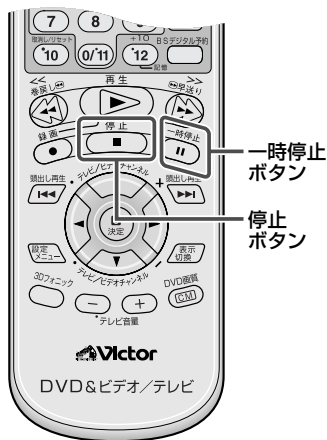
- 押すごとに、録画スピードが「SP(標準)」、「EP(3倍)」、に切り換わります。

標準(SP) :画質を重視するとき
3倍(EP) :3倍長く録画するとき

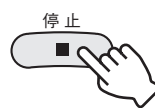
❺ [録画(●)]を押しながら[再生(►)]を押す

- 本体で操作するときは、録画(●)ボタンを押します。

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

リモコンの数字ボタン(0〜9)でチャンネルを選ぶときは

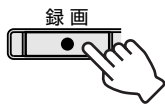
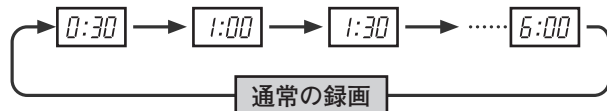
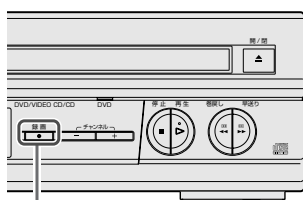
① リモコン切換スイッチを右側にし、S-VHSボタンを押す。
② 数字ボタン(0〜9)を押す。
例: 4チャンネルを選ぶときは4を押す。
例: 10チャンネルを選ぶときは1➡0/11と続けて押す。
例: 外部入力を選ぶときは0/11を押す。強制的に「F-1」入力に切り換わります。(BSチャンネルのときは、0/11を押しても「F-1」入力には切り換わりません)

録画を一時停止する

録画が一時停止します。
再び録画を始めるには、再生(▶)ボタンを押します。

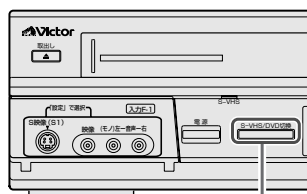
録画をやめる

録画時間を設定する（ワンタッチタイマー録画）

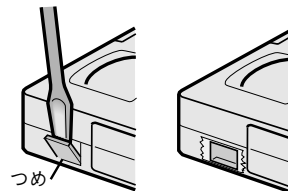
録画中に録画時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

録画中に

押すごとに、録画時間(最長6時間まで)が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示さます。

録画を途中でやめるには、停止（■）ボタンを押します。

録画中に別の番組を見る（裏番組録画）

録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

1. テレビの電源を入れる
2. テレビで見たい番組を選ぶ

誤消去を防止するために

大切な記録を誤って消したくないときは、ツメ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。セロハンテープを二重に張って穴をふさぐとふたたび録画できます。

- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中またはワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、本体表示窓の「►」と「●」表示が点滅し電源が切れます。取出しボタンを押すと点滅は消えます。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 二か国語放送の主音声と副音声の両方の音声を録音したいときは、メニュー画面で「二ヵ国語音声録音」を「主*副」にしてください。(☞**121**ページ)
- 設定画面の「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、録画するテープの品質レベルを測定して最適な画質で録画します。詳しくは「最適な画質で録画・再生をする」をご覧ください。(☞**59**ページ)

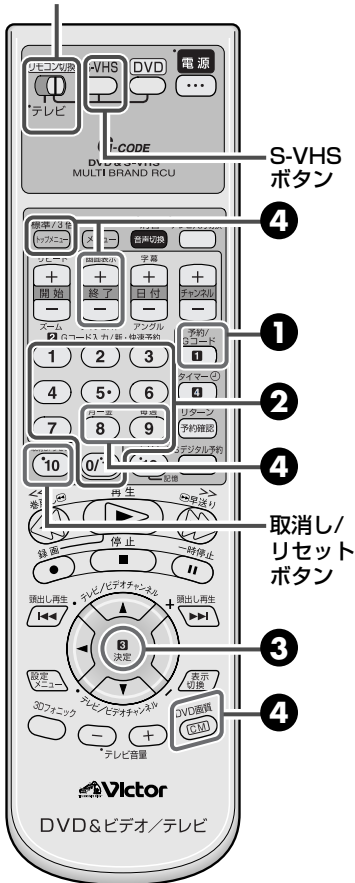
Gコード®機能を使って予約する（Gコード®録画予約）

- ガイドチャンネル（☞38ページ）と時計（☞40ページ）の設定を先に行ってください。
- 録画用のテープを入れてください。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させせます。

リモコン切換スイッチ

S-VHSボタン

取消し／リセットボタン

DVD&ビデオ／テレビ

❶ ［予約／Gコード］を押す

❷ 数字ボタンを押してGコード番号を入力する

- 番号を間違えたときは、［取消し／リセット］を押します。

数字の0は［0/11］を押します。

Gコードナンバー
1 2 3 4 5 6 7 8
設定［0－9］変換［決定］終了［予約］

❸ ［決定］を押す

- 変換が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
変換時に本体表示窓に「Err」や、テレビ画面に「ERROR」と表示されたときは、下のメモをご覧ください。メッセージが表示されたときには、それにしたがって確認してください。

❹ 必要に応じて、次の設定をする

録画スピードを変更したいとき...
押すたびに、録画スピードがSP(標準)、EP(3倍)に切り換わります。

CMカットして録画したいとき...
押して、オートCMカット表示を「入」にします。外部入力録画の録画のときはCMカットできません。（☞53ページ）

＊ 番組予約1 ＊
〔Gコードナンバー：1234 〕
開始時刻 終了時刻
PM 8：00 → PM 9：20
日付 チャンネル
2002／12／24 4
火曜日
録画スピード ： 標準
オートCMカット ： 切
設定［終了＋／－］終了［決定］

同じ番組を毎日(月～金)録画したいとき...
毎週月曜から金曜まで録画されます。
- もう一度押すと元に戻ります。

毎週 9

同じ番組を毎週録画したいとき...
毎週同じ曜日に録画されます。
- もう一度押すと元に戻ります。

録画終了時刻を変えたいとき...
押すたびに1分単位で、押し続けると30分単位で延長または短縮できます。（変換後のみ操作できます。）

メモ

途中でやめたくなったら...
予約／Gコードボタンを押します。表示している予約が削除されます。
変換時に本体表示窓に「Err」と表示されたときは
- 次の点を確認してください。
  - ・番組の開始時刻が過ぎていないか
  - ・Gコードが正しいか(Gコードを入力し直してください。)
  - ・ガイドチャンネルの設定がされているか（☞38ページ）

- 変換時に本体表示窓に「FULL」、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示されたときは、すでに8予約分登録されています。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。

❺ [決定]を押して予約内容を決める

番組予約を完了しました

タイマーを入れてください

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順❶から❺をくり返します。
- 予約が重複しているときには、画面に「開始または終了時刻を変更してください」、本体表示窓は「Err」と表示され、重複している予約が点滅します。

❻ [タイマー]を押して録画予約の待機状態にする

- 表示窓の「⌚」が点灯し、電源が切れます。（録画予約の待機状態）

予約が重複しているとき（オーバーラップププログラム機能）

予約が重複しているときは、メッセージが表示されて、しばらくすると予約の確認画面が表示されます。

開始または終了時刻を変更してください

予約の確認画面では、**重複している内容が点滅表示**されます。

修正したい録画予約にカーソルを合わせて**決定**ボタンを押すと、選んだ録画予約が表示されます。
予約内容の開始時刻、終了時刻や録画日など必要な部分を修正します。修正の手順は、次ページの「新・快速録画予約をする」の手順❷から❻と同じです。

予約	開始時刻	終了時刻	CH	日付
1	AM11:00	0:00	113	12/24
2	PM 9:00	10:00	12	12/24
3	AM 0:00	1:00	1	12/25
4	AM 8:00	11:30	L−1	12/24
5				
6				
7				
8				

選択［▲／▼］ 修正［▶］ 終了［予約］

決定ボタンを押してください。修正後、重複している予約がある場合は、再び点滅表示します。再度修正してください。

メモ

Gコード予約のときの注意

- Gコード予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 1ヵ月以内の番組を8つまで予約できます。
- 予約中に3分以上放置すると、自動的に予約モードを解除します。
- ツメのないテープが入っていると、本体表示窓の「⌚」、「▶」、「●」表示が点滅し電源が切れます。ツメの付いたカセットを入れてください。

オーバーラップププログラム機能について

- 「Gコード録画予約または新・快速録画予約」と「本日簡単予約」の予約が重複したとき、オーバーラップププログラム機能は働きません。

ぴったり録画を「入」で録画予約すると

- 録画スピードを「標準(SP)」に設定していてもテープ残量が少なくなると、自動的に「3倍(EP)」に切り換わって録画します。(☞**120**ページ)
テープ再生時、録画スピードの切り換わり部分で映像が乱れます。

S-VHS側の操作

Gコード®機能を使わずに予約する（新・快速録画予約）

- 録画用のテープを入れてください。
- S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

例　西暦2002年12月24日、午後8時から午後9時20分まで4チャンネルの番組を標準モードで予約する。

1 ［予約／Gコード］を押して「番組予約」画面を表示する

Gコードナンバー

設定［0－9］
予約［＋／－］終了［予約］

2 ［開始＋/－］を押して録画の開始時刻を設定する

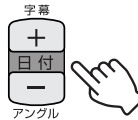
＊ 番組予約1 ＊
開始時刻 PM 8：00 → 終了時刻 AM－－：－－
日付 －－－－／－－／－－　チャンネル －－－
録画スピード ： 標準
オートCMカット ： 切
設定［＋/－］終了［決定］

- 押すごとに、1分単位で変わります。
- 押し続けると30分単位で変わります。

3 ［終了＋/－］を押して録画の終了時刻を設定する

- 押すごとに、1分単位で変わります。
- 押し続けると30分単位で変わります。

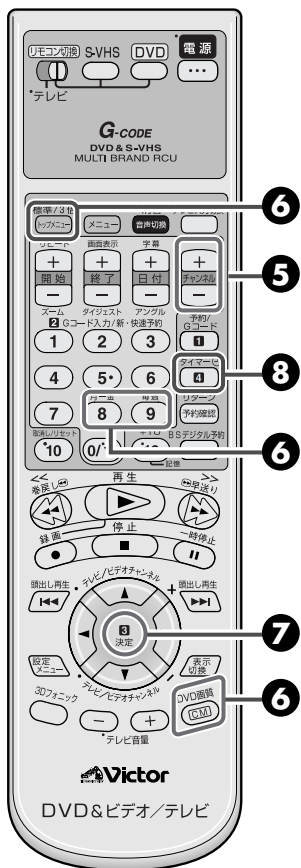
4 ［日付＋/－］を押して録画日を設定する

＊ 番組予約1 ＊
開始時刻 PM 8：00 → 終了時刻 PM 9：20
日付 2002／12／24　チャンネル －－－
火曜日
録画スピード ： 標準
オートCMカット ： 切
設定［＋/－］終了［決定］

- 押すごとに、1日単位で変わります。
- 押し続けると速く変わります。

メモ

途中でやめたくなったら. . .
予約／Gコードボタンを押します。

予約内容をクリアするには. . .
取消し／リセットボタンを押します。

ぴったり録画を「入」で録画予約すると
- 録画スピードを「標準（SP）」に設定していてもテープ残量が少なくなると、自動的に「3倍（EP）」に切り換わって録画します。（☞**120**ページ）
テープ再生時、録画スピードの切り換わり部分で映像が乱れます。

❺ [チャンネル+/−]を押して チャンネルを選ぶ

- 本体前面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」を表示させます。
- 本体背面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「L-1」を表示させます。

❻ 必要に応じて録画に必要な設定をする

録画スピードを変更したいとき...
押すごとに、録画スピードがSP(標準)、EP(3倍)に切り換わります。

CMカットして録画したいとき...
押して、表示を「入」にします。外部入力録画のときはCMカットできません。(☞**53**ページ)

同じ番組を毎週録画したいとき. . .
曜日の表示が「毎週」になります。もう一度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日（月〜金）録画したいとき. . .
曜日の表示が毎日「月〜金」になります。もう一度押すと元に戻ります。

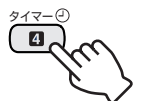
❼ [決定]を押して予約内容を決める

「番組予約を完了しました　タイマーを入れてください」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順❶から❼をくり返します。

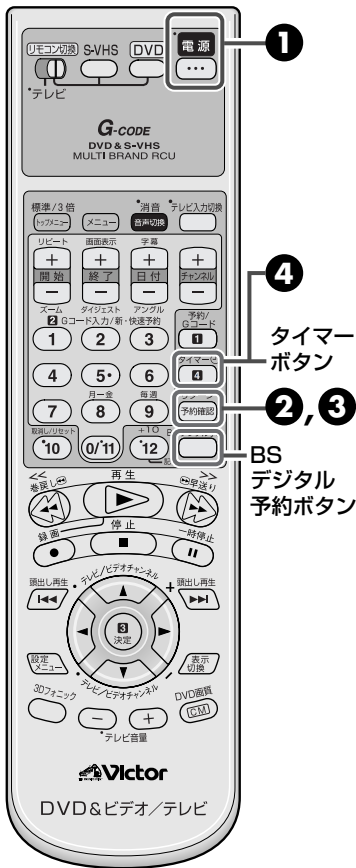
❽ [タイマー]を押して録画予約の待機状態にする

- 表示窓の「⊙」が点灯し、電源が切れます。（録画予約の待機状態）

メモ

予約のときの注意

- 1ヵ月以内の番組を8つまで予約できます。
- 予約中に3分以上放置しますと自動的に予約モードを解除します。
- ツメのないテープが入っていると、本体表示窓の「⊙」、「▶」、「●」表示が点滅し電源が切れます。ツメの付いたカセットを入れてください。
- すでに予約が8つぶん登録されているときに、リモコンから予約内容を転送すると、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。

予約を確認する

録画予約設定後、テレビ画面で予約の確認ができます。

タイマーボタン

BS デジタル予約ボタン

❶ [電源]を押して電源を入れる

- **本体表示窓に「⏲」が点灯しているときは**
  [タイマー] を押して「⏲」を消してから [電源] を押します。
- **本体表示窓に「⏲」と「 」が点灯しているときは**
  [BS デジタル予約] を押して「⏲」と「 」を消してから [電源] を押します。

❷ [予約確認／リターン]を押して「予約確認」画面を表示する

- 録画予約内容が一覧表示されます。
- 毎週／毎日予約は、実行されるまでは1回目の日付が表示されます。

予約	開始時刻	終了時刻	CH	日付
1	AM11:00	0:00	113	12/24
2	PM 9:00	10:00	12	12/24
3	AM 0:00	1:00	1	12/25
4	AM 8:00	11:30	L−1	12/24
5				
6				
7				
8				

予約修正［予約確認］

❸ [予約確認／リターン]を押して予約内容の詳細を表示する

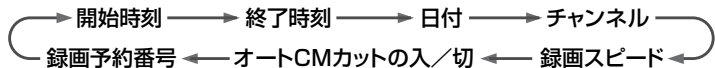
- 押すたびに録画予約内容が順番に表示されます。
- 全てを表示すると、元のテレビ画面に戻ります。

❹ [タイマー]を押して予約待機にする

- 本体表示窓の「⏲」が点灯し、電源が切れます。
- **BS デジタル予約待機状態にするときは**
  「タイマー」の代わりに、[BS デジタル予約] を2秒以上押して「⏲」と「 」を点灯させます。

本体表示窓で予約内容を確認するには

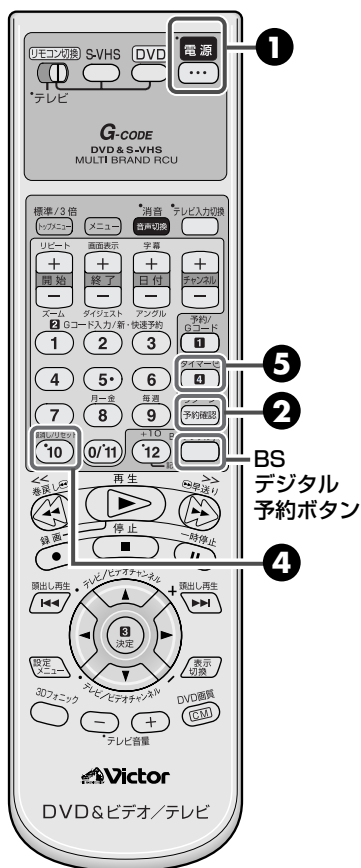
本機の電源が入っていなくてもできます。

1. **予約確認／リターン**ボタンを押す
   本体表示窓には「P1P8」と表示します。
2. **予約確認／リターン**ボタンを押して、確認したい予約の録画予約番号を表示させる
   予約確認ボタンを押すごとに「P1」、「P2」と送られます。
3. **決定**ボタンを押して予約内容を表示させる
   決定ボタンを押すごとに、表示される内容が次の順番で切り換わります。

4. **予約確認**ボタンを押す
   元の表示（時計表示）に戻ります。（確認操作終了）

途中でやめたくなったら. . .
予約確認／リターンボタンを元のテレビ画面が表示されるまで押します。

「毎日」と「毎週」の確認は画面で
- 予約内容の「毎日」または「毎週」の設定は本体表示窓には表示されませんので、テレビ画面に詳細内容を表示させて確認してください。

予約を変更・取消する

録画予約設定後、テレビ画面で予約の変更または取消しができます。

❶ [電源]を押して電源を入れる

- **本体表示窓に「⊙」が点灯しているときは**
  [タイマー] を押して「⊙」を消してから [電源] を押します。
- **本体表示窓に「⊙」と「△」が点灯しているときは**
  [BSデジタル予約] を押して「⊙」と「△」を消してから [電源] を押します。

❷ [予約確認/リターン]を押して変更したい予約内容を表示する

- 「予約を確認するには」の手順❷と❸をご覧ください。

❸ 必要に応じて設定を変更する

- 「新・快速録画予約をする」(☞48 ～ 49 ページ) の手順❷～❻を参照してください。

❹ 必要に応じて[取消し/リセット]を押して録画予約を取り消す

- 表示中の録画予約が取り消され、次の予約内容が表示されます。

❺ [タイマー]を押して予約待機にする

- 本体表示窓の「⊙」が点灯し、電源が切れます。
- **BS デジタル予約待機状態にするときは**
  「タイマー」の代わりに、[BSデジタル予約] を２秒以上押して「⊙」と「△」を点灯させます。

S-VHS側の操作

途中でやめたくなったら...
元のテレビ画面が表示されるまで、予約確認ボタンを押します。

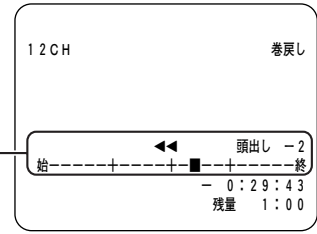
番組の頭出しをする

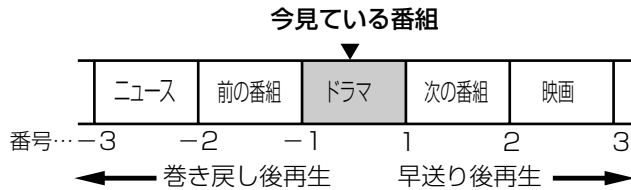
番組(録画)の頭出しをするには

本機では、録画の始めに頭出し信号をテープに書き込みます。
この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。

テープの何番目に見たい番組が録画されているか、わかっているときに便利です。
番組の頭出しは、前後9番目まで指定できます。

停止中に

- 押すごとに、頭出しの番号が一つずつ増えて(減って)いきます。

指定した頭出し番号が表示されます。
例：今見ている番組（録画）の一つ前の番組を見たいとき

頭出し番号の指定のしかた

［例］**次の番組を頭出しするとき　：頭出し ▶▶| ボタンを1回**押す。
　　　今見ている番組を頭出しするとき：頭出し |◀◀ ボタンを1回押す。
　　　ひとつ前の番組を頭出しするとき：頭出し |◀◀ ボタンを2回押す。

コマーシャルを飛ばして録画・再生する

CM ボタンを使うと、二重音声放送（二カ国語放送など）やモノラル放送の番組を録画中に、コマーシャルが入ったら、その部分を飛ばして録画することができます。（オート CM カット）
また、再生中に CM ボタンを押すと、押したところからおよそ 30 秒間分(平均的なコマーシャル 1 つ分)を早送りする機能になります。（CM スキップサーチ）

CMをとばして録画する（オートCMカット）

二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オートCMカット」です。

停止中または録画中に[CM]を押す

入：CM がカットされる
切：CM がカットされない

- 押すごとに、オートCMカットの「入/切」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。
- 録画予約時も設定可能です。（☞**46**～**49**ページ）

CMを早送りして再生する（CMスキップサーチ）

再生中に[CM]を押す

- 一度押すと、押したところからおよそ30秒間分を早送りします。
  1 回の CM スキップサーチでは、最高 4 回まで(およそ 2 分間分)押すことができます。

S-VHS側の操作

次のような場合は正常にCMカットができません

- **ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。**
  オートCMカットが「入」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。
- モノラル放送のコマーシャルは、オートCMカットが「入」になっていても、録画されます。また、タイマー予約したときに最後がCMで終わった場合、多少CMが録画されることがあります。
- 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。
- オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
- テープをダビングするときなどは、オートCMカットは使えません。
- BS番組の録画のときは、オートCMカットは使えません。

コマ送りやスローで再生する

コマ送り再生するには

リモコンで操作する場合

再生中に

- 1回押すと、静止画再生になります。
- くり返し押すと、押すたびに映像が1コマずつコマ送りで再生します。
- 静止画再生中に巻戻しボタンを押したあと、一時停止ボタンを押すたびに映像が1コマずつ逆方向へコマ送りで再生します。
- 通常再生に戻すには、再生ボタンを押します。

スロー再生するには

再生中に

- 2 秒以上押し続けると、スロー再生します。
- スロー再生中に巻戻しボタンを押すと、逆方向へスロー再生します。
- 静止画再生中に巻戻しボタンを押したあと、一時停止ボタンを 2 秒以上押し続けて、逆方向へスロー再生することもできます。

メモ

再生スピードを変えたときには

- 静止画再生、コマ送り再生、スロー再生、可変速再生中は、音声が聞こえません。
- 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行ってください。（☞**56** ページ）
- 静止画再生やスロー再生が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。

VHSテープにS-VHS画質で録画する

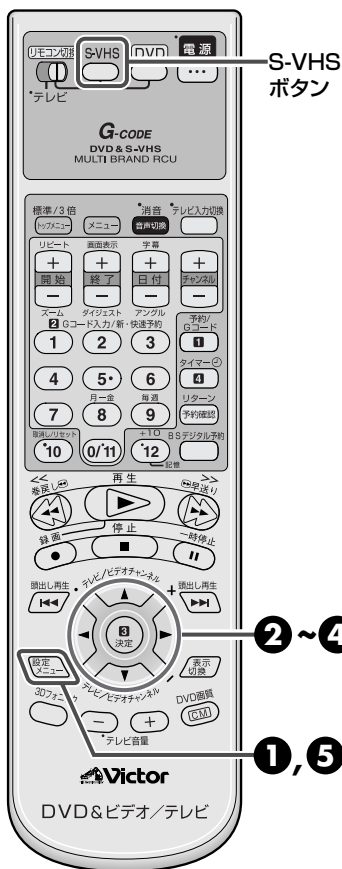
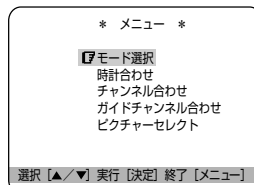
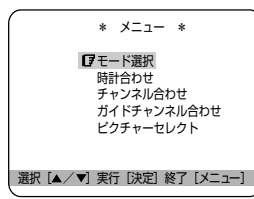
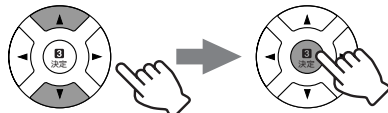
S-VHS ETを設定する

S-VHS ET は、VHS テープに S-VHS 画質（水平解像度 400 本以上）で録画・再生する機能です。
S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、本機または S-VHS のビデオデッキ、S-VHS ET 機能を持ったビデオデッキ、S-VHS 簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキで再生することができます。
ただし、一部の機種によっては再生できないことがあります。

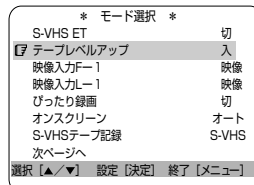
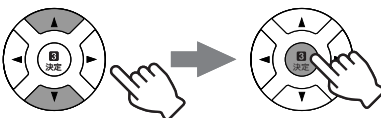
● S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

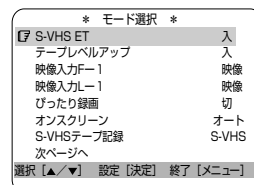
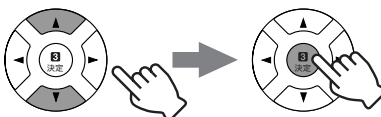
＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼] を押して「モード選択」を選び、[決定] を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「テープレベルアップ」を選び、[決定]を押して「入」にする

＊ モード選択 ＊	
S-VHS ET	切
テープレベルアップ	入
映像入力F－1	映像
映像入力L－1	映像
ぴったり録画	切
オンスクリーン	オート
S-VHSテープ記録	S-VHS
次ページへ	

選択［▲／▼］ 設定［決定］ 終了［メニュー］

❹ [▲／▼]を押して「S-VHS ET」を選び、[決定]を押して「入」にする

＊ モード選択 ＊	
S-VHS ET	入
テープレベルアップ	入
映像入力F－1	映像
映像入力L－1	映像
ぴったり録画	切
オンスクリーン	オート
S-VHSテープ記録	S-VHS
次ページへ	

選択［▲／▼］ 設定［決定］ 終了［メニュー］

❺ [設定メニュー]を押して終了する

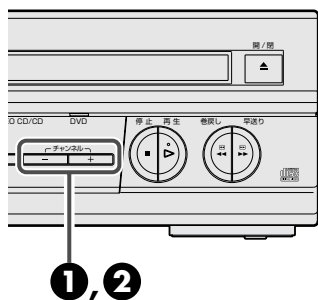
● VHS テープを入れて録画してください。
録画については ☞44 ページをご覧ください。

- よりよい画質で録画･再生･長期保存するためには、S-VHS テープをご利用ください。また、保存するときは通常のモード(VHSモード)で録画したテープと区別して保存することをお勧めします。
- 再生時テープの品質によっては、ノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り･スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り･スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されてることを確かめてください。
- この機能を使うときは、HG（ハイグレード）タイプのVHSテープをお使いください。

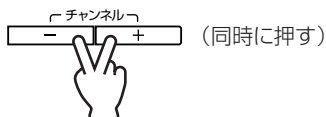
再生中の映像を調節する

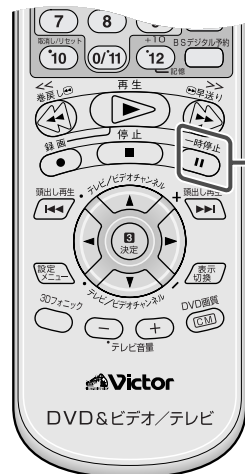
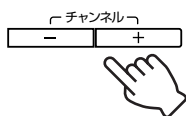
トラッキングを調節する

本機には、オートトラッキング機能が付いています。
テープの再生を始めると自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。
オートトラッキングで映像の乱れやちらつきがとれないときは、手動でトラッキングを調節します。

❶,❷

❶ 再生中に

本体の[チャンネル+／−]を同時に押して、オートトラッキングを解除する

（同時に押す）

- 押すごとに、オートトラッキングの「入／切」が切り換わります。
- 「切」のときのみ、「AT：切」がテレビ画面に表示されます。

一時停止ボタン

❷ [チャンネル+／−]を押してトラッキングを調節する

静止画再生中やスロー再生中、映像に横すじやちらつきが出るときは

①静止画再生中は、**一時停止**（Ⅱ）ボタンを2秒以上押し、スロー再生にする。
②**チャンネル+**または**−**ボタンを押し、調節する。

静止画再生中、映像が上下に揺れるときは

①揺れが止まるまで、チャンネル+または−ボタンを押す。
- 録画状態の悪いテープの場合は、十分に調整できないことがあります。

- 本機の電源を入れたり、テープを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。

- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- 静止画再生中やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。

聞きたい音声を選ぶ

音声を切り換えるには

二重音声放送（二ヵ国語放送など）やステレオ放送を見ているときや、二重音声放送（二ヵ国語放送など）を録画したテープの再生中に、聞きたい音声を選ぶことができます。

メニューの「モード選択➡オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。(☞**120**ページ)

音声切換ボタン

● 押すごとに、聞こえる音声が変わります。

日本語と外国語が同時に聞こえたら

メニューの「モード選択➡ミックス音声」が「切」のとき(☞**121**ページ)

	主音声＋副音声	主音声	副音声	ノーマル音声
聞こえる音声	こんにちは！ Hello!	こんにちは！	Hello!	こんにちは！
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル

メニューの「ミックス音声」が「入」のとき

左右の音声（二重音声やステレオ音声）にノーマル音声がミックスして聞こえます。

聞こえる音声	ミックス音声（左右の音声＋ノーマル音声）	左音声＋ノーマル音声	右音声＋ノーマル音声
テレビ画面の表示	ミックス 左　右	ミックス 左	ミックス 右

メモ

ハイファイ音声が記録されていないテープでは

● ノーマル音声しか聞けません。

副音声も録音したいときは

● お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、メニューの「モード選択➡二ヵ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。（☞**119**、**121** ページ）

ミックス音声について

● お買い上げ時の設定では、メニューの「モード選択➡ミックス音声」は「切」になっています。（☞**121** ページ）

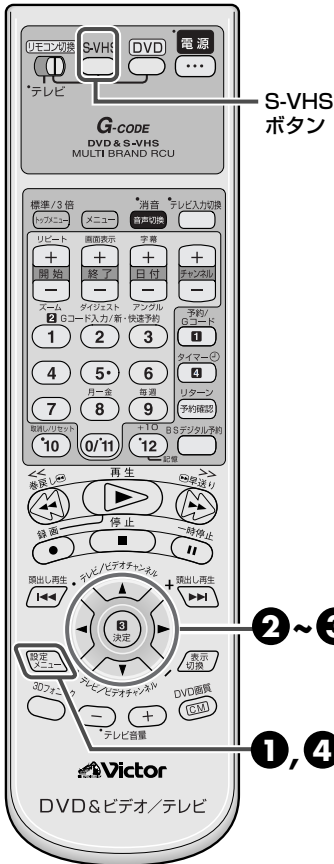
● メニューの「モード選択➡ミックス音声」が「入」のときに、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。このときは、メニューの「モード選択➡ミックス音声」を「切」にしてください。（☞**119**、**121** ページ）

最適な画質に設定する

ピクチャーセレクトの設定

お好みの番組などを録画や再生するときに最適な画質を選ぶことができます。

● S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

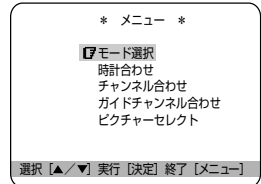
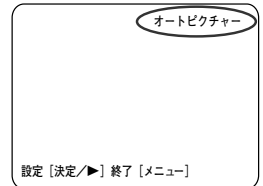
S-VHSボタン

再生するときの設定

再生する映像によって、より効果的な画質調整をすることができます。

❶ [設定メニュー]を押す

＊ メニュー ＊

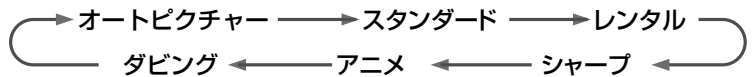
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「ピクチャーセレクト」を選び、[決定]を押す

❸ [決定]を押して映像に合ったモードを選ぶ

オートピクチャー

設定［決定／▶］終了［メニュー］

● 再生中に押すと、次のように変わります。

オートピクチャー → スタンダード → レンタル → シャープ → アニメ → ダビング → オートピクチャー

オートピクチャー	：テープの状態により、自動的に画質を調整します。（通常はこのモードにしてください）
スタンダード	：バランスの良い画質にしたいときに使います。
レンタル	：レンタルビデオなどでノイズが目立つときに使います。
シャープ	：くっきりとした輪郭の画質にしたときに使います。
アニメ	：アニメーションなどを再生するときに使います。
ダビング	：ダビングするときに使います。

❹ [設定メニュー]を押して終了する

❷～❸

❶,❹

録画するときの設定

録画モード時も、再生と同じ方法で設定できます。
上の手順❸で選べるモードは、「オートピクチャー」と「ダビング」のみです。

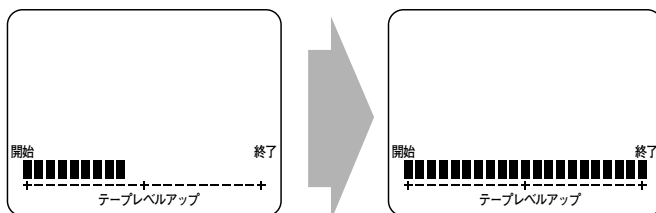
● 静止画再生、スロー再生、可変速再生などをすると、ピクチャーセレクトの画面表示が消えるため設定できません。このようなときは、再生ボタンを押して通常再生にすると、ピクチャーセレクトの画面表示が出ます。

最適な画質で録画する

本機が自動的に録画するテープの品質レベルを測定して、最適な画質で録画することができます。
（テープレベルアップ）

録画するときの動作

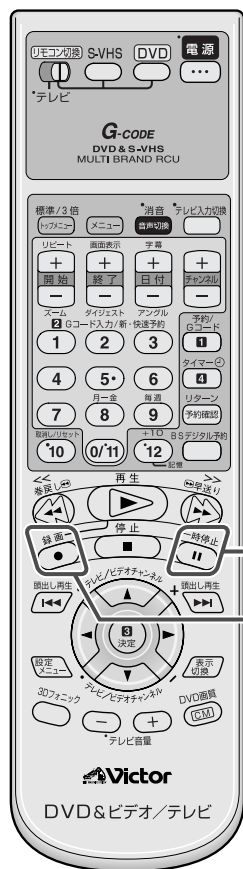
■ メニューの「モード選択➡テープレベルアップ」を「入」にします。
（☞120ページ）
録画するビデオカセットを本機に入れ、通常の録画操作をしてください。

録画が始まると、テレビ画面にテープレベルアップの確認状態が表示されます。この画面が表示されているときに、テープに最も良い状態で録画するための品質レベルが測定されます。（測定中は録画しません）

約7秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると、録画を始めます。

- テープレベルアップの測定が行われるのは、次のようなときです。
  - カセットを入れた後、初めて録画するとき
  - 録画スピードを変えたとき
- メニューの「モード選択 ➡ オンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。（☞120 ページ）

録画開始前に測定したいときは

1 ［一時停止（Ⅱ）］と［録画（●）］を同時に押す
本機は録画一時停止状態になり、テープの品質レベルが測定されます。

2 録画したい番組が始まったら、［再生（▶）］ボタンを押す
録画が始まります。

テープレベルアップについて

- 録画予約をするときは、最初の録画予約を始める前に、テープの品質レベルが「標準（SP）」と「3倍（EP）」モードに対して測定されます。以降の予約録画開始時には測定しません。（テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルが測定し直されます）
- テープの品質レベルを測定中は、一時停止（Ⅱ）ボタンは働きません。

省電力の設定

オート電源オフ

本機の電源の切り忘れを防止するため、電源を自動的に切りたいときに設定します。

● S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「モード選択」を選び、[決定]を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

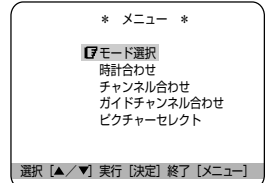
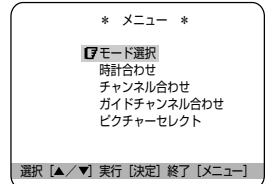
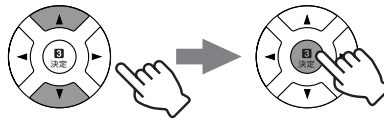
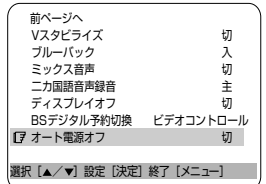
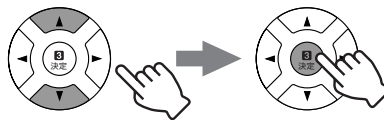
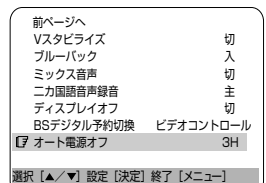
❸ [▲／▼]を押して「オート電源オフ」を選ぶ

前ページへ	
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	切
BSデジタル予約切換	ビデオコントロール
オート電源オフ	切

選択［▲／▼］設定［決定］終了［メニュー］

❹ [決定]を押して「3H」にする

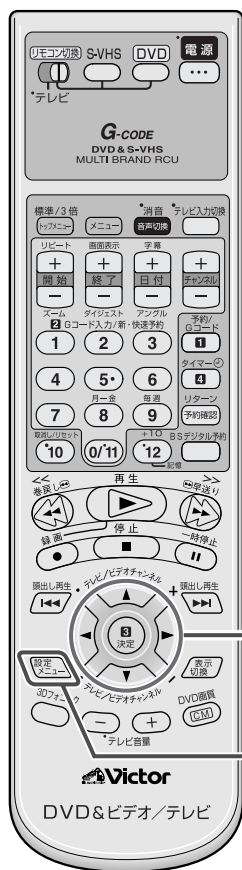
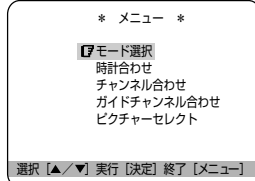
前ページへ	
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	切
BSデジタル予約切換	ビデオコントロール
オート電源オフ	3H

選択［▲／▼］設定［決定］終了［メニュー］

❺ [設定メニュー]を押して終了する

オート電源オフを設定すると

- 電源が切れる180秒前に「電源が切れます」表示が点滅します。
  この表示が点滅中に操作ボタンを押すと、表示が消えて押したボタンの動作が行なわれます。

ディスプレイオフ

電源ボタンを押して電源を切ると、本体表示窓が消灯して消費電力を少なくすることができます。

● S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「モード選択」を選び、[決定]を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

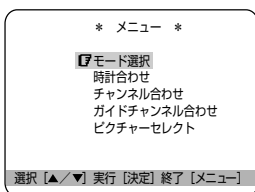
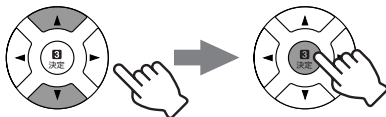
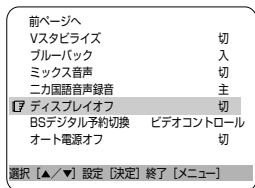
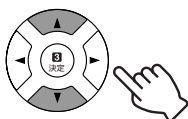
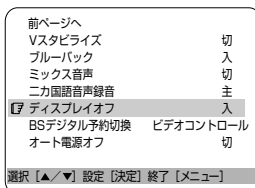
❸ [▲／▼]を押して「ディスプレイオフ」を選ぶ

前ページへ	
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	切
BSデジタル予約切換	ビデオコントロール
オート電源オフ	切

選択［▲／▼］設定［決定］終了［メニュー］

❹ [決定] を押して「入」にする

前ページへ	
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	入
BSデジタル予約切換	ビデオコントロール
オート電源オフ	切

選択［▲／▼］設定［決定］終了［メニュー］

❺ [設定メニュー]を押して終了する

省電力設定したときの注意

- メニューの「モード選択➡ディスプレイオフ」を「入」にして電源を切ると次のボタン以外は操作できません。
  - ・電源ボタン
  - ・タイマー（◴）ボタン
  - ・本体の取出し（▲）ボタン

省電力設定が働かないとき

- 次のようなときは、電源を切っても、本体表示窓が消灯しません。
  - ・チャイルドロック動作中
  - ・録画予約待機中
  - ・BSデジタルリンク予約待機中
  - ・着信予約待機中

ディスクを再生する

VIDEO-CD　CD　DVD-VIDEO

ディスクを再生してみましょう。MP3ディスクの再生については(☞89ページ)をご覧ください。

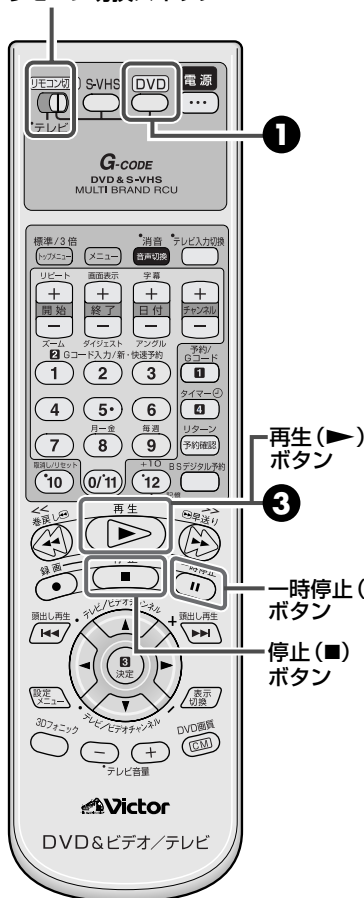
リモコン切換スイッチ

再生(►)ボタン

一時停止(II)ボタン

停止(■)ボタン

DVDランプ

準備
- リモコン準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に☞20〜27ページをご覧ください。
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、DVDを見るときのチャンネルにします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。

❶ [DVD]を押してDVDランプを点灯する

- オープニング画面が表示されます。
- メッセージは、本機の状態を表示します。

NOW READING（ナウ リーディング）：ディスク情報を読み取り中です。しばらくお待ちください。

リージョンコードエラー!：リージョンコードが違うため、このDVDビデオを再生できません。

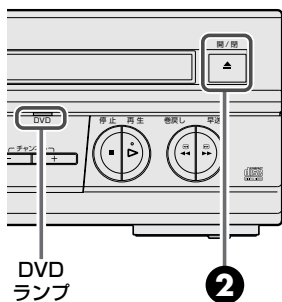
OPEN（オープン）：ディスクトレイを開いています。

CLOSE（クローズ）：ディスクトレイを閉じています。

メッセージ

❷ [開／閉(▲)]を押してディスクを入れる

❸ [再生(►)]を押す

- ディスクトレイが閉じてディスクの最初から再生が始まります。
- ディスクによっては、ディスクトレイを閉じると自動で再生が始まるものがあります。
- ディスクによっては、メニューが表示(☞63ページ)される場合があります。その場合は、メニュー画面に従って操作してください。

再生を一時停止する

再生中に

を押す

再生が一時停止されて、静止画がテレビ画面に映ります。
この時、本体表示窓の「►」マークが点滅します。
通常の再生に戻すには、再生(►)ボタンを押します。

再生をやめる

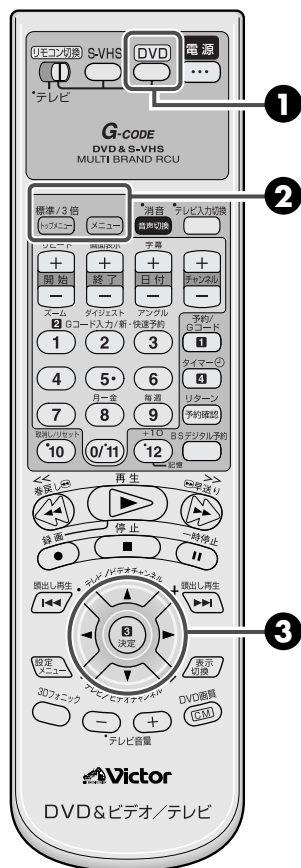
を押す

再生中に開／閉ボタンを押すと、停止して、ディスクトレイが出てきます。

ご注意
- BSデジタルリンク予約時(待機中または録画中)は、DVD側を使用できません。
- タイマー予約時は、DVD側を使用できます。
- 再生(►)ボタンなどの操作ボタンを押したとき、再生画像が表示されるまで、多少時間がかかる場合がありますが故障ではありません。
- 停止中に、早送り／早戻しなどの操作はできません。

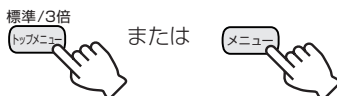
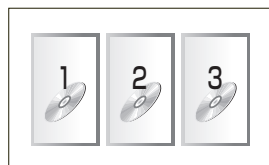
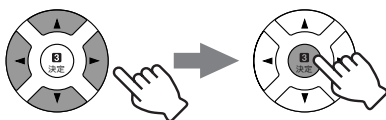
DVDのメニューを使って再生する

DVD ビデオには、トップメニューやディスクメニューの 2 種類のメニューがあります。
トップメニューには、全体の構成を確認できたり、見たい場面を選択できるメニュー画面が記録されています。
ディスクメニューには、各タイトル固有の再生データ(アングルメニュー、字幕メニューなど)が含まれています。
トップメニューには聞きたい曲を選択できるメニュー画面が記録されています。

● DVDビデオディスクを入れてください。

❶ [DVD]を押してDVDランプを点灯する

● オープニング画面が表示されます。

❷ [トップメニュー]または[メニュー]を押す

例

❸ [▲／▼／◀／▶]を押して見たいタイトルを選び、[決定]を押す

● メニュー画面によっては、数字ボタンを使って見たい場面を選択できる場合があります。

トップメニューとディスクメニューについて

● 全体の構成がわかる内容(目次など)のメニューをトップメニューと呼びます。トップメニューボタンを押して表示させます。ディスクによっては、トップメニューを表示させるボタンをTITLE(タイトル)ボタンと呼んでいる場合があります。

● ディスクメニューは、各タイトルで選ぶことが可能な字幕の言語や聞きたい音声の言語などをメニューから選択できます。メニューボタンを押して表示させます。

⃠ マークが表示されたら

● ディスクにトップメニューが記録されていません。

● ディスクにディスクメニューが記録されていません。

映像を見ながら早送り／早戻しする

再生中に

早送りするときは

を押す

早戻しするときは

を押す

- 早送り中に早送り（▶▶）ボタンを押すごとに早送りのスピードが速くなります。
- 早戻し中に巻戻し（◀◀）ボタンを押すごとに早戻しのスピードが速くなります。

■通常の再生に戻すときは、再生（▶）ボタンを押します。

（リモコンの頭出し再生ボタンで操作する場合）

再生中に

早送りするときは

を押し続ける

早戻しするときは

を押し続ける

- 1回押すと1チャプターぶん進みます。
- 押している間、5倍速で進みます。
- 手を離すと通常の再生に戻ります。

- 1回押すと1チャプターぶん戻ります。
- 押している間、5倍速で戻ります。
- 手を離すと通常の再生に戻ります。

巻戻し／早送りボタン

頭出し再生ボタン

巻戻し／早送りボタン

一時停止（II）ボタン

再生（►）ボタン

コマ送り再生する

一時停止中に

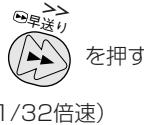
- くり返し押すと、押すごとに映像が1コマずつコマ送りで再生されます。
- 2秒以上押すとストロボ再生ポーズ（☞77ページ）を行ないます。この状態でくり返し押すと、9つの画像が1画像ずつ変わります。再度2秒以上押すとストロボ再生ポーズは解除されます。

- 通常再生に戻すには、再生（►）ボタンを押します。

スローで再生する

一時停止中に

スロー再生するときは

を押す

（1/32倍速）

逆転スロー再生するときは

を押す

（−1/16倍速）

スロー再生中に

スロー再生の速度を変えるときは

を押す

逆転スロー再生の速度を変えるときは

を押す

- 早送り（►►）ボタンを押すごとにスロー再生の速度が速くなります。（1/32～1/2倍速）
- 巻戻し（◄◄）ボタンを押すごとに逆転スロー再生の速度が速くなります。（－1/16～－1/3倍速）
- 本体の早送り（►►）／巻戻し（◄◄）ボタンを押して操作することもできます。

- 早送り／早戻し、静止画再生、スロー再生、コマ送り中は音声が出ません。

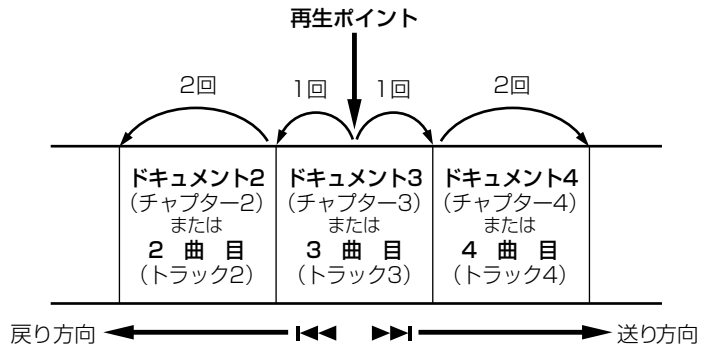
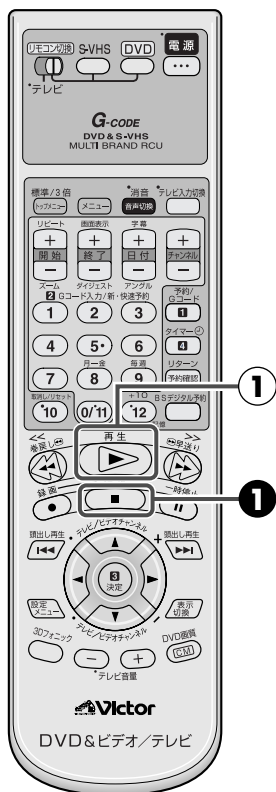
場面の頭出しや曲をスキップする

再生中に

を押す

- 送り方向に頭出しかスキップを行ない再生を始めます。

を押す

- 戻り方向に頭出しかスキップを行ない再生を始めます。

［例］次の曲または場面を頭出しするとき　：▶▶I ボタンを1回押す。
今聞いている曲または場面の頭出しするとき：I◀◀ ボタンを1回押す。

続きから見る（リジューム機能）

番組再生中に停止した位置を記憶しています。DVDビデオなどの続きを見るときに便利です。
リジューム機能を働かせるには、☞123ページのDVD設定メニューで「システム設定－リジューム」メニューで「オン」に設定します。
（お買い上げ時は「オン」になっています。）

止めた映像の位置を記憶させる（リジューム記憶）

再生中に

❶ [停止(■)]を押す

- 押したときの再生位置がリジュームポイントとして記憶されます。
- 本体表示窓に「rESUM」と表示されます。

（記憶を取り消すには）

次の操作をすると、リジュームポイントは、取り消されます。

- 電源を切る。
- ディスクを取り出す。
- 停止中に停止(■)ボタンを押す。
- リジューム設定を「オフ」にする(☞**123**ページ)

止めた映像の位置から再生する（リジューム再生）

※リジュームポイントが記憶されている場合

停止中に

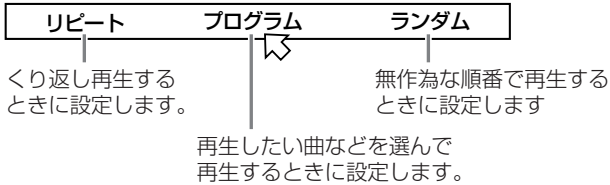
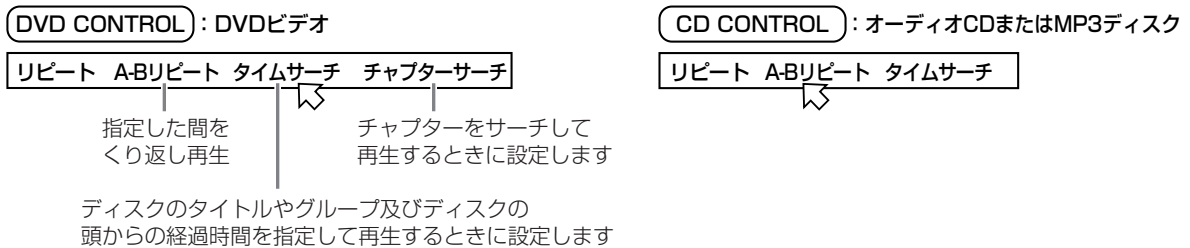
① [再生(►)]を押す

- 止めた位置から再生が始まります。
- 本体表示窓に「rESUM」と表示されます。

再生設定メニューを使う

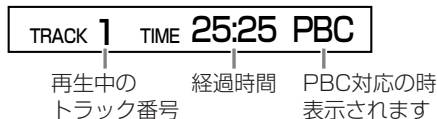
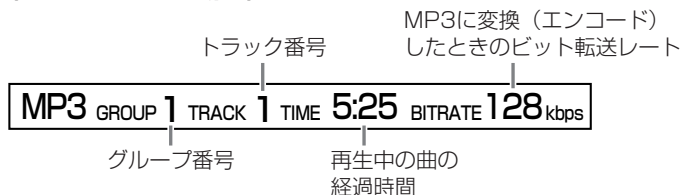
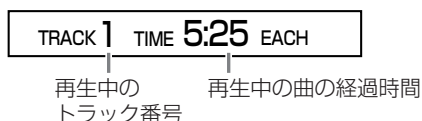
再生設定メニューについて

本機は、再生中に再生設定メニューを表示させて色々な再生を行うことができます。
再生設定メニューは、ディスクが入っているときにリピートボタンを押して表示させます。

（停止中の表示）● 停止中にリピートボタンを押して表示させます。

（再生中の表示）● 再生中にリピートボタンを押して表示させます。

ディスクの時間表示について

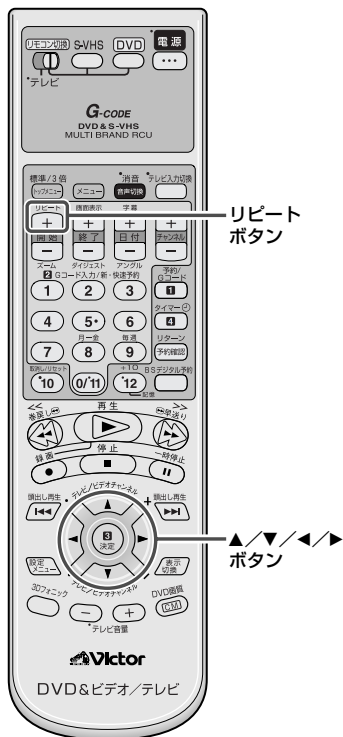
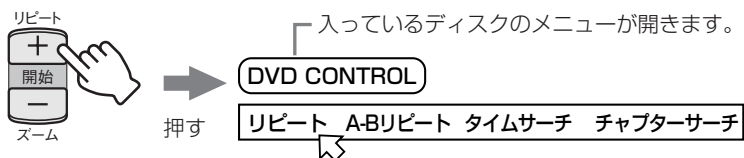
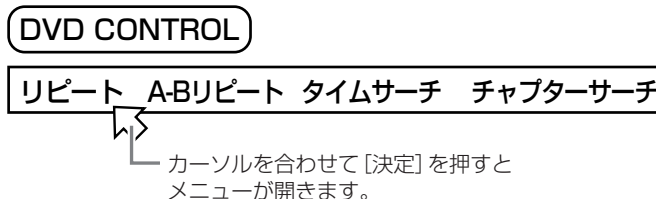
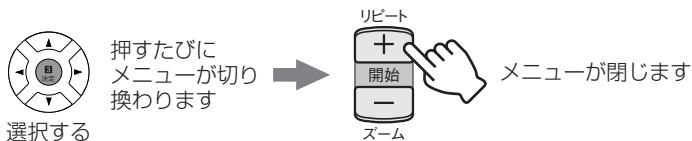
ディスク再生中に画面表示ボタンを押すと、再生状態を表示します。

（DVDビデオの場合）

（ビデオCDの場合）

（MP3ディスクの場合）

（オーディオCDの場合）

● ディスクによっては、設定できない項目もあります。

再生設定メニューの操作方法

再生設定メニューは DVD 側でディスクの再生中に設定します。

DVD側の操作

1場面(1曲)または全番組(全曲)をくり返し再生する (リピート)

再生中にチャプターやタイトル (DVD ビデオ)、グループやトラック (MP3ディスク)、トラックか全トラック (オーディオ CD[CD-DA]/ ビデオ CD) をくり返して再生することができます。

● 再生するディスクを入れておきます。

❶ (再生中)
[リピート]を押す

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

● 再生設定メニューが表示されます。

❷ [◀／▶]を押して[リピート]を選び、[決定]を選ぶ

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

リピート　　タイトル

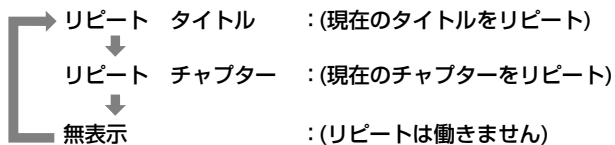
❸ [決定]を押してリピートモードを選ぶ

● 決定ボタンを押すごとにリピート表示は、以下のように切り換わります。ただしカラオケ機能がオンでDVDカラオケの場合は「A-Bリピート」のみになります。

[DVDビデオ再生中の場合]

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

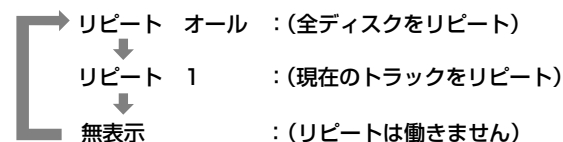
リピート　　タイトル

リピート　タイトル　：(現在のタイトルをリピート)
↓
リピート　チャプター　：(現在のチャプターをリピート)
↓
無表示　：(リピートは働きません)

[オーディオCD／ビデオCD再生中の場合]

(オーディオCD)
CD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ
リピート　　オール

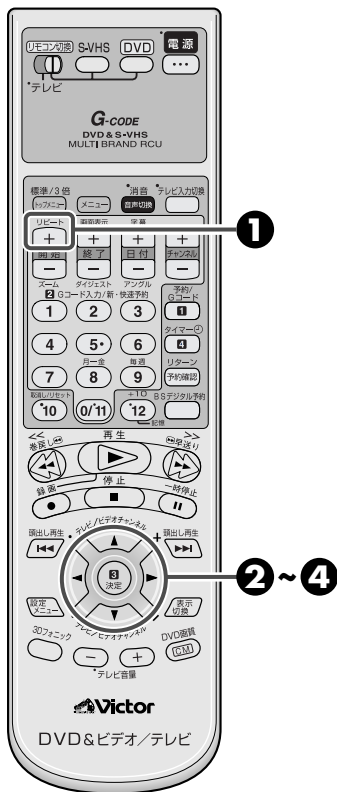
(ビデオCD)
VCD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　PBC再生
リピート　　オール

リピート　オール　：(全ディスクをリピート)
↓
リピート　1　：(現在のトラックをリピート)
↓
無表示　：(リピートは働きません)

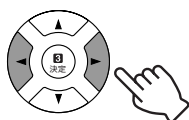
メモ

リピートをやめるには
- リピートボタンを押して「リピートメニュー」を消します。(手順 ❶ の画面)

リピートモードの設定を解除するには
- 手順 ❸ で「無表示」に設定します。
- 停止ボタンを押すと、再生を停止して、リピート設定を解除します。

指定した範囲をくり返し再生する（A-Bリピート）

再生したい部分だけをくり返して再生することができます。
スポーツの練習、外国語のスピーチ練習やカラオケや歌詞を覚えたりするときに便利です。

❶ （再生中）[リピート]を押す

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

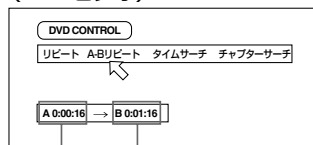
❷ [◀／▶]を押して「A-Bリピート」を選ぶ

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

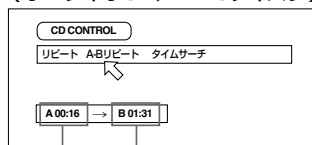
❸ くり返したい開始点で[決定]を押す

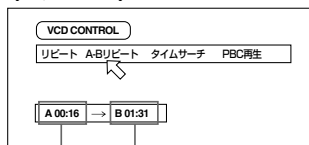
DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

❹ くり返しの終了点で[決定]を押す

● 終了点がカウンターにセットされ、A-B間のリピート再生が始まります。

（DVDビデオ）

A ポイント　B ポイント

（オーディオCD／MP3ディスク）

A ポイント　B ポイント

（ビデオCD）

A ポイント　B ポイント

A-Bリピートの設定を解除するには

● 停止（■）ボタンを押します。再生を停止し、設定が解除されます。

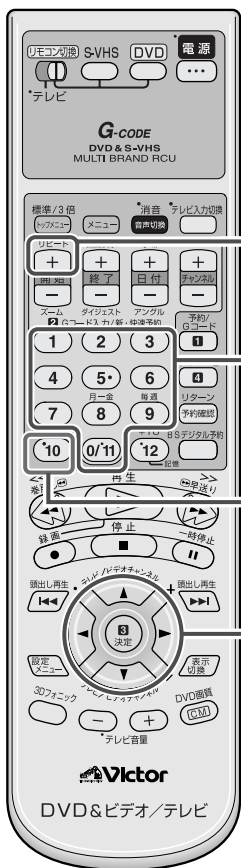
● 決定ボタンを押して設定が解除され通常の再生を続けます。

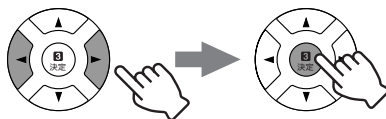
● I◀◀または▶▶Iボタンを押しても、A-Bリピートの設定が解除されます。

再生設定メニューを使う(つづき)

チャプター番号を指定して再生する（チャプターサーチ）

再生中に、チャプター番号を指示して再生できます。番号を指定して頭出しするときに便利です。

❶ (再生中)
[リピート]を押す

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

❷ [◀／▶]を押して「チャプターサーチ」を選び、[決定]を押す

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

- メニューの下に「チャプター番号」が表示されます。

❸ 数字ボタン(1～9、0)を押して番号を入力する

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

チャプター番号　＝　12

例）
3番のチャプターから再生したいとき

(3) 押す

15番のチャプターから再生したいとき

(1) ＋ (5•) 押す

❹ [決定]を押す

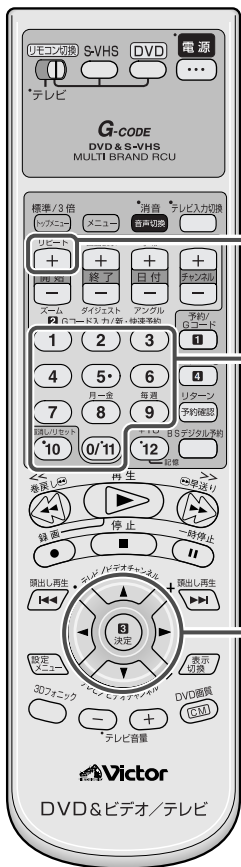
- 入力した番号(チャプター)から再生が始まります。

手順 ❸ で ⃠ が表示されたときは
- 入力した番号のチャプターは収録されていません。またはDVDビデオがこの機能を受け付けない収録になっています。
- ディスクによっては、手順 ❸ でチャプター番号を指定するとすぐにチャプターサーチを始めるものもあります。

手順 ❸ でチャプター番号を間違えたときは
正しい番号の数字ボタンを押し直してください。

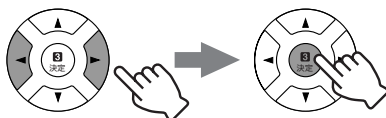
再生設定メニュー画面を消すには
リピートボタンを押します。

指定した時間から再生する（タイムサーチ）

タイムサーチを使うと、現在のタイトル（DVD ビデオの場合）やグループ、及びディスクの頭（オーディオCD［CD-DA］／ビデオ CD の場合）からの経過時間を指定することによってお好みの位置から再生を始めることができます。ただし DVD ビデオの中には時間情報が記録されていないものがあります。そのようなディスクではタイムサーチはご使用になれません。

❶ （再生中に）［リピート］を押す

DVD CONTROL

リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

❷ ［◀／▶］を押して「タイムサーチ」を選び、［決定］を押す

❸ 数字ボタン（1～9、0）を押して経過時間を入力する

DVD CONTROL

リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ

タイム　1：30：＿＿

例）
1時間30分後から再生したいとき

1 を押す
タイム　＿：＿＿：＿＿

3 を押す
タイム　1：＿＿：＿＿

10 を押す
タイム　1：3＿：＿＿

秒を指定しない場合は省略できます。

- 12 ボタンは使用できません。

❹ ［決定］を押す

- 入力した経過時間から再生が始まります。

メモ

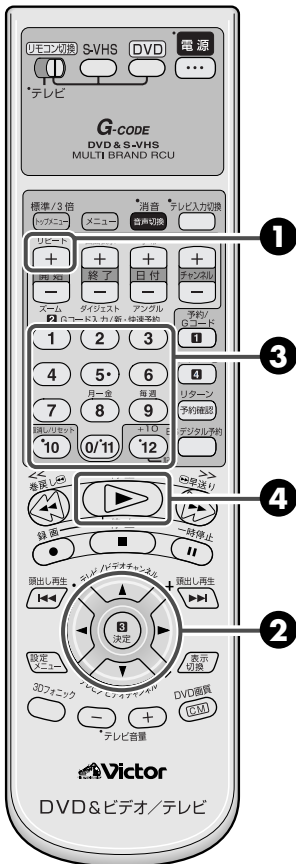
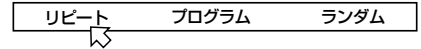
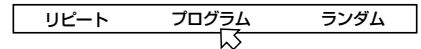
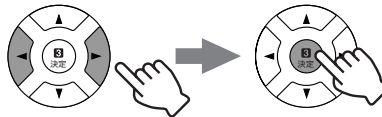
間違えたときは
- 間違えた数字が消えるまでカーソル（◀）を押し、数字ボタンで正しい時間を入力し直してください。

⊘ が表示されたときは
入力した時間がディスクの収録時間の範囲にないのでタイムサーチは機能しません。また、DVDビデオによっては、この機能を受けつけない場合があります。

再生設定メニューを使う(つづき)

選んだ順番に再生する(プログラム再生)

ビデオ CD、オーディオ CD(CD-DA)などでトラックをお好みの順番で再生することができます。最大 99 トラックまでプログラムできます。

❶ (停止中に)
[リピート]を押す

❷ [◀/▶]を押して「プログラム」を選び、[決定]を押す

❸ 数字ボタン(1~9、0)を押して再生したい順にトラック番号を入力する

例) 8番のトラックを入力する場合

15番のトラックを入力する場合

リピート	プログラム	ランダム			
1	2	3	4	5	6
4	5	6	8	15	
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18

数字ボタンの使いかた

- 1~10を選ぶには
  その番号の数字ボタンを直接押します。
- 11以上を選ぶには
  [12] ボタンを押してから0/11~9のボタンを押します。
  [12] ボタンを押すごとに1_➡ 2_➡ 3_…と10の位の数字がカウントアップします。
  [0/11]ボタンを押すと「0」が入力できます。

❹ [再生(►)]を押す

- プログラム再生が始まります。
- プログラムされたトラックの内容は残ります。

プログラムの追加やキャンセルをするには

- 追加するには : 手順❶~❸の操作を行なう。
- キャンセルするには : 手順❶~❷の操作を行ない、停止ボタンを押してプログラムを解除する。

プログラム再生について

- DVD ビデオの中にはプログラムモードで再生できないものがあります。
- プログラム再生中にボタン►►\|を押すと、次にプログラムされているタイトルやトラックを選択します。
- プログラム再生中にリピートボタンを押してプログラム設定画面を表示すると、再生中のプログラム番号が黄色く表示されます。

本機が選んだ順番に再生する（ランダム再生）

ディスクの全トラックをランダムに再生することができます。

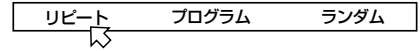
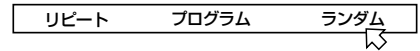
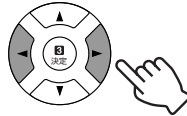
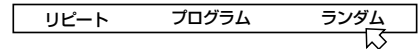
❶ （停止中に）
[リピート]を押す

リピート　プログラム　ランダム

❷ [◀／▶]を押して「ランダム」を選ぶ

リピート　プログラム　ランダム

❸ [決定]を押す

リピート　プログラム　ランダム

● ランダム再生が始まります。

ランダム再生を途中で停止／解除するには

● **停止**(■)ボタンを押すと、ランダム再生が停止します。この状態では、ランダム再生モードのままです。**再生**(►)ボタンを押すと、再びランダム再生を始めます。もう一度、**停止**(■)ボタンを押すと、ランダム再生のモードを解除します。

いろいろな再生

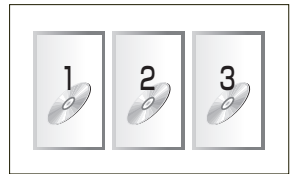
VIDEO-CD

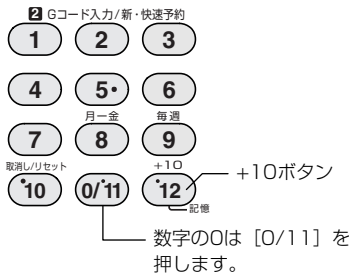
ビデオCDのメニューから選ぶ（PBC再生）

PBC（Play Back Control：再生コントロール）機能を使って、テレビ画面に表示される内容一覧のメニューを選択して再生します。

● PBC 対応ビデオ CD を入れます。

❶ （停止中に）［再生(►)］を押す

例：

● PBCのメニュー画面が表示されます。
● 再生中は、トップメニューボタンを押します。

❷ 数字ボタン（1～9、0/11）を押して見たい番組を選ぶ

数字ボタンの使いかた
● 1～10を選ぶには
その番号の数字ボタンを直接押します。
● 11以上を選ぶには
+10ボタンを押してから1～10のボタンを押します。

● 選んだ番号が再生されます。本体表示窓に「PBC」と表示されます。
● 「次」または「前」がテレビ画面に表示された時は
次のページに進みたい：►►Iを押す
前のページに進みたい：I◄◄を押す
● メニュー画面に戻したいときはリターン／予約確認ボタンを押します。

再生設定メニュー（☞68ページ）でも操作できます
1.リピートボタンを押す
2.◄／►ボタンを押して「PBC 再生」を選び、決定ボタンを押す。

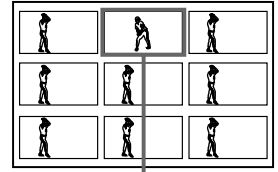
メモ

PBC機能が働いていない再生のときは
● 停止(■)ボタンを押してから、手順 ❶～❷の操作を行なってください。

PBC機能を使わずに再生するには
停止中に見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の順番で再生します。

PBC機能を使わずに再生中、PBCを働かせたいときは
● 再生中に**停止**(■)ボタンを押してから**再生**(►)ボタンを押す。

動画を連続写真のように表示する（ストロボ再生）

動画を連続（ストロボ）写真のように再生することができます。

❶ [一時停止(II)]を2秒以上押す

- 連続した9つの画像が画面に表示されて、リアルタイムで先に進みます。
- ストロボ再生中に[一時停止(II)]を押すと、一時停止します。この状態で「一時停止(II)」を押すと、押すごとに一画像ずつ変わります。[再生(►)]を押すと9分割表示でストロボ表示をくり返します。

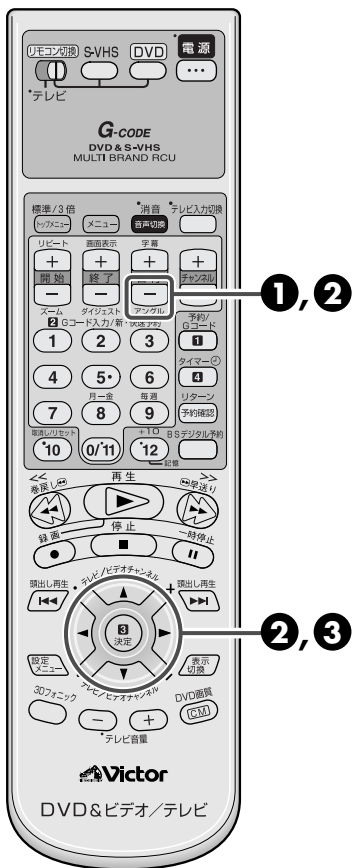
（やめるには）

❷ [一時停止(II)]を2秒以上押す

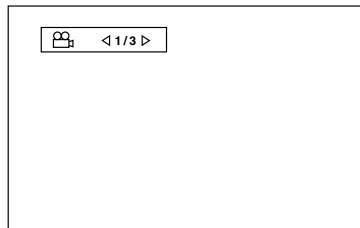
- ストロボ再生が解除されます。

ストロボ再生中は
- 音声は再生されません。

DVDビデオ映像のアングルを変える1

DVDビデオに中には、複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像（マルチアングル）が複数記録されたものがあります。このようなディスクを再生するときに、どの角度からの映像を見るか選択することができます。DVD 設定メニューで「その他設定 ➡ オンスクリーンガイド」メニューで「オン」に設定すると、マルチアングル記録された個所の冒頭でテレビ画面に 🎥 が表示されます。

❶ （再生中に）[アングル]を押す

● アングル選択表示がテレビ画面に現れます。

🎥 ◁ 1/3 ▷

❷ [アングル]または[◀／▶]を押して見たいアングル番号を選ぶ

● ◀／▶ボタンを押すごとにアングルが変わります。
● アングルを選んでいるときの音声は消えますが、再生は続いています。

❸ [決定]を押す

● アングル選択表示が消え、選んだアングルで再生されます。

⊘ マークが表示されたら
● 今再生している場面には、マルチアングルで記録されていません。

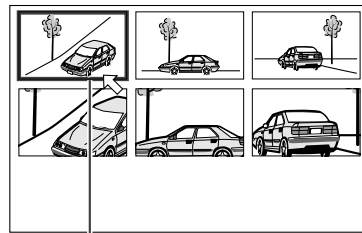
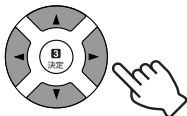
● マルチアングル収録された個所の冒頭でテレビ画面に 🎥 が 表示されます。

通常の画面に戻すには
● 決定ボタンを押します。
また、10秒以上何も操作しないと、アングル選択表示は、自動的に消えます。

DVDビデオ映像のアングルを変える2

(再生中に)

❶ [アングル]を1秒以上押す

- テレビ画面上に最大9 アングルが表示されます。

❷ [▲/▼/◀/▶]を押して「アングル」を選ぶ

❸ [決定]を押す

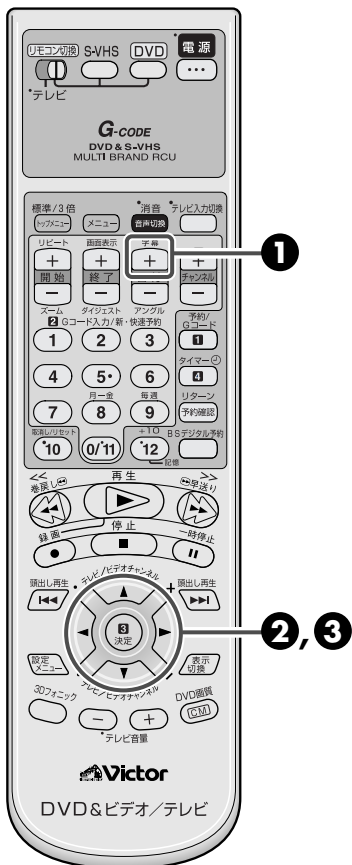
- 選んだアングルで再生されます。

メモ

⊘ が表示されたときは

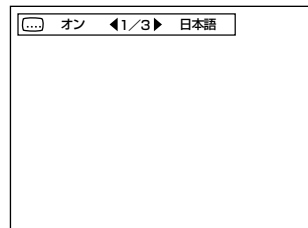
- 今再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またはディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。
- 上記の操作中は、音声が消えます。

字幕を切り換える（字幕言語）

DVDビデオには複数の字幕言語が記録されている場合があります。それらの中から希望する字幕言語を選択することができます。

（再生中に）

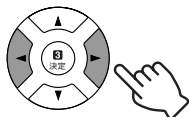
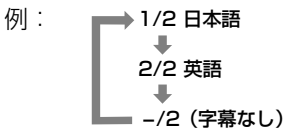
❶ [字幕]を押す

- 字幕選択表示がテレビ画面に表示されます。
- 再度字幕ボタンを押すと字幕表示の「オン／オフ」を選択できます。

オン ◀1／3▶ 日本語

❷ [◀／▶]を押して表示したい字幕を選ぶ

- ◀／▶ボタンを押すごとに字幕言語が切り換わります。

例：

1/2 日本語
↓
2/2 英語
↓
–/2（字幕なし）

❸ [決定]を押して字幕選択表示を消す

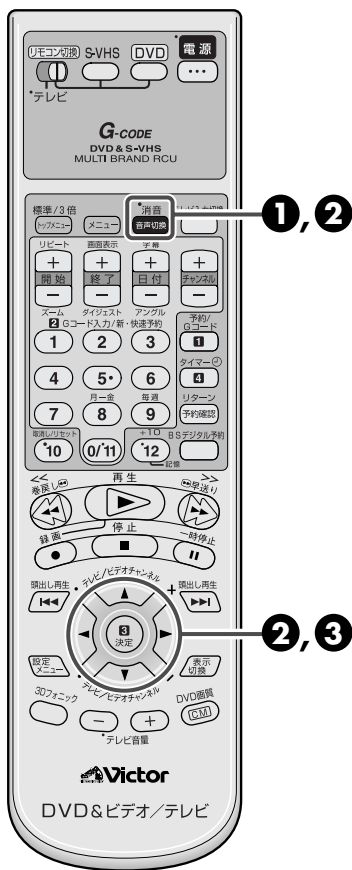
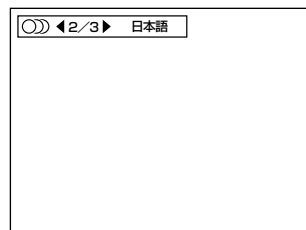
- 10秒間何も操作しないときは、自動的に消えます。

⊘ マークが表示されたときは

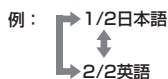
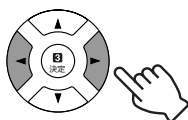
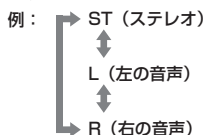
- 字幕が記録されていないか、その操作が禁止されています。

音声言語や音声を選ぶ（音声言語）

DVDビデオの中には複数の音声言語／サウンドが記録されている場合があります。その中から希望するサウンドを選択することができます。
また、ビデオ CD ではオーディオチャンネルを切り換えて、カラオケの歌あり／なしを選択できます。

❶ （再生中に）
[音声切換／消音]を押す

❷ [音声切換／消音]または [◀／▶]を押して音声言語か音声チャンネルを選ぶ

DVDビデオのとき
例：1/2日本語 ⇕ 2/2英語

ビデオCDのとき
例：ST（ステレオ）⇕ L（左の音声）⇕ R（右の音声）

● 押すたびに音声言語が切り換わります。

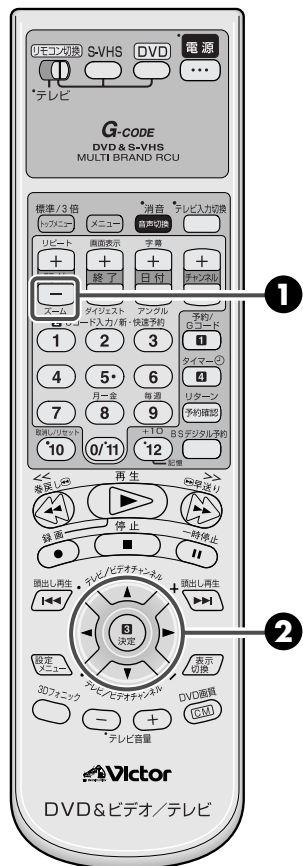
❸ [決定]を押して音声言語選択表示を消す

● 10秒間何も操作しないときは、自動的に消えます。

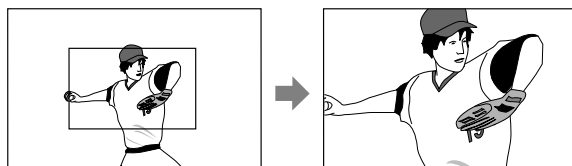
DVDビデオ再生中に音声ボタンを押して⊘ が表示されたときは
● ディスクに複数の音声言語が収録されていないか、その操作が禁止されています。

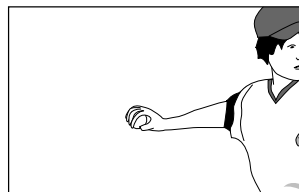
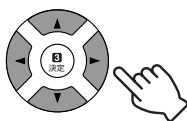
いろいろな再生 (つづき)

画面を拡大する（ズーム）

再生画面また静止画面を拡大することができます。

（再生中に）

❶ [ズーム]を押す

- 押すごとに1倍⟷2倍をくり返します。

中央部が2倍に拡大されます。
- 拡大すると、画質が悪化したり画像がブレることがあります。

❷ [▲／▼／◀／▶]を押して拡大したい部分を選ぶ

ズームを解除するには
- 再度ズームボタンを押します。

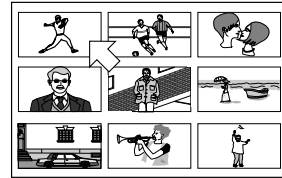
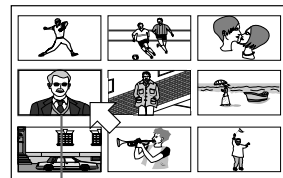
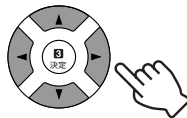
ダイジェスト画面から見たい場面を選ぶ（ダイジェスト）

DVDビデオの各タイトル／チャプター、あるいはビデオCDの各トラックの最初の場面を一覧表示して、その中から見たい番組を選ぶことができます。

（DVDビデオ：停止または再生中に）
（ビデオCD：停止またはPBCオフで再生中に）

❶ [ダイジェスト]を押す

画面表示
終了
ダイジェスト

DVDビデオ停止中	：各タイトルの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。
DVDビデオ再生中	：現タイトル内の各チャプターの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。
ビデオCD停止中または再生中	：各トラックの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

❷ [▲／▼／◀／▶]を押して見たい場面を選ぶ

選んでいる場面

収録されているタイトル、チャプターあるいはトラックが9つ以上あるとき、ダイジェスト画面が2ページ以上になります。この場合►►|を押すと次ページが表示されます。
前のページに戻りたいときは|◄◄を押します。

- ダイジェスト画面右下に表示された場面を選んでいるとき、カーソル(▶)を押すと次のページが表示されます。
- ダイジェスト画面左上に表示された場面を選んでいるとき、カーソル(◀)を押すと前のページが表示されます。

❸ [決定]を押す

選んだ場面から再生が始まります。

- ディスクによってはダイジェスト画面が表示されるのに時間がかかることがあります。

効果的なサウンドを楽しむ（3Dフォニック）

ドルビーデジタルで録音されたDVDビデオなどをスピーカーが２本でも、サラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

❶,❷

（再生中に）

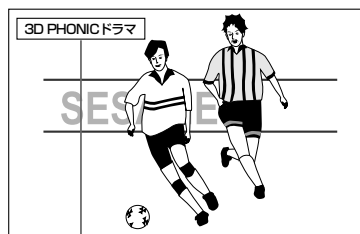
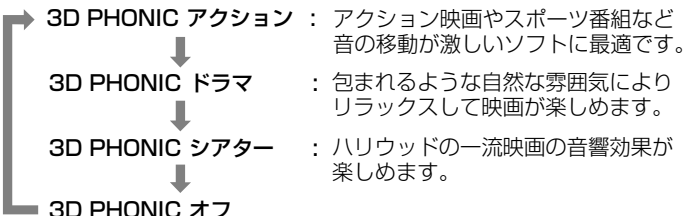
❶ [3Dフォニック]を押す

- 現在のモードが画面左上に表示されます。

❷ [3Dフォニック]を押して聞きたいモードを選ぶ

3D フォニックボタンを押すごとに、設定が以下のように切り換わります。

選択中の設定

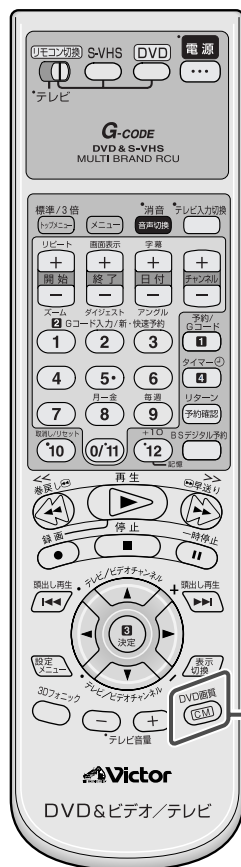
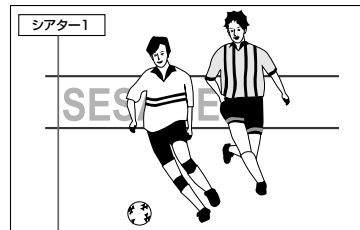
3D PHONIC アクション ：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
↓
3D PHONIC ドラマ ：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
↓
3D PHONIC シアター ：ハリウッドの一流映画の音響効果が楽しめます。
↓
3D PHONIC オフ

- ドルビーデジタルの 3 チャンネル以上で収録された音声を再生中の場合には、「3D PHONIC アクション」を設定することはできません。
- 5 秒以上何も操作しないと3D フォニック表示は自動的に消えます。
- 3D フォニック表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- ビデオCD で音声をL またはR に設定しているとき、3Dフォニック機能を使えません（「3D PHONIC オフ」になります）。
  逆に3D フォニック機能を使っているとき、ビデオCDの音声をステレオからL またはR に変更することはできません。
- リニアPCM で収録されたDVD ビデオの音声は、3Dフォニックボタンを押しても動作しません。

3Dフォニックについて

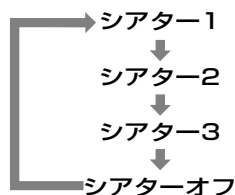
- ドルビーデジタルで録音されたDVDビデオのサウンドに限り正しい効果が得られます。その他のサウンドでは、効果がありません。
- デジタル音声出力端子から出力されるDVDビデオのドルビーデジタルビットストリーム信号には、効果はありません。
- 3Dフォニックの機能を働かせると、DVD設定メニュー－音声設定のダウンミックスとコンプレッションの設定が無効になります。
- ドルビーデジタルでリアの音声成分が録音されていないDVDビデオの場合、3Dフォニックの設定は変えられますが、正しい効果は得られません。

DVD画質を調整する（シアターモード）

映像を鑑賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を選択することができます。

❶,❷

❶ （再生中に）[DVD画質]を押す

シアターモード

❷ [DVD画質]を押してシアターモードを選ぶ

● ボタンを押すごとに、次のようにシアターモードが変わります

「シアター オフ」が通常のモードです。大きい番号ほど効果が強くなります。画面の明るさを抑えた落ち着いた映像になります。

● 5秒以上何も操作しないとシアターモード表示は自動的に消えます。
● シアターモード表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。

シアターモード選択表示を消すには

● 決定ボタンを押す。または、5秒以上何も操作しないと、シアターモード選択表示が消えます。

いろいろな再生（つづき）

CD-DA　VIDEO-CD

ディスクの時間情報を見る

オーディオCD、およびビデオCDの記録時間等を、本体表示窓や、テレビ画面上に表示して見ることができます。

❶（再生中に）
[画面表示]を押す

押すごとに次の順序で表示が切り換わります。

表示なし ➡ DVDビデオ情報 ➡ 時間情報
（DVDビデオのみ）

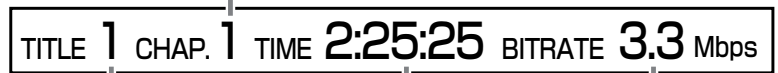
DVDビデオ情報（DVDビデオのみ）
現在選んでいるカメラアングル、音声言語、字幕言語を表示します。

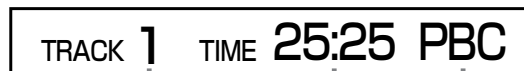
録音方式の表示
ドルビーデジタルやDTSなどのロゴがディスクに応じて表示されます。
また、リニアPCMのときは「LPCM」と表示されます。

時間情報

（DVDビデオの場合）

再生中のチャプター番号

TITLE 1 CHAP. 1 TIME 2:25:25 BITRATE 3.3 Mbps

再生中のタイトル番号　　経過時間　　転送レート

（PBC再生中のビデオCDの場合）

再生中のトラック番号　　経過時間　　PBC再生中

時間情報（つづき）

（オーディオCD／PBCオフで再生中のビデオCDの場合）

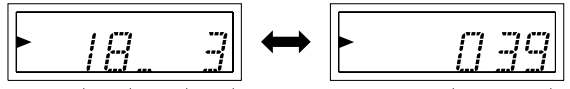
（MP3ディスクの場合）

■時間表示を消すには
画面表示ボタンを押します。

本体表示窓の情報

本体表示窓は、再生中にグループ番号、トラック番号、経過時間などを表示します。

❶ ［表示切換］を押す

- 押すたびにタイトル／チャプター／グループ／トラック⟷経過時間が切り換わります。

オーディオCD／ビデオCD	全トラック数	再生トラック	経過時間
DVDビデオ	再生中のタイトル	再生中のチャプター	
MP3ディスク	再生中のグループ	再生中のトラック	

DVD側の操作

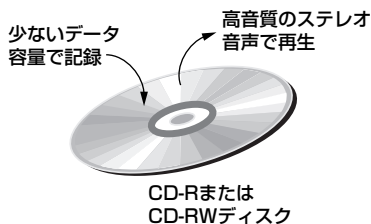
MP3ディスクについて

CD-R/RW

MP3ディスクとは

少ないデータ容量で記録

高音質のステレオ音声で再生

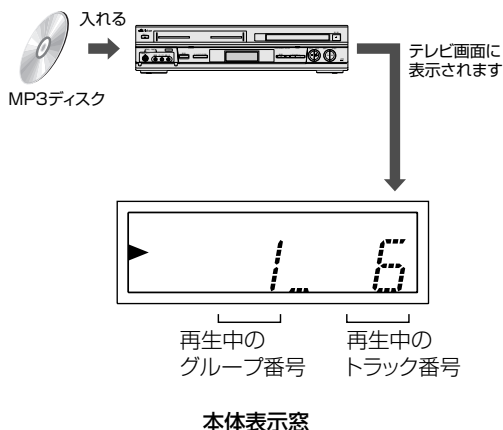
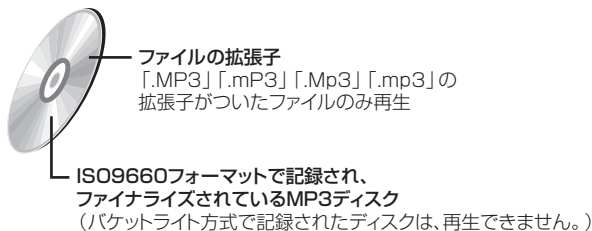
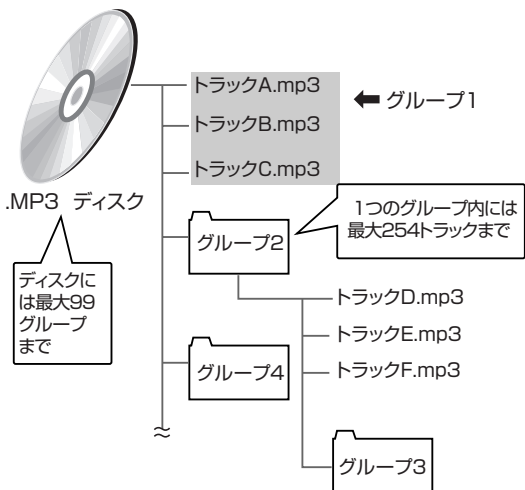
CD-RまたはCD-RWディスク

- 本機ではファイルはトラックとして扱います。
- 本機では1つ以上のファイル(トラック)を含むフォルダはグループとして扱います。

MP3時間表示窓について

本体表示窓

再生可能なMP3ディスク

ファイルの拡張子
「.MP3」「.mP3」「.Mp3」「.mp3」の拡張子がついたファイルのみ再生

ISO9660フォーマットで記録され、ファイナライズされているMP3ディスク
(パケットライト方式で記録されたディスクは、再生できません。)

MP3ディスクのトラックとグループ

- 本機は各グループ内に最大254トラック、ディスク内に最大99グループまで認識できます。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。
- 再生できる最大トラック数は1023トラックまでです。
- 表示の都合上、200トラック以外は「−」表示でトラック番号を表示します。

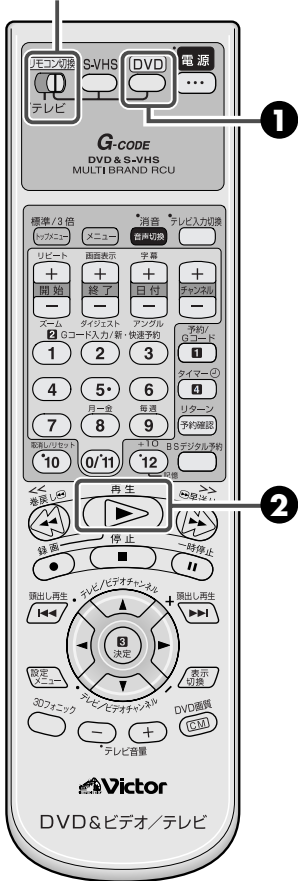
- 本体表示窓に表示できるのはMP3形式のファイルだけです。
- 本体表示窓に表示されるグループ/トラック番号の表示順序は、パソコンのMP3再生ソフトなどでパソコン画面に表示される順序と異なることがあります。

- トラックまたはグループのプログラム再生、およびランダム再生はできません。
- ディスクの記録状態や特性により再生できない場合や、読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスク内容の読み取りにかかる時間は、記録されているグループやトラックの数により異なります。
- MP3ファイルをCD-R/RWディスクに書き込むソフトによっては、正しく再生できない場合があります。
- 本機は、ID3タグの情報表示には対応していません。

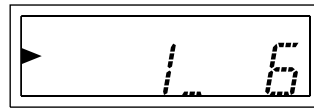
MP3ディスクの操作

CD-R/RW

MP3ファイルを再生する

本機では、MP3のサウンドファイルを再生できます。

- テレビの電源を入れ、テレビ入力切換ボタンを押してDVDを見るときのチャンネルにします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- MP3ファイルの記録されたディスクを入れます。

❶ [DVD]を押してDVDランプを点灯させる

- MP3ディスク画面の状態が本体表示窓に表示されます。

❷ [再生(►)]を押す

最初のトラックから再生します。

基本操作ボタンの機能を下の表にまとめます。

ボタン	機　能
再生 ►	停止中、または一時停止中に押すと再生を始めます。
停止 ■	再生を停止します。
一時停止 ❙❙	再生を一時停止します。
頭出し再生 ◄◄ (前スキップ)　頭出し再生 ►► (次スキップ)	再生中に押すとグループ内の前後のトラックに移動し、再生を続けます。* 停止中に押すとグループ内の前後のトラックを選曲します。**

* グループをまたいだ前後のトラックを選択することもできます。
** 再生停止後再生(►)ボタンを押すと現在のトラックの頭から再生を開始します。
- MP3ディスクの場合、早送り／早戻し再生ができません。

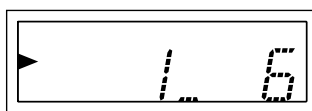
MP3 ディスクの操作 (つづき)

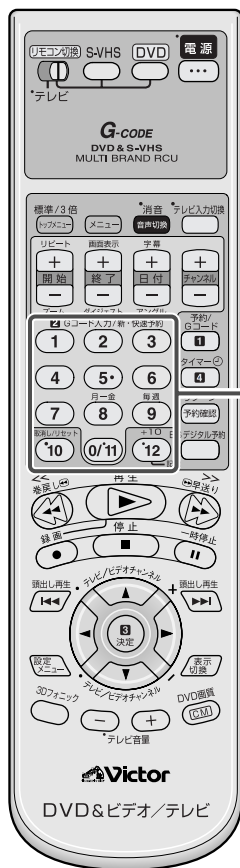
数字ボタンで2ケタまでのトラック／グループを選ぶ

本機では、MP3 のサウンドファイルを再生できます。

● MP3ディスクを入れます。

(トラックを選ぶ:再生中に
グループを選ぶ:停止中に)

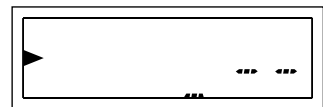
❶ 数字ボタンを押してトラック(またはグループ)番号を入力する

- 入力したトラック番号から再生が始まります。
- 1～10を選ぶには
  その番号の数字ボタンを押します。
- 11以上を選ぶには
  +10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。

例）
13番を選ぶには ⁺¹⁰12 ➡ 3
24番を選ぶには ⁺¹⁰12 ➡ ⁺¹⁰12 ➡ 4

数字ボタンで3ケタのトラックを選ぶ

● MP3ディスクを入れます。

❶ (再生中に)
[+10]を2秒以上押し続ける

● 本体表示窓に「＿ ー ー」が表示されます。

「＿ ー ー」表示

❷ 数字ボタン(1〜9,0)を押してトラック番号を入力する

例)トラック254を選ぶには

● 入力したトラック番号から再生が始まります。

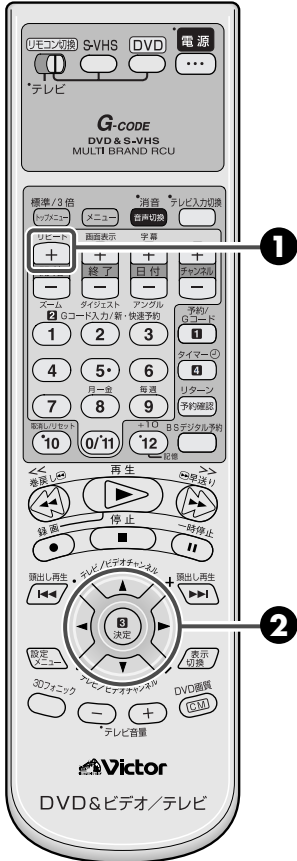
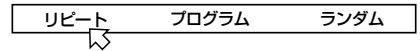
● グループの選択は、2ケタ(99まで)までになります。

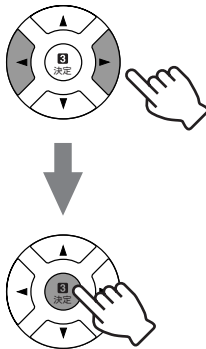
グループを好きな順番で再生する（プログラム再生）

グループを好きな順番で再生することができます。

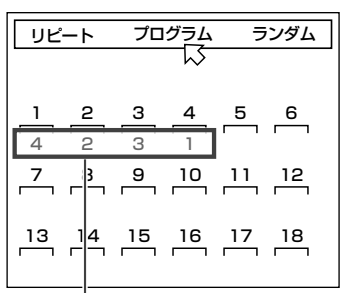
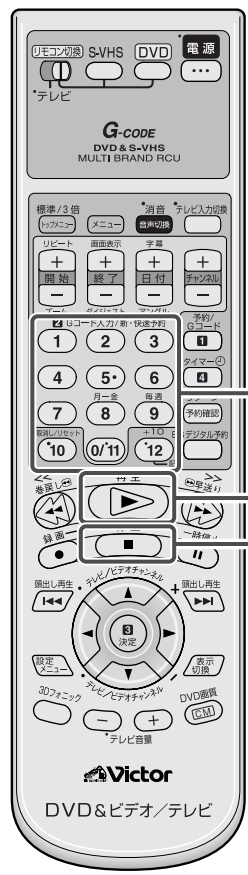
● MP3ディスクを入れます。

❶ （停止中に）
[リピート]を押す

リピート　プログラム　ランダム

● 再生設定画面が表示されます。

❷ [◀／▶]を押して[プログラム]を選び、[決定]を押す

プログラム設定画面

● プログラム設定画面が表示されます。

❸ 数字ボタン(1～10,+10)を押してグループ番号を入力する

選んだグループ番号が各プログラム番号の下に表示されます。

- **1～10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを押します。
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。

例)
13番を選ぶには [+10] ➡ [3]
24番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [4]

この操作をくり返して、最大18グループまで選ぶことができます。また、同じグループを何度も選ぶことができます。

❹ [再生(►)]を押す

- プログラム再生が始まります。最後まで再生すると停止します。このときプログラム内容は残っていますので、もう一度再生(►)ボタンを押すと同じプログラム内容で再生が始まります。
- **プログラム再生をやめるには**
  停止中に再生モードボタンを押して、プログラム設定表示の[プログラム]に を合わせ、決定ボタンを押します。
  次の操作をした場合もプログラムの再生モードは解除され、プログラムの内容も取り消されます。
- 本体の開/閉(▲)ボタンを押してディスクトレイを出す。
- 電源を切る。

プログラムの内容をすべて取り消すには
- プログラム設定画面表示中に停止(■)ボタンを押します。

プログラム再生について
- グループ内のトラックをプログラム再生することはできません。
- プログラム再生中に再生モードボタンを押してプログラム設定画面を表示させると、再生中のプログラム番号が黄色く表示されます。

MP3 ディスクの操作（つづき）

本機が選んだ順番でグループを再生する（ランダム再生）

グループをランダム（無作為）な順番で再生します。

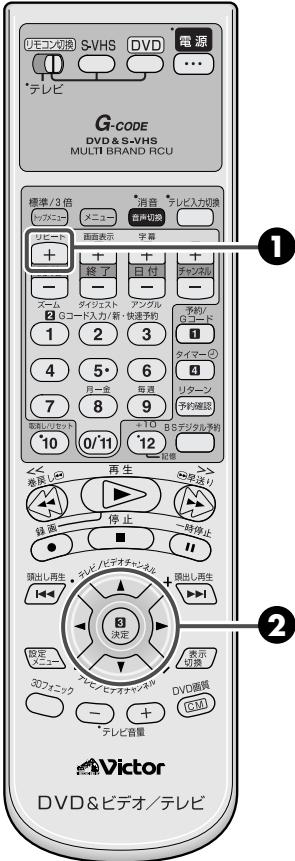
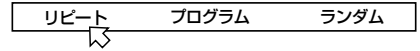
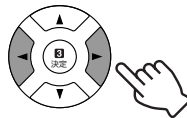
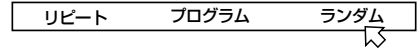
---

❶ （停止中に）
[リピート]を押す

リピート　　プログラム　　ランダム

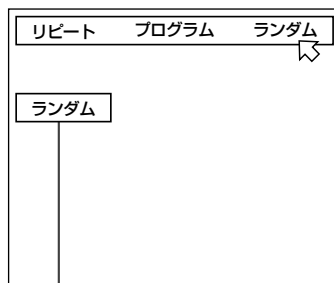
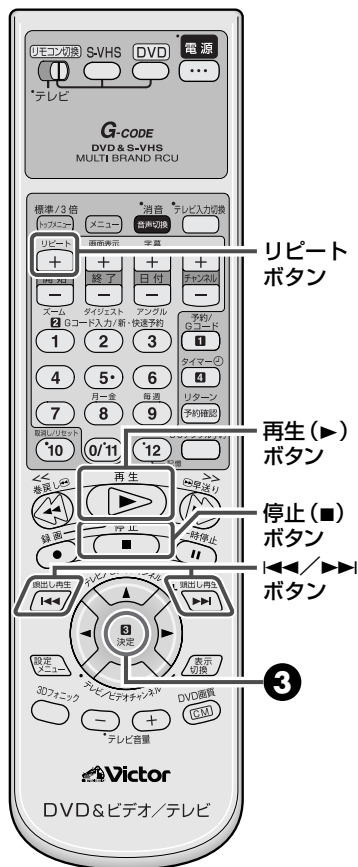
● 再生設定画面が表示されます。

---

❷ [◀／▶]を押して
[ランダム]を選ぶ

❸ [決定]を押す

ランダム再生が始まります。すべてのグループを1回ずつ再生すると、自動的に停止します。

- ランダム再生中に停止(■)ボタンを押すと、ランダム再生を停止します。この状態ではランダム再生モードのままですので、再生(►)ボタンを押すと再びランダム再生を始めます。
- グループ内のトラックは通常の順番で再生されます。
- ランダム再生中にI◄◄／►►Iボタンを押すと、前後のトラックに移動します。

- **ランダム再生を解除するには**
  停止中にリピートボタンを押して、再生設定メニューを表示させせます。
  ◄／►ボタンを押して[ランダム]を選び、決定ボタンを押します。
  次の操作をしてもランダム再生が解除されます。
  ・本体の開／閉(▲)ボタンを押してディスクトレイを出す
  ・電源を切る

ここの「ランダム」表示が消えます。

- **再生設定メニューを消すには**
  リピートボタンを押します。

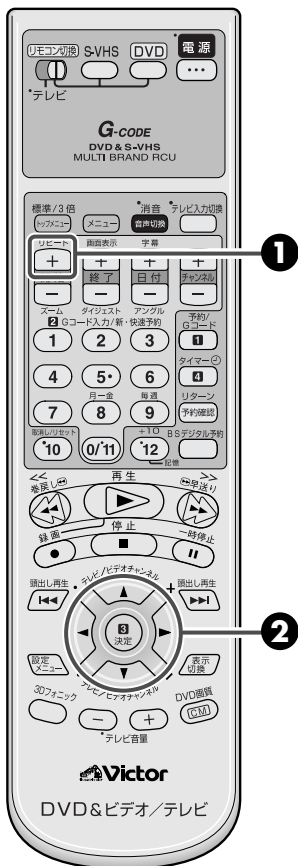
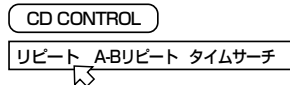
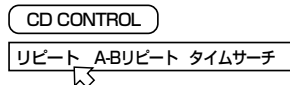
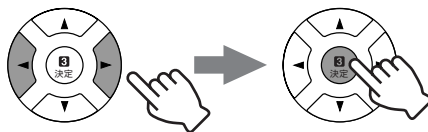
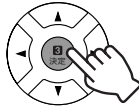
DVD側の操作

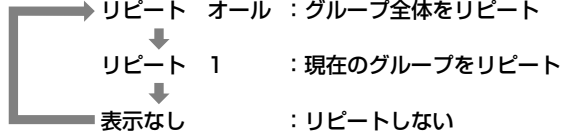
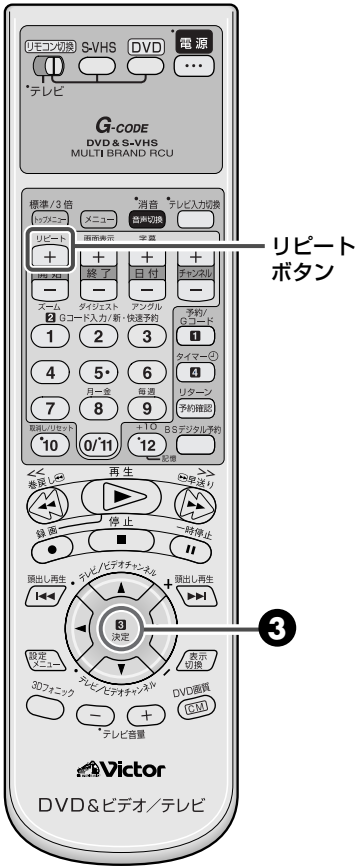
MP3 ディスクの操作 (つづき)

グループ、またはグループ全体をくり返す（リピート）

❶ （再生中に）
[リピート]を押す

CD CONTROL

リピート	A-Bリピート	タイムサーチ

● 再生設定画面が表示されます。

❷ [◀／▶]を押して[リピート]を選び、[決定]を押す

❸ [決定]を押して、「リピートモード」を選ぶ

押すごとにリピートモードは以下のように切り換わります。

リピート　オール	**：グループ全体をリピート**
↓	
リピート　1	**：現在のグループをリピート**
↓	
表示なし	**：リピートしない**

停止中でもリピートの設定をすることができます。この場合の操作手順も、画面表示を再生中に操作したときと同じです。

リピートの設定を解除するには

- 手順 ❸ でリピートモードが表示されない状態（表示なし）を選んでください。
- **再生設定メニュー表示を消すには**
  リピートボタンを押します。画面は消えますが、リピートの設定は残っています。

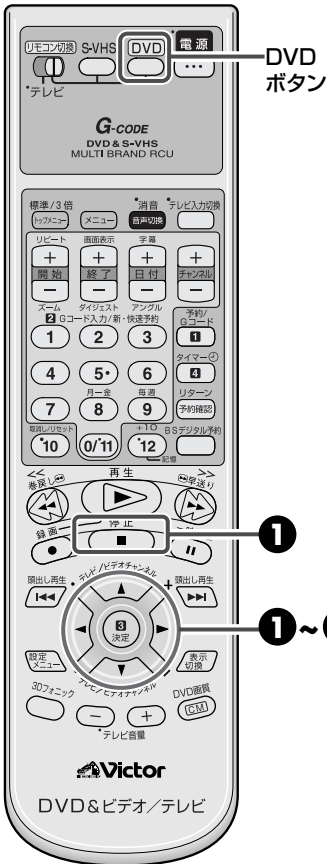
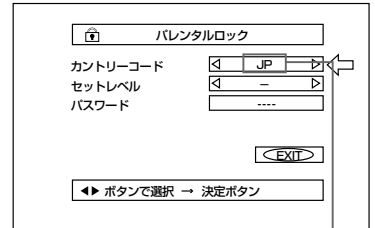
リピートモードの継続について

- リピート再生時に停止（■）ボタンを押すと、再生が停止しますがリピートの設定は残っています。

視聴制限を設定する（パレンタルロック）

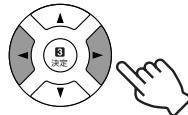
DVD-VIDEO

お子さまに見せたくない様な過激なシーンを含むDVDビデオの映画ソフトを再生する場合に設定します。ディスクがパレンタルロック機能に対応していると、パレンタルロックの設定に応じて過激なシーンをカットしたり別のシーンに差し換えたりします。

● DVDボタンを押してDVDランプを点灯させます。

❶ （停止中に）[停止]を押したまま「決定」を押す

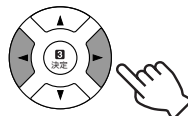
カントリーコード　例:JP (Japan)

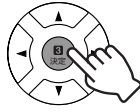
- パレンタルロック画面が表示されます。
- ディスクが入っていなくても設定できます。
- CDかMP3ディスクが入っていると、パレンタルロック画面が表示されません。
- 「⇦」マークが[カントリーコード]を指しています。

❷ [◀／▶]を押して「カントリーコード」を選ぶ

- 通常は「JP」（JAPAN）を選択します。
- カントリーコード一覧（☞**136**ページ）を参照してください。

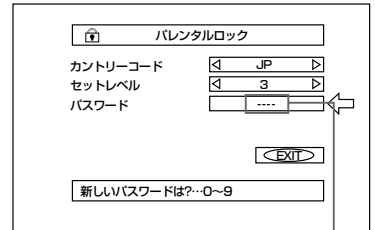
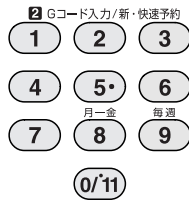
❸ [決定]を押す

- 「⇦」マークが[セットレベル]に移動します。

❹ [◀／▶]を押して「セットレベル」を選ぶ

レベルの選択

- レベル1～レベル8とレベル「－」の中から選びます。
- レベル「－」が視聴制限を全くしない設定です。
- 設定したレベル値以上のレベルのDVDビデオが再生できなくなります。したがってレベル数値が小さいほど、制限が厳しくなります。

❺ [決定]を押す

● 「⇦」マークが[パスワード]に移動します。

❻ 数字(1〜9､0/11)ボタンを押してパスワード(4ケタの数字)を入力する

パスワードの入力

● パスワードの入力を間違えたときは、決定ボタンを押す前に入力し直してください。

❼ [決定]を押す

● パレンタルロックのレベルとパスワードが設定されます。
「⇦」マークが「EXIT」に移動します。

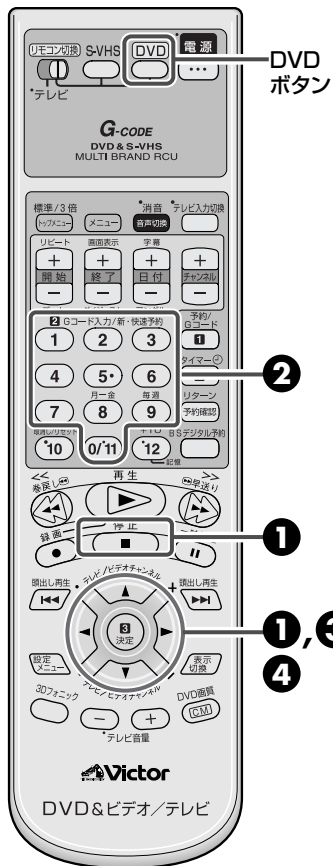
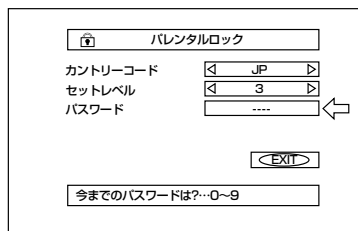
❽ 再度[決定]を押す

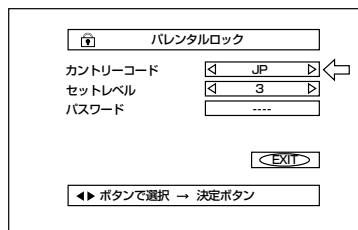
● オープニング画面に戻って設定が完了します。

視聴制限を設定する（つづき）

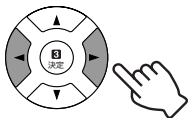
DVD-VIDEO

設定を変更する

❶ （停止中に）
［停止（■）］を押したまま「決定」を押す

- ディスクが入っていなくても設定できます。
- パレンタルロック画面が表示されます。
「⇦」マークがパスワードを指しています。

❷ 数字（1〜9、0/11）ボタンを押してパスワード（4ケタの数字）を入力する

❸ ［決定］を押す

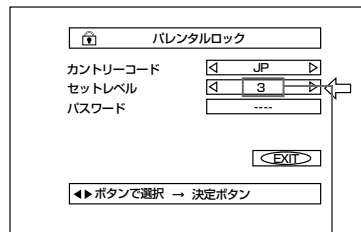
- 正しいパスワードを入力すると「⇦」マークが［カントリーコード］に移動します。
- 間違って入力した場合は、「違います。やり直してください」と表示されますのでもう一度入力してください

❹ ［◀／▶］を押してカントリーコードを変更する

- カントリーコード一覧（☞**136**ページ）を参照してください。

パスワードを忘れたときは
- 手順❷、❼で「8888」を入力します。

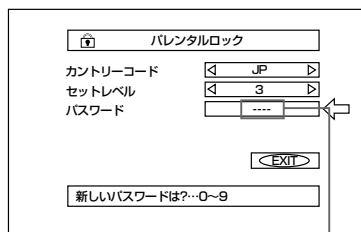
❺ [決定]を押す

レベルの選択

- 「⇦」マークが[セットレベル]に移動します。
- カントリーコードを変更した場合、セットレベルも設定し直してください。

❻ [◀／▶]を押して セットレベルを変更する

❼ [決定]を押す

- 「⇦」マークが[パスワード]に移動します。

❽ 数字ボタン(1〜9, 0／11)を押して新しいパスワード(4ケタの数字)を入力する

パスワードの入力

❾ [決定]を押す

- 「⇦」マークが[EXIT]に移動します。
- ここで入力したパスワードが新しいパスワードになります。パスワードを変更したくない場合は同じパスワードを入力してください。
- カントリーコードやセットレベルを変更する場合も、必ずこの操作(パスワード入力→決定ボタン)を行ってください。この操作をやらないと、カントリーコードやセットレベルが変更されません。

❿ 再度[決定]を押す

- オープニング画面に戻って設定が完了します。

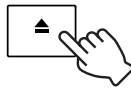
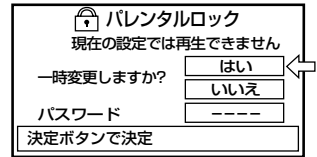
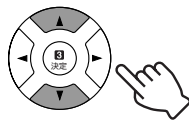
視聴制限を設定する（つづき）

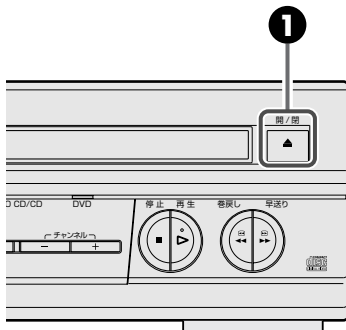
DVD-VIDEO

パレンタルロックを一時解除するには

パレンタルロックを厳しく設定しているときには、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除できる画面が表示されます。

❶ 本体の[開／閉]を押してDVDビデオを入れ、[開／閉]を押す

パレンタルロック
現在の設定では再生できません
一時変更しますか?　はい　いいえ
パスワード　－－－－
決定ボタンで決定

- パレンタルロックのセットレベルが厳しくて再生できないときに、一時解除のメニューが表示されます。

❷ [▲／▼]を押して「はい」を選ぶ

❸ [決定]を押す

- 「はい」を選ぶと「⇦」マークが[パスワード]に移動します。
- 「いいえ」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。

❹ 数字(1〜9,0／11)ボタンを押してパスワード(4ケタの数字)を入力する

- 間違って入力した場合、｢違います。やり直してください｣と表示されますので、もう一度パスワードを入力してください。
- 正しいパスワードを入力するとパレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

DVD側の操作

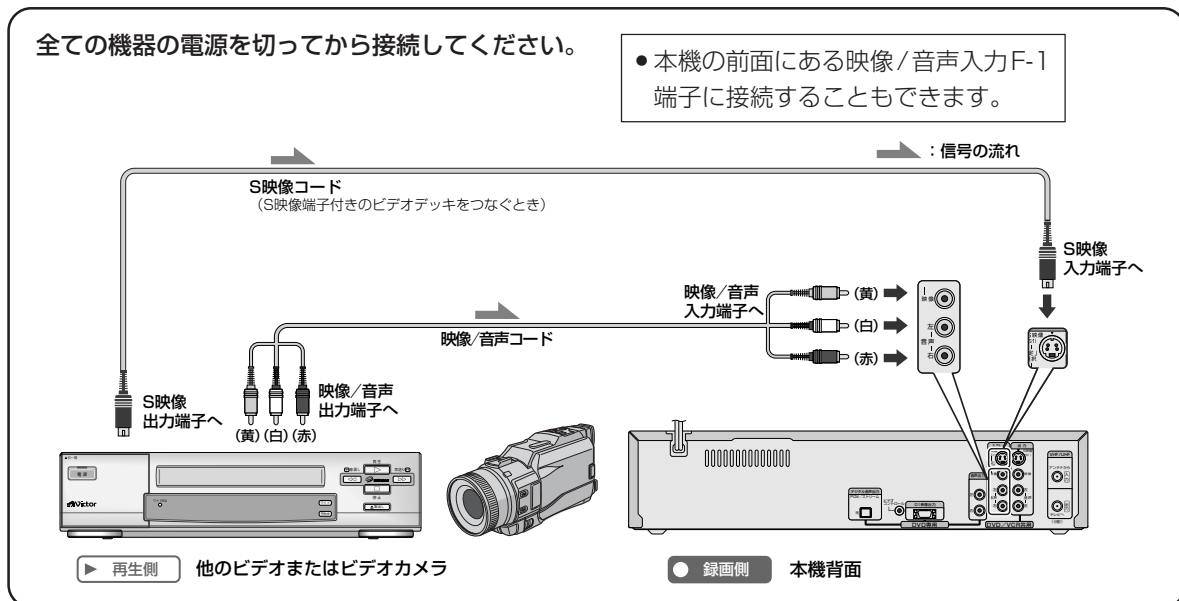
- パスワードの入力を3回間違えると、｢⇦｣マークは[いいえ]に移動し、▲／▼ボタンは動かなくなります。決定ボタンを押してパレンタルロック画面から抜け、ディスクを取り出してください。

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する

● 再生側の機器がビデオデッキのとき

全ての機器の電源を切ってから接続してください。

● 本機の前面にある映像/音声入力F-1端子に接続することもできます。

他の機器側（再生）

- 再生用のテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

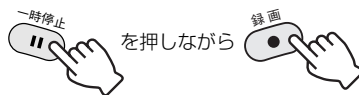
- 録画用のテープを入れておきます。
- メニューの「ピクチャーセレクト」を「ダビング」にしておきます。(☞58ページ)
- S映像または映像端子のどちらにつないだかを設定します。(☞120ページ)
- S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

❶ 外部入力を選ぶ

- 前面の映像/音声入力F-1端子に、相手の機器をつないだときは「F-1」、背面の映像/音声入力端子に、相手の機器をつないだときは、「L-1」を選びます。

❷ 録画一時停止状態にする

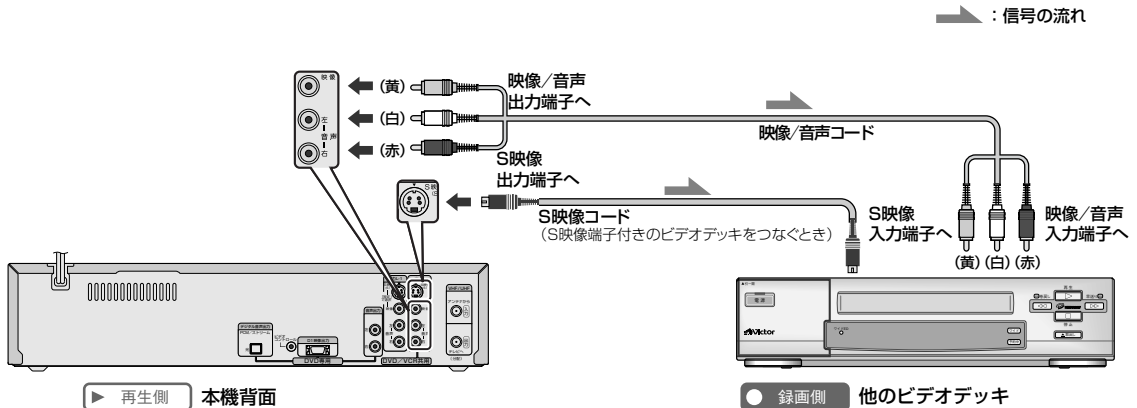
❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

❹ 録画を始める

- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。標準モードで録画することをお勧めします。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- 録画一時停止などで映像をつないだ部分の精度が出ないことがありますが、本機の性能であり故障ではありません。

- **ダビングが終わったら、、、**
  メニューの「ピクチャーセレクト」を「オートピクチャー」に戻しておいてください。
  (☞58ページ)

本機で再生、他機で録画する

全ての機器の電源を切ってから接続してください。

本機側（再生）

- 再生するテープを入れておきます。
- メニューの「モード選択➡オンスクリーン」を「切」にしておきます。「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が一緒に録画されてしまいます。（☞**120**ページ）
- メニューの「ピクチャーセレクト」を「ダビング」にしておきます。（☞**58**ページ）
- S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。（DVDのダビングは☞**106**ページを参照してください）

他の機器側（録画）

- 録画用のテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❷ 録画一時停止状態にする

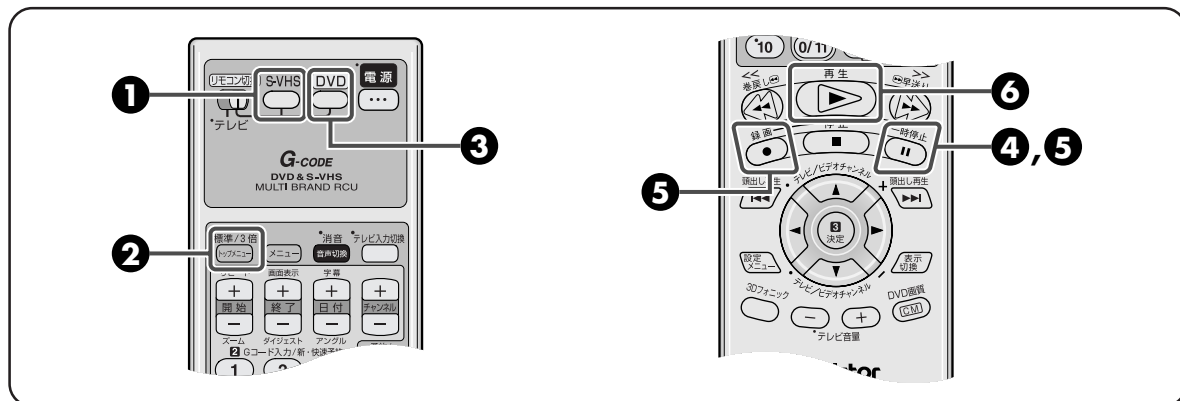
❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

❹ 録画を始める

- ダビングが終わったら…
  メニューの「ピクチャーセレクト」を「オートピクチャー」に戻しておいてください。
  （☞**58**ページ）

DVD 側から S-VHS 側へダビングする

DVDビデオをS-VHS/VHSテープにダビングする

DVD ビデオレコーダーなどで録画した DVD ビデオを接続不要で簡単にダビングできます。

S-VHS側(録画)

- メニューの「ピクチャーセレクト」を「ダビング」にします。(☞58ページ)
- 新しい録画用テープを入れるか、ダビングしたいテープを挿入して録画を始めたいところを探しておきます。

❶ [S-VHS]を押して
S-VHSランプを点灯させる

❷ [標準／3倍]を押して
録画スピードを選ぶ

DVD側(再生)

- ダビングしたいDVDビデオを本機に入れておきます。

❸ [DVD]を押して
DVDランプを点灯させる

- DVD が再生しているかどうか確認してください。再生していない場合は、再生 (►) ボタンを押してください。

❹ ダビングを開始したい場面で
[一時停止(II)]を押す

- 一時停止になります。

❺ [一時停止(II)]を押しながら
[録画(●)]を押す

- 本体表示窓に「dub」表示が点滅し、録画一時停止状態になります。

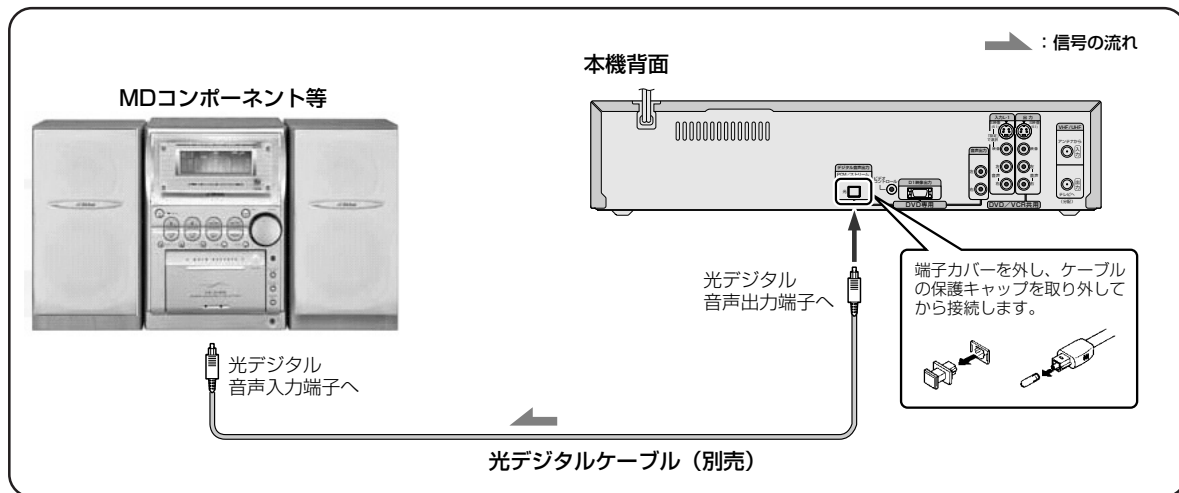
❻ [再生(►)]を押す

- DVD のダビングを開始します。
- ダビングが終了したら、停止(■)ボタンを押します。
- DVD側は再生を続けていますので、必要に応じて停止させてください。

- 本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクは、VTRで録画できません。
- DVDの再生設定メニューを表示させたままビデオテープにダビングすると、再生設定メニューもダビングされてしまいます。画面表示ボタンを押して再生設定メニューを消してください。

オーディオ機器とつないでダビングする

光デジタル音声出力でデジタル録音する

コピー禁止処理のされていないCDの音声をMDなどにデジタル録音できます。

本機DVD側（再生）

準備
- ダビングしたいディスクを本機に入れます。
- DVD設定メニューで「音声設定➡デジタルOUT」を「PCMのみ」に設定します。（☞125ページ）

❶ [DVD]を押してDVDランプを点灯させ、頭出し（☞62〜67ページ）したあと[一時停止(❚❚)]を押す

- 再生一時停止になります。
- 少し前まで早戻ししてから一時停止してください。

❹ [再生(►)]を押す

他の機器（MD）側（録音）

準備
- 録音用のMDを入れておきます。
- 詳しい接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

❷ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❸ 録音一時停止状態にする

❺ 録音を始める

BS デジタルチューナー内蔵テレビをつなぐ

全ての機器の電源を切ってから接続してください。

：信号の流れ

本機背面

(白)
(赤)
(黄)
(白)
(赤)

S映像コード（付属）

BSデジタルテレビに S映像出力端子がない場合は、本機とBSデジタルテレビの映像端子どうしをつないでください。

ミニプラグコード（別売）

映像/音声コード（付属）

音声コード（別売）

ビデオコントロール端子へ

S映像出力端子へ

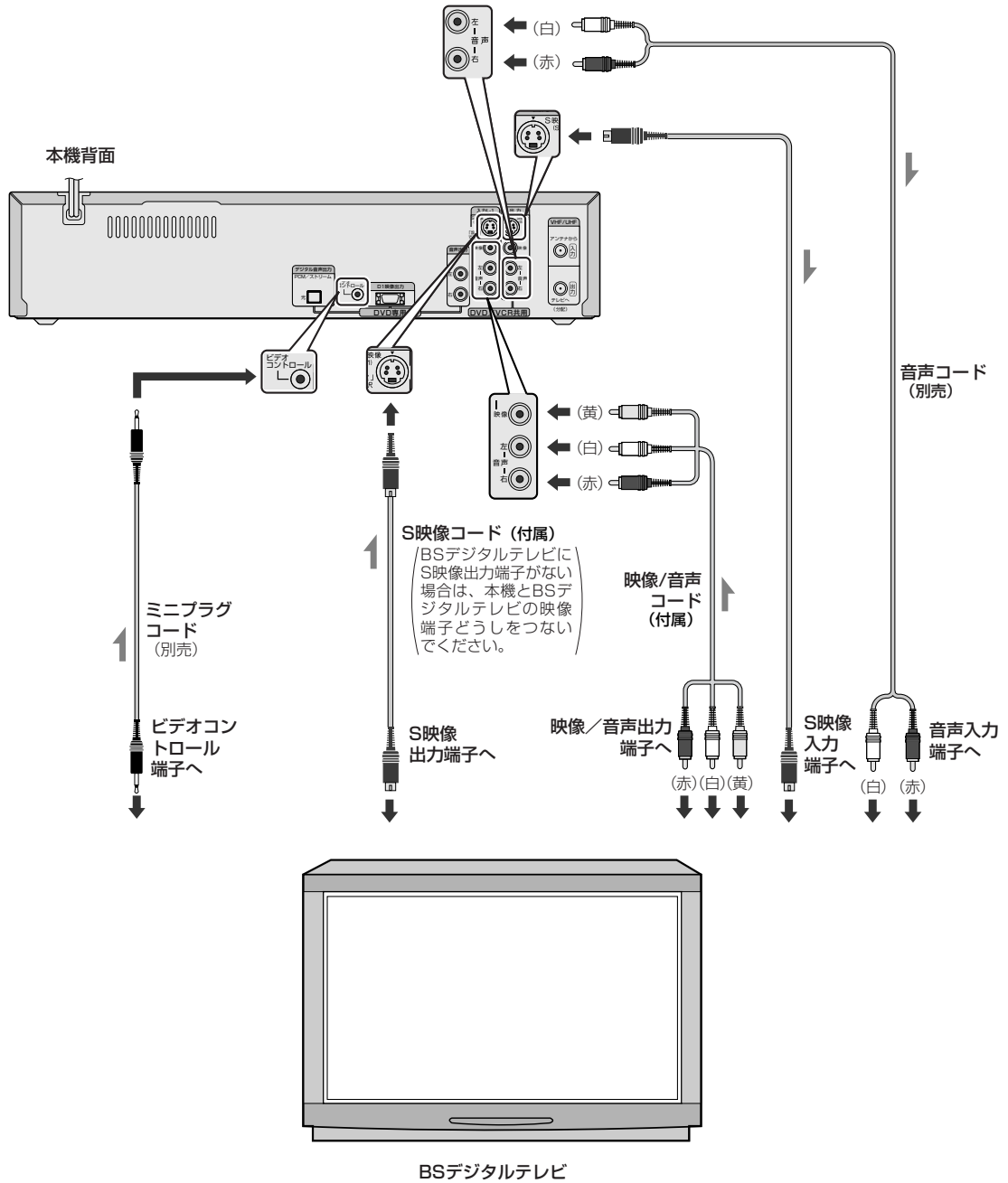
映像／音声出力端子へ

(赤)(白)(黄)

S映像入力端子へ

音声入力端子へ

(白)(赤)

BSデジタルテレビ

● 録画予約の方法は ☞**112**ページをご覧ください。

BS デジタルチューナーをつなぐ

全ての機器の電源を切ってから接続してください。

：信号の流れ

本機背面

(白) (赤)

ミニプラグコード（別売）

ビデオコントロール端子へ

S映像コード（付属）

BSデジタルチューナーにS映像出力端子がない場合は、本機とBSデジタルチューナーの映像端子どうしをつないでください。

S映像出力端子へ

(黄) (白) (赤)

映像/音声コード（付属）

映像／音声出力端子へ

(赤)(白)(黄)

音声コード（別売）

BSデジタルチューナー

D端子出力へ

S映像出力端子へ

(白) (赤) 音声出力端子へ

S映像入力端子へ

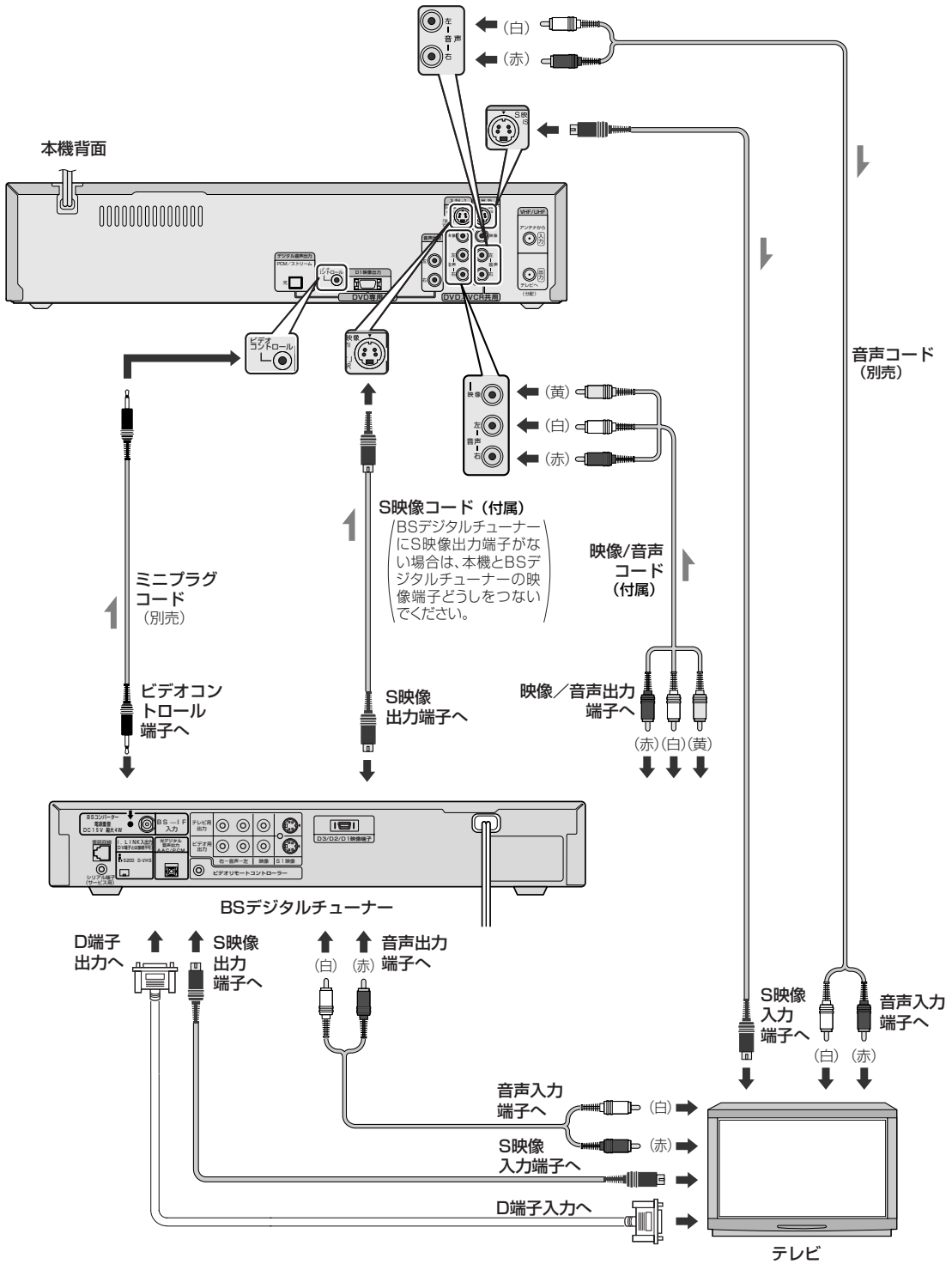
音声入力端子へ

(白) (赤)

音声入力端子へ

S映像入力端子へ

D端子入力へ

テレビ

● 録画予約の方法は ☞112ページをご覧ください。

他機との接続

デジタル CS チューナーをつなぐ

全ての機器の電源を切ってから接続してください。

：信号の流れ

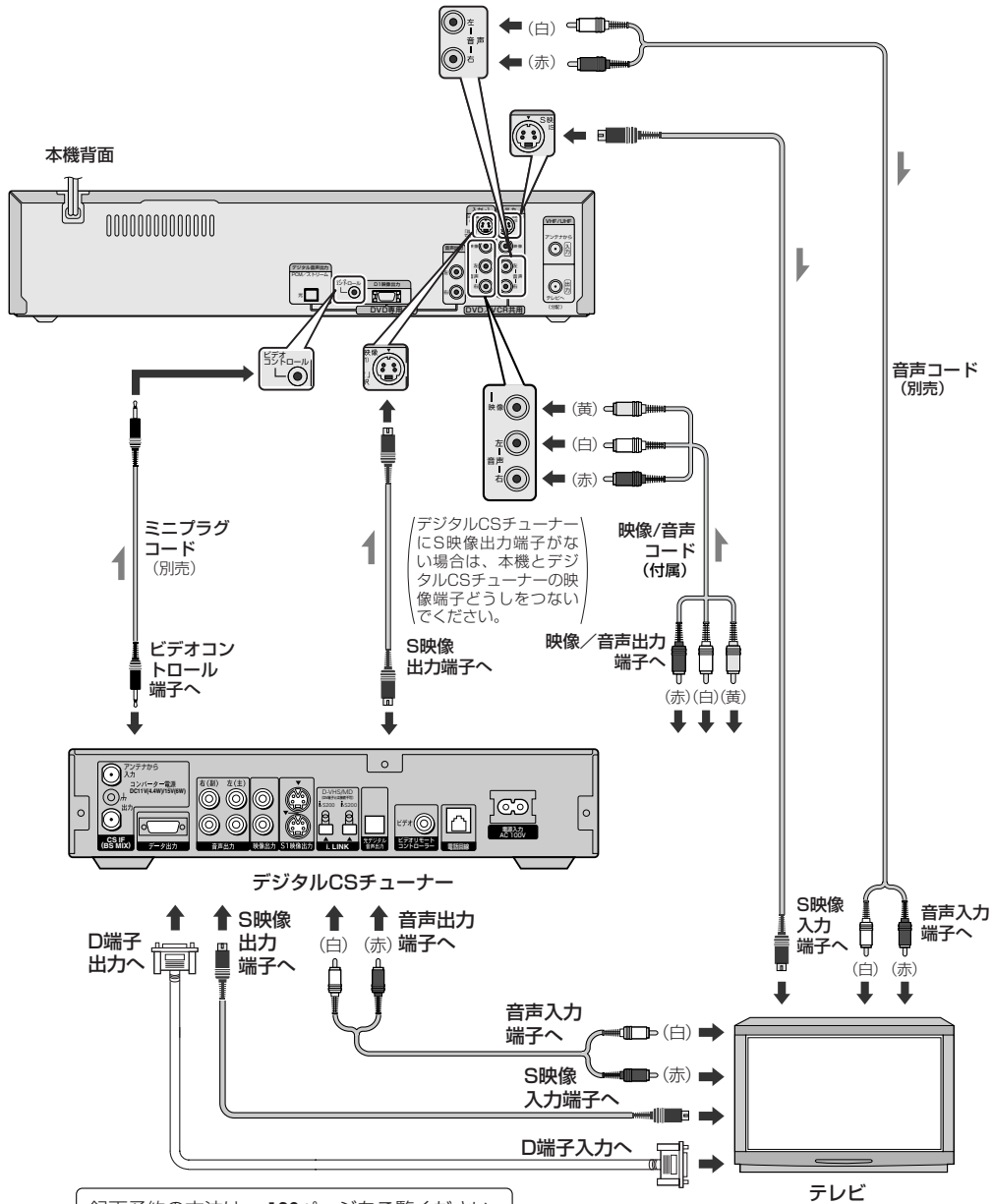
本機背面

(白)
(赤)
S映像
音声コード
(別売)
ビデオ
コントロール
映像
(黄)
(白)
(赤)
ミニプラグ
コード
(別売)
デジタルCSチューナーにS映像出力端子がない場合は、本機とデジタルCSチューナーの映像端子どうしをつないでください。
映像/音声
コード
(付属)
ビデオコントロール端子へ
S映像
出力端子へ
映像／音声出力
端子へ
(赤)(白)(黄)

デジタルCSチューナー

D端子
出力へ
S映像
出力
端子へ
(白)(赤)
音声出力
端子へ
S映像
入力
端子へ
音声入力
端子へ
(白)(赤)
音声入力
端子へ
(白)
(赤)
S映像
入力端子へ
D端子入力へ

テレビ

録画予約の方法は☞120ページをご覧ください。

デジタルCS放送を見るには

1. デジタルCSチューナーで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機のチャンネルボタンで接続した入力を選びます。

   前面外部入力は「F-1」、背面外部入力は「L-1」を選びます。上図のように接続したときは「L-1」を選びます。

デジタルCS番組を録画する場合

1. つめのついたテープを入れます。
2. デジタルCSチューナーの電源を入れます。
3. 録画したいデジタルCS放送のチャンネルを選びます。
4. 本機のチャンネル＋/－ボタンで接続した入力を選びます。

   前面外部入力端子：「F-1」
   背面外部入力端子：「L-1」
5. 標準/3倍ボタンを押して、録画スピードを選びます。
6. リモコンの録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。
   （本体の場合は録画ボタンのみ押します。）

CATV をつなぐ

全ての機器の電源を切ってから接続してください。
お使いのホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。

：信号の流れ

テレビ

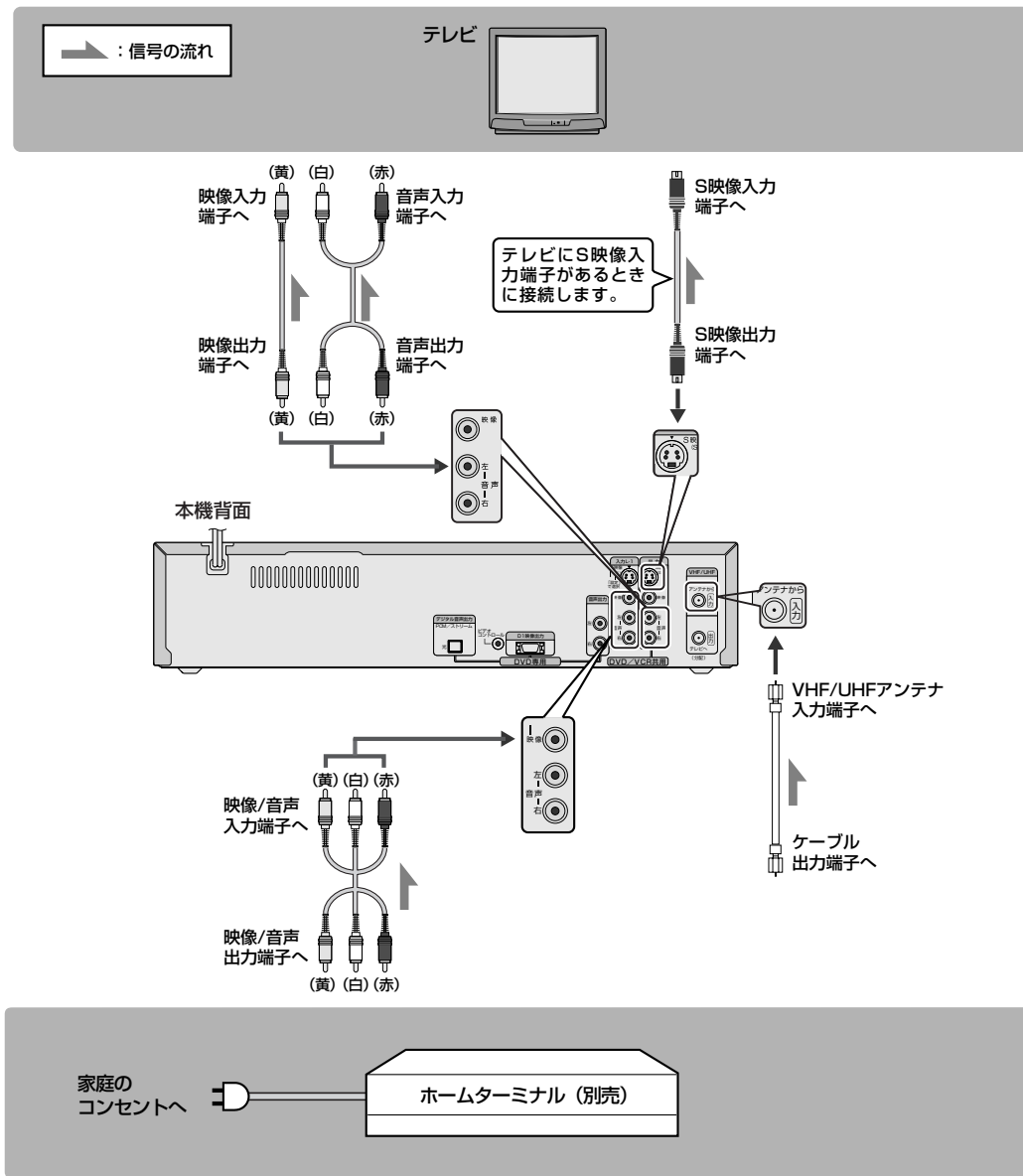
(黄) (白) (赤)
映像入力端子へ
音声入力端子へ
映像出力端子へ
音声出力端子へ
(黄) (白) (赤)

S映像入力端子へ
テレビにS映像入力端子があるときに接続します。
S映像出力端子へ

本機背面

VHF/UHFアンテナ入力端子へ
ケーブル出力端子へ

(黄) (白) (赤)
映像/音声入力端子へ
映像/音声出力端子へ
(黄) (白) (赤)

家庭のコンセントへ
ホームターミナル（別売）

CATV放送を受信するには

1. アンテナコード(付属)で本機のVHF/UHFアンテナ入力端子とホームターミナルまたはCATVチューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. 受信できるCATV放送を空いているチャンネルに割り当てます。(☞**32**ページ)

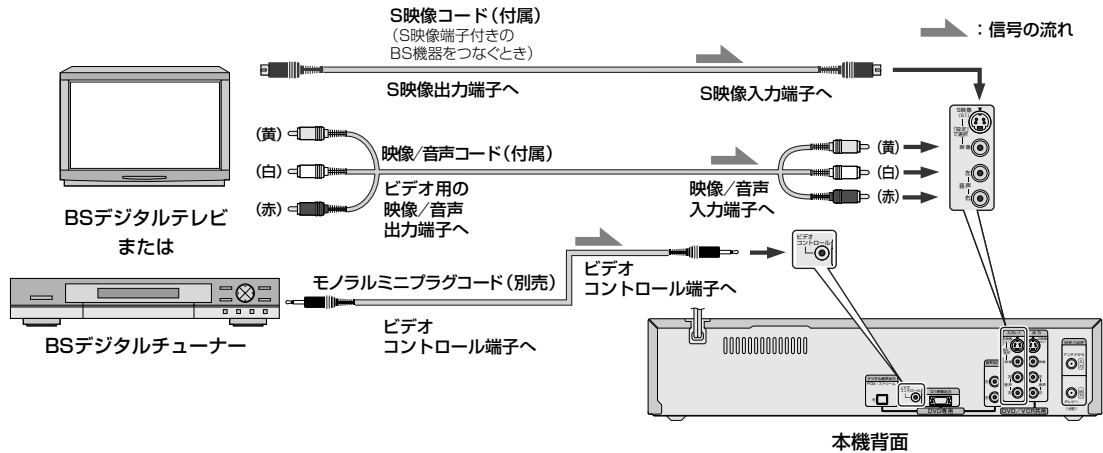
CATV放送を見るときは

1. ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機のチャンネルボタンで接続した入力を選びます。
   前面外部入力は「F-1」、背面外部入力は「L-1」を選びます。
   ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

BS/CS デジタルチューナーとつないで録画予約する

ビデオコントロール端子に接続して録画予約する（BSデジタルリンク予約）

BS デジタルチューナーの予約機能に連動させ、簡単に本機で録画することができます。
本機側で予約の設定は必要ありません。

全ての機器の電源を切ってから接続してください。

メーカー設定をする

❶ 本機とBS機器(BSデジタルテレビ または BSデジタルチューナー)を接続する

❷ [チャンネル＋／－]を押して外部入力の「L-1」を選ぶ

❸ メニューの「モード選択➡BSデジタル予約切換」で「ビデオコントロール」を選ぶ

- 操作のしかたは☞127ページをご覧ください。

前ページへ	
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	切
BSデジタル予約切換	ビデオコントロール
オート電源オフ	切

選択［▲／▼］設定［決定］終了［メニュー］

❹ [BSデジタル予約]を2秒以上押して「⊙」と「⧖」表示を点灯させる

- 本機の電源が自動的に切れます。

❺ BS機器側でメーカー設定をする

- 本機とBS機器が通信できるように設定します。本機の電源が「入／切」できれば、メーカー設定は終了です。
- メーカー設定のしかたは、BS機器の取扱説明書をご覧ください。
- 使用するチューナーによっては、本機の電源が「入／切」しないことがあります。このようなときは、本機のリモコンコードを変更してから、メーカー設定をしてみてください。(☞21ページ)

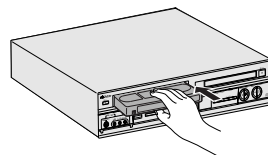
【これで、メーカー設定は終了です】

ご注意

- BSデジタルリンク予約時(待機中または録画中)は、DVD側は使用できません。

録画予約をする

❶ BS機器側で番組を予約する

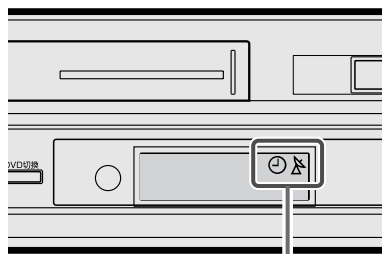
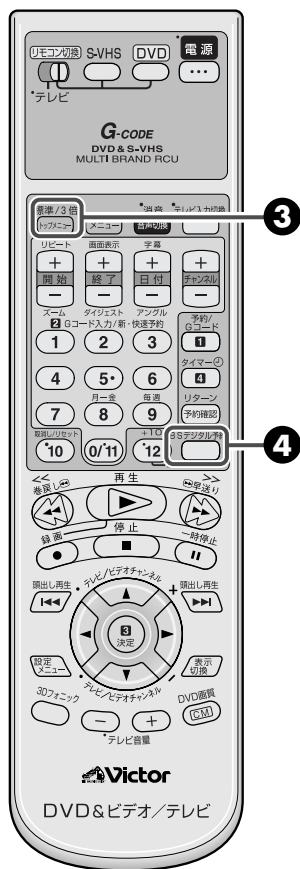
- 予約のしかたは、BS機器の取扱説明書をご覧ください。

❷ 録画用のテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❸ [標準／3倍]を押して録画スピードを選ぶ

❹ [BSデジタル予約]を2秒以上押して「◷」と「⛢」表示を点灯させる

- 本機の電源が自動的に切れ、予約待機状態になります。
- 本体表示窓には、「◷」と「⛢」を表示します。
- 予約開始時刻になるとBS機器の電源が入り、本機は自動的に録画を始めます。録画中は、「◷」表示が点灯し、「⛢」表示が点滅します。
- BS機器の電源が入ったままでも、予約開始時刻になると、予約したチャンネルに切り換わって、本機は自動的に録画を始めます。
- 録画を途中で止めたいときはBSデジタル予約ボタンを1回押して、「◷」と「⛢」表示を消灯させてから、停止（■）ボタンを押してください。

BSデジタル予約表示

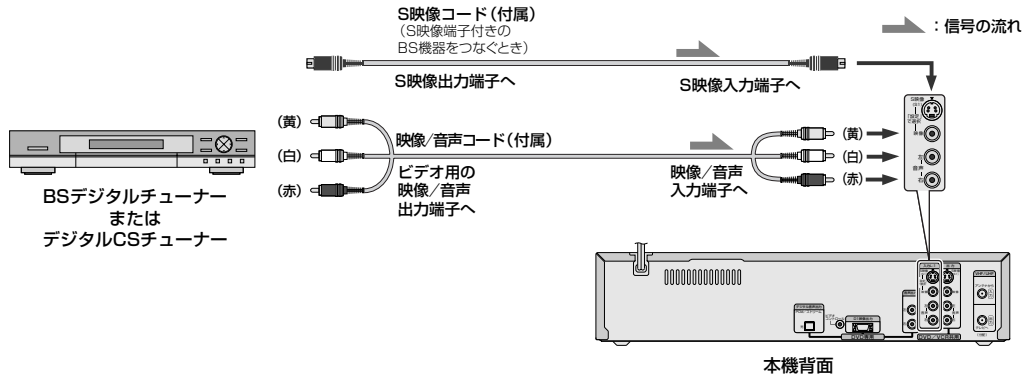
予約待機中に本機を操作したいときは

- BSデジタル予約ボタンを1回押して、「◷」と「⛢」表示を消灯させてから操作してください。
- もう一度予約待機状態にしたいときは、BSデジタル予約ボタンを2秒以上押して、「◷」と「⛢」表示を点灯させます。

録画中は

- 「◷」と「⛢」表示点灯中は、Gコード予約などの予約は実行しません。
- リモコンの表示切換ボタンは働きません。
- 録画中にテープの終わりまでくると、電源が切れ「►」と「●」表示が点滅します。BSデジタル予約ボタンを押すと、「◷」と「⛢」表示の点滅が消えます。本機の電源を入れ、巻戻しなどの操作をすると「►」と「●」表示の点滅が消えます。

ビデオコントロール端子を使わずに録画予約する（着信予約）

BSデジタルチューナーの予約機能に連動させ、簡単に本機で録画することができます。本機側で予約の設定は必要ありません。予約時間以外でも、BS/CSチューナーの電源を入れると、本機は録画を開始してしまいます。

メニューの設定をする

❶ モード選択画面の「BSデジタル予約切換」で「入力L-1」を選ぶ

- 操作のしかたは、☞119ページをご覧ください。

録画予約をする

❶ BS/CSチューナー側で番組を予約する

- 予約のしかたは、BS/CSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

❷ 予約設定後、BS/CSチューナーの電源を切る

❸ 録画用のテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。

❹ ［標準／3倍］を押して録画スピードを選ぶ

❺ ［BSデジタル予約］を2秒以上押して「◴」と「⛛」表示を点灯させる

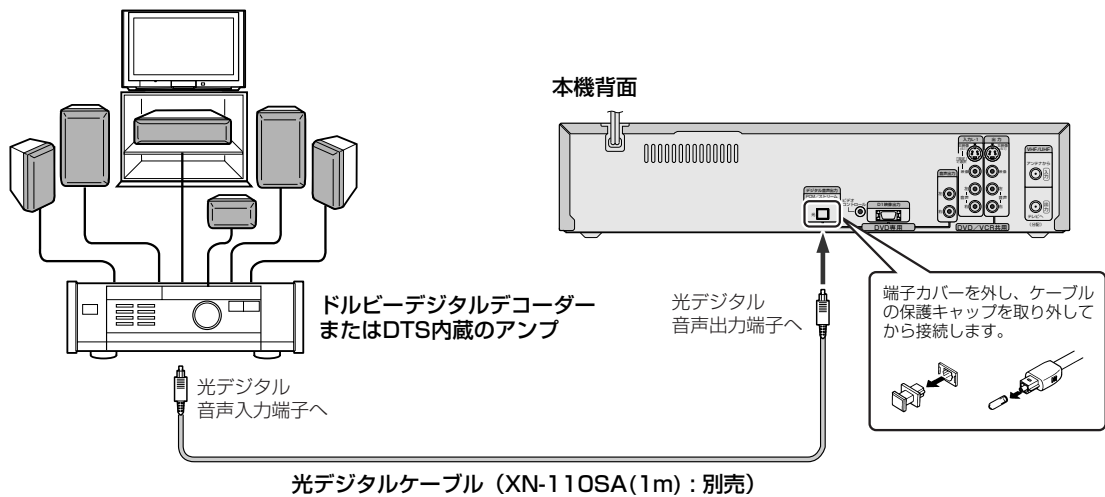
- 本機の電源が自動的に切れ、予約待機状態になります。
- 本体表示窓には、「◴」と「⛛」を表示します。
- 予約開始時刻になるとBS/CSチューナーの電源が入り、本機は自動的に録画を始めます。録画中は、「◴」表示が点灯し、「⛛」表示が点滅します。

着信予約について

- 「◴」と「⛛」表示点灯中は、BS/CSチューナーの電源を入れないでください。電源を入れると、本機で録画が始まります。また、本機背面のL-1入力端子に接続している機器の電源を入れても、本機は録画を始めます。
- BSデジタル予約ボタンを押したとき、BS/CSチューナーの電源が入っていると、「◴」と「⛛」表示が点滅します。このときは、BS/CSチューナーの電源を切ってください。
- 使用するBS/CSチューナーによっては、実際の番組より多少長めに録画されたり、番組の始めが欠けて録画されることがあります。
- ☞113ページの「メモ」もご覧ください。
- 予約するとDVD側は使用できません。

オーディオ機器とつなぐ

本機とドルビーデジタルデコーダーまたはDTS内蔵アンプをつなぐ

全ての電源を切ってから接続してください。

- ドルビーデジタルサウンドの場合は DVD 設定メニューの「音声設定 ➡ デジタル OUT」を「DOLBY DIGITAL/PCM」にしてください。(☞**125** ページ)
- DTS サウンドの場合は、DVD 設定メニューの「音声設定➡ デジタル OUT」を「ストリーム／ PCM」にしてください。(☞**125** ページ)

他機との接続

メニュー画面一覧

メニューの表示方法

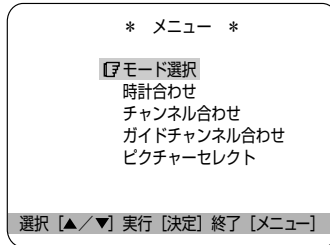
① [S-VHS]を押して、S-VHSランプを点灯させる。

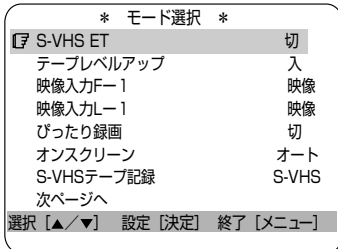
② [設定メニュー]を押す。

メニュー画面

＊ メニュー ＊

モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［メニュー］

モード選択画面（1ページ目）

（☞120ページ）

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

時計合わせ画面

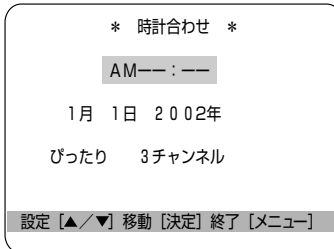
（☞40ページ）

＊ 時計合わせ ＊

AM－－：－－

1月 1日 2002年

ぴったり 3チャンネル

設定［▲／▼］移動［決定］終了［メニュー］

・ビデオ本体の時計を合わせるときに使用する画面です。

ピクチャーセレクト画面

（☞58ページ）

オートピクチャー

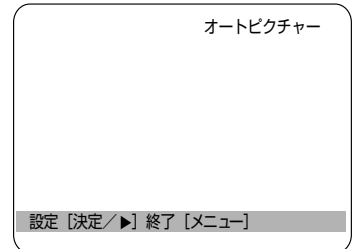
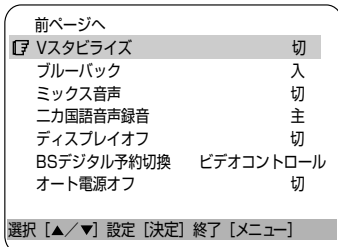
設定［決定／▶］終了［メニュー］

・画質を調節するときに使用する画面です。

モード選択画面（2ページ目）

（☞121ページ）

前ページへ	
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	切
BSデジタル予約切換	ビデオコントロール
オート電源オフ	切

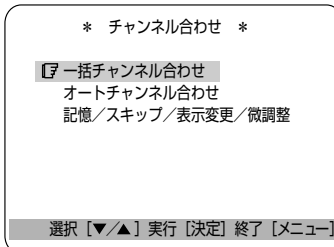
選択［▲／▼］設定［決定］終了［メニュー］

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

チャンネル合わせ画面

（☞28～37ページ）

＊ チャンネル合わせ ＊

一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

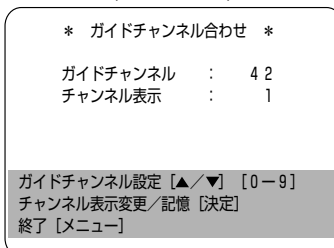
選択［▼／▲］実行［決定］終了［メニュー］

・受信チャンネルを設定するときに使用する画面です。

ガイドチャンネル合わせ画面

（☞38ページ）

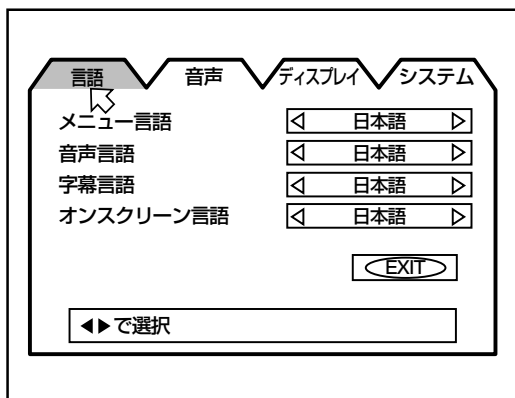
＊ ガイドチャンネル合わせ ＊

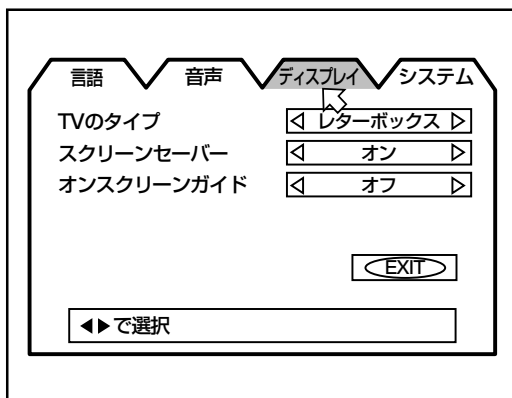
ガイドチャンネル ： 42
チャンネル表示 ： 1

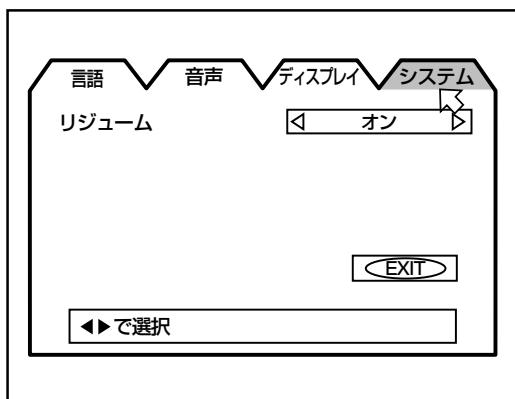
ガイドチャンネル設定［▲／▼］［0－9］
チャンネル表示変更／記憶［決定］
終了［メニュー］

・ガイドチャンネルを設定するときに使用する画面です。

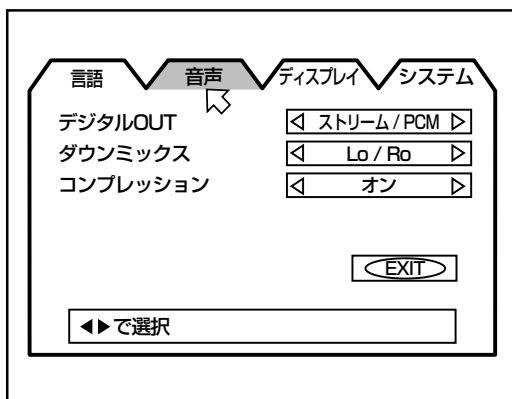
DVD設定メニュー

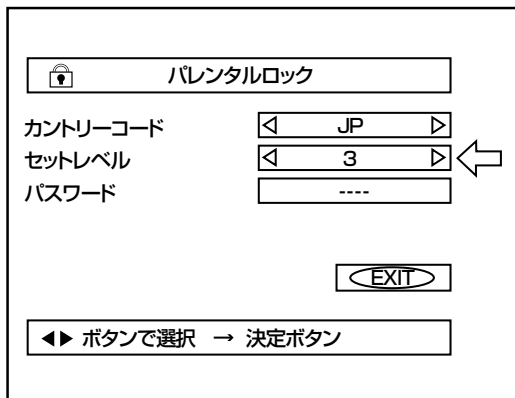
DVDボタンを押して、DVDランプを点灯させます。[設定メニュー]ボタンを押して表示させます。

言語設定画面

- お買上げ時の言語設定を変えるときに使用する画面です。

ディスプレイ設定画面

- お買上げ時の映像設定を変えるときに使用する画面です。

システム設定画面

- お買上げ時のその他の設定を変えるときに使用する画面です。

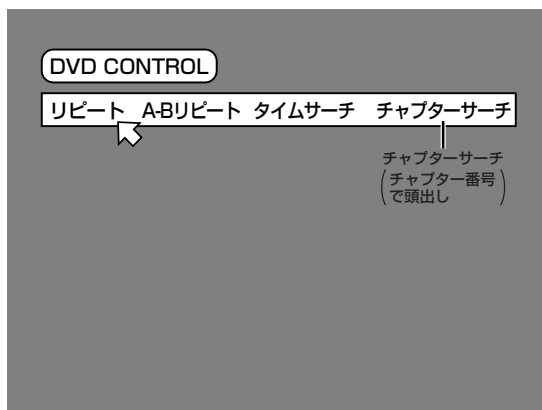
音声設定画面

- お買上げ時の音声の設定を変えるときに使用する画面です。

パレンタルロック設定画面

- お買上げ時のパレンタルロックの設定を変えるときに使用する画面です。

その他

再生設定メニュー

再生中にリピートボタンを押して表示させます。

DVD-ビデオ再生設定画面

- DVD ビデオの再生設定を変えるときに使用する画面です。

ビデオ CD再生設定画面

リピート（くり返し）
A-Bリピート（A-B間でくり返し再生）
タイムサーチ（経過時間で頭出し）
PBC再生（PBCメニューで再生）

音楽用CD／MP3ディスク再生設定画面

CD CONTROL

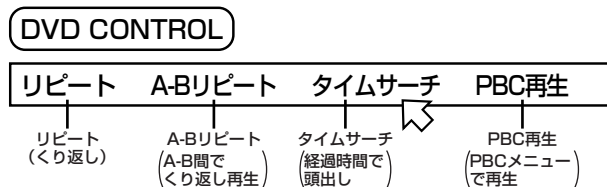
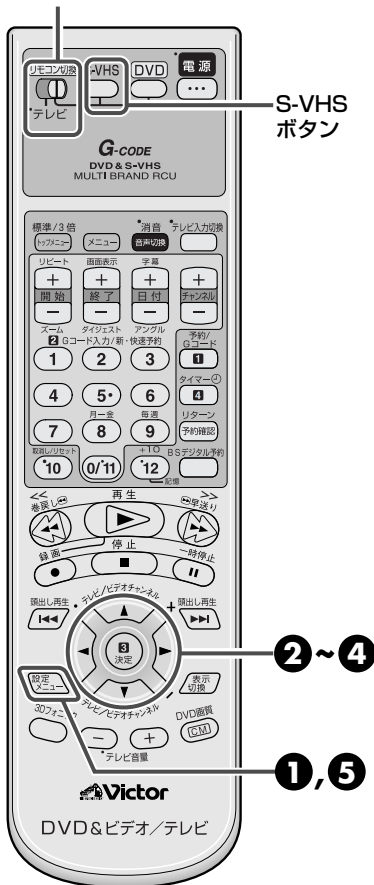
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ

お買い上げの時の設定を変える（S-VHS側）

リモコン切換スイッチ

S-VHS ボタン

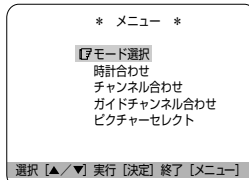
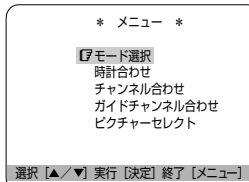
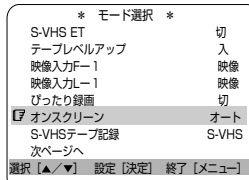
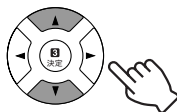
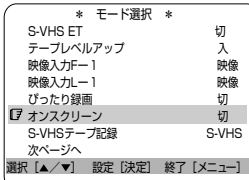
❷~❹

❶,❺

準備
- テレビの電源を入れ、テレビ切換ボタンを押して本機をつないだ外部入力を選びます。
（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンの切換スイッチを「右」側にします。
- S-VHSボタンを押してS-VHSランプを点灯させます。

例　オンスクリーンを「切」にする

❶ [設定メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

＊　メニュー　＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］ 実行［決定］ 終了［メニュー］

❷ [▲／▼]を押して「モード選択」画面を選び、[決定]を押す

＊　メニュー　＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］ 実行［決定］ 終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「オンスクリーン」を選ぶ

❹ [決定]を押して「切」を選ぶ

❺ [設定メニュー]を押して終了する

- メニュー画面が消えます。

メモ
メニュー画面について
- 何も操作をしないと、約3分でメニュー画面は消えます。

モード選択の設定内容について

メニューの「モード選択」は、2ページ構成で画質調整やオンスクリーンの設定などを決めるときに使います。ここでは、設定の内容とお買い上げ時の状態を説明します。

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

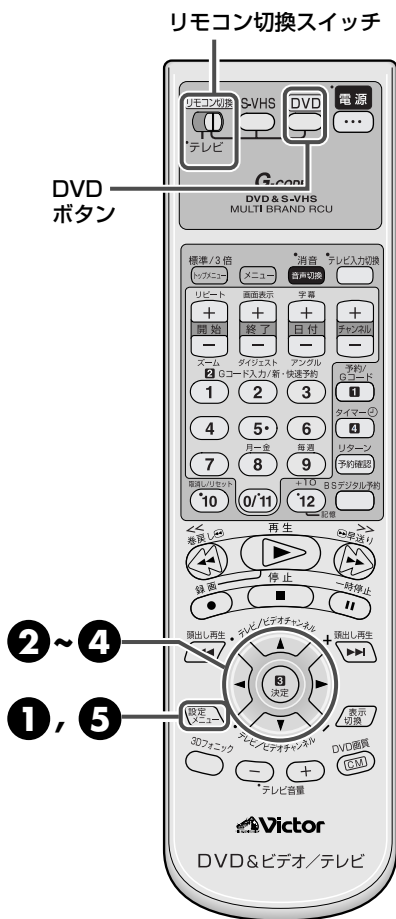
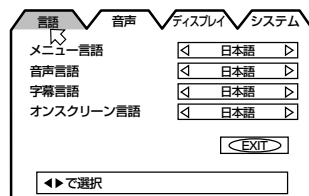
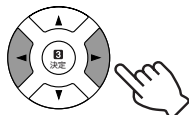
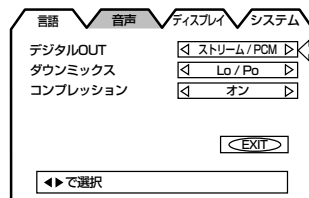
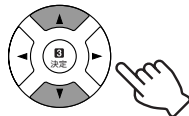
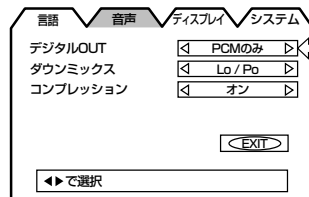
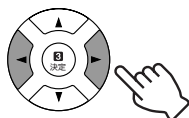
項　目	設定内容	
S-VHS ET （☞55ページ参照）	VHSテープにS-VHSの画質で記録するときに設定します。	
	切	：通常は「切」に設定しておきます。
	入	：VHSテープにS-VHSの画質で記録します。
テープレベルアップ （☞59ページ参照）	よりよい画質で録画・再生したいときに使います。テープに合わせた最適な画質で録画・再生することができます。	
	入	：テープに合わせた最適な状態で録画・再生したいときに選びます。
	切	：この機能を使用しません。
映像入力F-1	前面映像入力(F-1)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
	映像	：前面の映像入力端子(F-1)に信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	：前面のS映像入力端子(F-1)に信号を入力するときは「S映像」にします。
映像入力L-1	背面映像入力(L-1)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
	映像	：背面の映像入力端子(L-1)に信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	：背面のS映像入力端子(L-1)に信号を入力するときは「S映像」にします。
ぴったり録画	録画予約実行中に、テープ残量が少なくなると、自動的に録画スピードを「3倍（EP）」に変えるか、変えないかの設定をします。	
	切	：この機能を使用しません。
	入	：録画スピードが「標準（SP）」で録画予約された番組を録画中にテープが足りなくなると途中で自動的に「3倍（EP）」に切り換わり、録画切れを防ぎます。
オンスクリーン	テレビ画面にカウンターなどの表示をするか、しないかの設定をします。	
	オート	：ビデオ操作時に、操作内容を5秒間、テレビ画面に表示します。
	入	：常にカウンター（または残量/時計）を表示します。
	切	：ビデオの操作内容をテレビ画面に表示しません。
S-VHSテープ記録	S-VHSテープに記録する方式を変えるときに使います。	
	S-VHS	：S-VHSテープにはS-VHS記録、VHSテープにはVHS記録します。
	VHS	：S-VHSテープにVHS記録するときは「VHS」を選びます。

項　目	設定内容	
Vスタビライズ	テープを再生中に、映像が上下に揺れるときに使います。	
	切	：通常は「切」にしておきます。
	入	：この機能を使うときにだけ選びます。
ブルーバック	放送のないチャンネルを青い画面（ブルーバック）にするか、しないかの設定をします。	
	入	：放送のないチャンネルをブルーバックにします。
	切	：電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」を選びます。
ミックス音声 （☞57ページ参照）	ノーマル音声とハイファイステレオ音声をミックスして再生したいときに使います。	
	切	：通常は「切」にしておきます。
	入	：ハイファイ音声とノーマル音声をミックスして再生します。
ニカ国語音声録音	主音声（日本語）と副音声（英語など）の両方を録音したいときに使います。	
	主	：二重音声放送の主音声だけを録音します。
	主＊副	：二重音声放送の主音声と副音声の両方を録音します。
ディスプレイオフ （☞61ページ参照）	本機の電源が「切」のとき、本体表示窓の表示を点灯するか消すかを設定します。	
	切	：点灯します。
	入	：消灯します。
BSデジタル予約切換 （☞112〜114ページ参照）	BSデジタルチューナーからの予約を行なうさいに、ビデオコントロール端子を使用してBSデジタル予約をするか、着信録画（チューナーからの映像出力を着信した時に自動的に録画する)をするかを設定します。	
	ビデオコントロール	：ビデオコントロール端子を使用して、BSデジタル予約をするときに選びます。
	入力L-1	：背面入力端子(L-1)を使用して、BSデジタル予約をするときに選びます。
オート電源オフ （☞60ページ参照）	本機の電源の切り忘れを防止するため、電源を自動的に切りたいときに設定します。	
	切	：この機能を使用しません。
	3H	：電源「入」の状態で何も操作しないと、3時間後に自動的に電源が切れます。

お買い上げの時の設定を変える（DVD側）

DVD 設定画面には、言語設定画面、音声設定画面、ディスプレイ設定画面、システム設定画面の４つの設定画面があり、それぞれに設定項目があります。

- テレビの電源を入れ、テレビ切換えボタンを押してビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコンの切換スイッチを「右」側にしてから電源ボタンを押します。
- DVD ボタンを押して DVD ランプを点灯させます。

例　デジタルOUTを「PCMのみ」にする

❶ [設定メニュー]を押して「DVD設定」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「音声」を選ぶ

❸ [▲／▼]を押して「デジタルOUT」を選ぶ

❹ [◀／▶]を押して「PCMのみ」を選ぶ

❺ [設定メニュー]を押して終了する

- DVD 設定画面が消えます。

メモ

本体で操作するときは

ワイドテレビをお使いの場合は
- DVD設定画面の上下の部分が切れた状態で表示されることがあります。このようなときは、テレビ側の設定で画面サイズを変えてください。

音楽用CDやMP3ディスクが入ってるときは
- DVD設定画面が表示できません。

DVD設定メニューについて

DVD ボタンを押して、DVD ランプを点灯させます。
設定メニューボタンを押して表示させます。

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設定内容
言語設定	**メニュー言語**	DVDビデオには複数の言語によるメニュー画面が収録されている場合があります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語でメニューを表示するか決めておくことができます。選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに収録されているメニュー言語で表示されます。 英語 ⟷ スペイン語 ⟷ フランス語 ⟷ 中国語 ⟷ ドイツ語 イタリア語 ⟷ 日本語 ⟷ AAからZUまでの言語コード 言語コードの詳細は言語コード一覧表をご覧ください。（☞135ページ）
	音声言語	DVDビデオには複数の音声言語が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの音声言語で再生するか決めておくことができます。選択した音声言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに収録されている音声言語で再生されます。 英語 ⟷ スペイン語 ⟷ フランス語 ⟷ 中国語 ⟷ ドイツ語 イタリア語 ⟷ 日本語 ⟷ AAからZUまでの言語コード 言語コードの詳細は言語コード一覧表をご覧ください。（☞135ページ）
	字幕言語	外国映画などのDVDビデオには複数の言語で字幕が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語を表示するか決めておくことができます。 選択した言語の字幕がディスクに収録されていないときには、ディスクに収録されている言語で字幕が表示されます。 英語 ⟷ スペイン語 ⟷ フランス語 ⟷ 中国語 ⟷ ドイツ語 イタリア語 ⟷ 日本語 ⟷ AAからZUまでの言語コード 言語コードの詳細は言語コード一覧表をご覧ください。（☞135ページ）
	オンスクリーン言語	DVD設定メニューなどのオンスクリーン画面の言語を選びます。 日本語：日本語で表示します。 英語：英語で表示します。
システム設定	**リジューム** **（☞67ページ）**	再生中のディスクから、中断した位置を記憶し、あとでその続きから再生する（リジューム）ことができます。 オン：セットされているディスクの続きから再生できます。 オフ：続きから再生できません。
	パレンタルロック設定 **（☞106ページ）**	パレンタルロックは、映像や音声の内容を視聴者の必要に応じたレベル設定で再生することができる機能です。たとえば過激なシーンを含むような映画ソフトでパレンタル機能に対応している場合、お子様に見せたくないシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えることができます。

● ディスク再生中はDVD設定メニューの操作はできません。

● ディスクによっては、メニュー言語、音声言語、字幕言語が指定されていることがあります。このようなときは、トップメニューから設定してください。

メニューの使いかた（つづき）

DVD設定メニューについて（つづき）

お買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設定内容	
ディスプレイ設定	TVのタイプ	DVDビデオの映画ソフトの多くは、ワイドテレビ（縦横比16:9の横長テレビ）用の映像が収録されています。その映像を通常のテレビ（縦横比4:3）に映すときの変換方式として「パンスキャン」と「レターボックス」の2種類があります。この2種類の変換方式に対応しているディスクを再生するときに、どちらの変換方式で映すかを選択できます。ワイドテレビを接続するときは「ワイド（S1）」を選択します。通常のテレビを接続するときは「パンスキャン」か「レターボックス」を選択します。	
		ワイド（S1）	ワイドテレビ（縦横比16:9の横長テレビ）と接続したとき、この設定にします。 普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。
		レターボックス	上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。
		パンスキャン	左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。必要に応じてダイナミックレンジを変化させることができます。
	スクリーンセーバー	画面の焼き付きを防止するか、しないかを選びます。	
		オン	静止画が5分以上続くと、テレビ画面が暗くなります。
		オフ	スクリーンセーバーは機能しません。
	オンスクリーンガイド	本機には再生している映像に重ねてマークや文字などを表示させる機能があります。表示されたマークや文字によってディスクの収録状態を把握したり、本機の動作状態を把握することができます。またこれらの表示は出さないようにすることもできます。 例：　など	
		オン	マークや文字が表示されます。
		オフ	マークや文字が表示されません。

お買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設定内容	
音声設定	デジタルOUT	デジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定を合わせる必要があります。デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要がありません。	
		PCMのみ	リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダー、DATデッキなどと接続するとき、この設定にします。
		DOLBY DIGITAL/PCM	ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
		ストリーム／PCM	DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
	ダウンミックス	サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオを正しく再生するために、接続する機器に合わせて音声出力端子（アナログ）から出力される信号を切り換えます。この設定は、サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオを再生するときにのみ影響します。 3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。	
		Lt / Rt	本機の音声出力をサラウンドレコーダー（または内蔵アンプ）に接続してサラウンドオーディオを楽しむときにこの設定にします。
		Lo / Ro	本機の音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続してステレオ音声を楽しむときに、この設定にします。また、サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオの音声をMDレコーダーやカセットテープに録音するときにも、この設定にします。
	コンプレッション	必要に応じてダイナミックレンジ（小さい音と大きい音の音量差）を抑えることができます。	
		オン	DVDビデオに収録されている通りのダイナミックレンジで再生されます。
		オフ	ダイナミックレンジを抑えて再生します。小音量で映画を楽しみたいときなど、音が聞き取りやすくなります。

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48/44.1kHz、16ビットリニアPCMのDVDビデオ	48/44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
96/88.2kHz リニアPCMのDVDビデオ	出力しない		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム		

- 本機にはDTS信号のデコード機能がありません。
- DTSで収録されたDVDビデオやオーディオCDを再生するときは、DTSデコーダーをお使いください。通常のアンプを使うとノイズによってスピーカーを破損する恐れがあります。
- アナログ出力とデジタル出力を同時に接続している場合、アンプの入力選択を正しく行なってください。
- コンプレッション機能は、ドルビーデジタルで収録されたディスクを再生しているときにのみ働きます。
- 3Dフォニック機能が働いているときは、コンプレッションとダウンミックスは機能しません。

チャイルドロックとその他の機能

チャイルドロック

本機には、チャイルドロック機能がついています。
チャイルドロック中は、タイマー(◴)ボタンだけが使えます。
その他の本体およびリモコンの操作ボタンは働きません。

電源を切るときに

10秒以上押し続けると、電源が切れてチャイルドロックになります。

リモコンの電源ボタン

- チャイルドロックが働いているときは、電源ボタンを押すと本体表示窓に「CL」を表示します。
- チャイルドロックを解除するには、もう一度リモコンの電源ボタンを10秒以上押し続けてください。電源が入ってチャイルドロックが解除されます。

その他の機能（ネクストファンクションメモリー）

再生中や、テープを見終わったときに使える機能があります。用途に合わせてお使いください。

●テープを巻戻してから再生する

途中まで見たテープを見直すときなどにお使いください。

●テープを巻戻してから電源を切る

留守録したテープを見終わって、お休みになるときなどにお使いください。

●テープを巻戻してから予約録画待機状態にする

録画予約機能と合わせてお使いください。

故障かな？と思ったら（S-VHS側）

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

	症　状	処　置	参照ページ
一般	電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか? ●本体表示窓に「◷」が点灯していませんか? ●電源ボタンを押すと、本体表示窓に「[L」と表示されませんか? リモコンでチャイルドロックを解除してください。	22 18 126
	自動的に電源が切れる	●メニューの「モード選択➡ オート電源オフ」が「3H」になっていませんか？ 電源「入」の状態で何も操作をしないと、3 時間後に自動的に電源が切れます。	60
	カセットが入らない	●正しい向きで入れてください。	41
	カセットが出ない	●録画中または本体表示窓に「◷」または「◷」と「📡」が点灯していませんか？ 「◷」または「📡」を消してから、カセットを出してください。このとき、録画予約の待機状態は解除されます。	50、113
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	●再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約5分間は回転しています。故障ではありません。	–
	カウンター表示が点滅する	●早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。	–
	リモコンが働かない	●リモコンコード(A/B/C/D)が合っていますか? ●電池が消耗していませんか? ●ディスプレイオフが働いていませんか？	21 16 61
	ダビングできない	●正しい外部入力「F-1」または「L-1」を選んでいますか？	104
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	●メニューの「モード選択 ➡ オンスクリーン」を「切」にしてください。	120
	ぴったりクロックが働かない	●地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。	40
	本体表示窓に時計が表示されない	●ディスプレイオフ(省電力設定)が「入」になっていませんか? メニューの「モード選択 ➡ ディスプレイオフ」を「切」にしてください。省電力設定が解除されます。	61
再生	ハイファイステレオの音声が出ない	●モノラルビデオデッキやビデオカメラで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	–
	日本語と外国語が同時に聞こえる	●音声切換／消音ボタンで聞きたい音声を選んでください。	57
	テレビに映像が出ない	●ビデオの入力を表示していますか？ 映像/音声入力端子付テレビ(AVテレビ)と接続しているときはテレビの入力切換を「ビデオ」にします。	–
	映像が乱れる、ちらつく	●オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調整を行います。 ●再生中は、トラッキングを手動で調節してください。 録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。 ●長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売のビデオデッキクリーナーTCL-SDで掃除してください。	56 56 10
	早送り/巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	●再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。	–
	画面が上下に揺れる	●メニューの「モード選択 ➡ Vスタビライズ」を「入」にしてください。	121

故障かな？と思ったら（S-VHS側）

	症　状	処　置	参照ページ
録画	日本語だけ録音したい	●メニューの「モード選択➡ニヵ国語音声録音」を「主」にしてください。	121
	録画できない	●カセットのツメが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。	9
	希望の番組が録画できない	●チャンネルが合っていますか？ 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。	－
	録画予約ができない	●日付と時刻を設定してありますか? ●カセットのツメがついていますか? ●本体表示窓の「⏲」または「⏲」と「📡」は点灯していますか? ●予約内容を確認してください。 ●停電があったときは正しく動作しません。	40 9 50、113 50 －
	本体表示窓の「⏲」が点滅する	●予約内容が入っていません。予約内容を確認して、正しく設定し直してください。 ●カセットが入っていません。ツメの付いたカセットを入れてください。	50 －
	本体表示窓に「－：－－」を表示している	●停電がありました。もう一度、日付と時刻を設定してください。	40
	予約の録画が始まるまでの間、テープを見たい	●本体表示窓の「⏲」または「⏲」と「📡」を消してから操作します。 操作終了後は、ふたたび、「⏲」または「📡」を点灯させます。	50、113
	予約の録画中に止まって電源が切れて、本体表示窓の「⏲」、「▶」、「●」が点滅している	●テープの終わりまで録画すると、自動的にテープが停止し、電源が切れます。タイマー（⏲）ボタンを押すと「⏲」は消えます。本機の電源を入れ、巻戻しなどの操作をすると「▶」と「●」の点滅が消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	－
	予約の録画中に停止するには	●本体表示窓に「⏲」を表示しているときは、タイマー（⏲）ボタンを押し、「⏲」を消してから停止（■）ボタンを押します。 ●本体表示窓に「⏲」と「📡」を表示しているときは、本体のBSデジタル予約ボタンを押し、「⏲」と「📡」を消してから停止（■）ボタンを押します。	－
	録画予約中、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	●録画予約は8番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約を取消してから予約してください。	51
	録画予約中に予約中の表示が消えた	●予約中に約3分間放置すると予約表示は消えます。もう1度やり直してください。	－
	予約が重なったら	●録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。	－
	予約の録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら	●予約の録画中に本体の電源ボタンを押すと、録画を停止し、電源が切れます。（リモコンの電源ボタンを押しても電源は切れません。） 電源が切れたときは、他にも予約があれば、ふたたび録画予約待機中になります。	－

予約した番組が重なったら

・同じ日の同じ時間に、２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

・同じ日の同じ時間帯に、２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

・同じ日に録画時間が重なって２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

故障かな？と思ったら（DVD側）

症 状		処 置	参照ページ
再生	各ボタン操作ができない	●ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。	—
	DVDが操作できない	●DVDランプは点灯していますか？ ●DVDボタンを押してDVDランプを点灯させてください。	62
	画面に⊘が表示される	行った操作が禁止されているときに表示されます。	63
	画面に「リージョンコードエラー!」が表示される	本機とお使いのディスクのリージョン番号（ローカル番号）が異なっていると表示されます。このディスクを再生することはできません。	12、62
	再生ができない	DVDビデオの場合、本機とお使いのディスクのリージョン番号（ローカル番号）が異なっていると再生できません。	12
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	12
		本機を寒いところから急に暖かいところへ移動すると、内部に露が付くことがあります。1～2時間待ち、乾いてからお使いください。	10
		ディスクを正しくセットしてください。	11
		DVD設定メニューの視聴制限「パレンタルロック」が設定されていると、セットレベルによっては見られないディスクがあります。	102
	「言語」に関して初期設定どおりに再生されない	ディスクによっては、「言語」が指定されていることがあります。 このようなときは、トップメニューから設定してください。	123
	音声／字幕言語の切り換えができない	複数の言語が収録されていないディスクでは切り換えができません。	—
		音声ボタン、字幕ボタンでは切り換えできなくてもDVD設定メニュー画面で切り換えることのできるディスクもあります。	—
	字幕が出ない	字幕の入っていないDVDビデオでは表示されません	—
		DVD設定メニューで字幕言語が［オフ］になっている場合は、字幕言語を選択してください。	123
		A-BリピートのAポイント、Bポイントの前後では字幕が表示されないことがあります。	—
	アングルが変えられない	複数のアングルが収録されている場面でのみ切り換えることができます。	—

地域番号一覧表

この表は「受信チャンネルを設定する」（☞28 ページ）の手順❹で入力する地域番号表です。
お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局を一つずつ設定してください。
（☞32 ページ）
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
G コードを使って録画の予約をするために必要になります。（実際のチャンネルとは異なる場合があります。）

（2002年10月現在）

都道府県	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別） 001	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
	小樽 002		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
	旭川 003		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
	名寄 004			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
	稚内 005		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
	室蘭 006		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
	苫小牧 007		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
	函館 008		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
	帯広 009		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
	釧路 010		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
	網走 011	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
	北見 012		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森（弘前） 013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
	八戸 014		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
	むつ 015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡 016				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
	釜石 017		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸 018		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台 019	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
	石巻 020	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
	気仙沼 021		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田 022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
	大館 023				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
	大曲 024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビユー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
	鶴岡（酒田） 026	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビユー山形 22/36				山形テレビ 39/38
	米沢 027		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビユー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38

	地域番号		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
福島	福島（郡山）	028		NHK教育 2/90		テレビユー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
福島	いわき	029		テレビユー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
福島	会津若松	030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビユー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		
茨城	水戸（勝田）	031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
茨城	日立	032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮	033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
栃木	矢板	034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬			（伊勢崎・高崎）											
群馬	前橋	035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
群馬	桐生	036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
埼玉			（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・さいたま・春日部・川口・川越）											
埼玉	さいたま	037	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
埼玉	熊谷	038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
埼玉	秩父	039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
千葉			（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代）											
千葉	千葉	040	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
千葉	銚子	041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京			（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹）											
東京	23区	042	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
東京	八王子	043	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
東京	多摩	044	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
神奈川			（横浜の一部）											
神奈川	＊横浜1	045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
神奈川			（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）											
神奈川	＊横浜2	046	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
神奈川	平塚（茅ヶ崎）	047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
神奈川	秦野	048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
神奈川	小田原	049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府	050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野1	051		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
長野	長野2	052		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
長野	松本	053		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
長野	飯田	054			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
長野	岡谷・諏訪	055				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟（長岡）	056			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
新潟	上越	057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		
富山	富山	058	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
富山	高岡	059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32
石川	金沢（小松）	060		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
石川	七尾	061	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	

＊横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜2」をお選びください。
「横浜2」ではうまく受信できないときに、「横浜1」をお選びください。

次ページへ続く

地域番号一覧表（つづき）

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
福井	福井 062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
福井	敦賀 063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜(大垣) 064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
岐阜	高山 065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
岐阜	中津川 066				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡		(清水・焼津)											
静岡	静岡 067		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
静岡	浜松 068		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
静岡	富士(富士宮) 069		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
静岡	三島・沼津 070		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
静岡	島田 071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
静岡	藤枝 072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知		(安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田)											
愛知	名古屋 073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
愛知	豊橋(豊川) 074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
愛知	豊田 075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重		(鈴鹿・松坂・四日市)											
三重	津 076	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
三重	伊勢 077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59/33	名古屋テレビ 61/11	
三重	名張 078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津 079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
滋賀	彦根 080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都(宇治) 081		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
京都	舞鶴 082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
京都	福知山 083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪		(池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾)											
大阪	大阪 084		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸 085		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
兵庫	神戸灘 086		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
兵庫	川西 087		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
兵庫	三木 088		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
兵庫	姫路 089		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
兵庫	明石(加古川) 090		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良(橿原) 091		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/ー	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
奈良	五條 092		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山 093		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
和歌山	海南・田辺 094		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取 095	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江 096	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
島根	浜田 097		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			

	地域番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
岡山	岡山(倉敷)	098	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
岡山	津山	099		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
岡山	笠岡	100		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島	101	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
広島	福山	102	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
広島	尾道	103	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
広島	呉	104	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口	105	(徳山・防府) NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
山口	下関	106	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
山口	宇部	107	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
山口	岩国	108	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島	109	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松	110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
香川	丸亀	111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山	112		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
愛媛	新居浜	113		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
愛媛	今治	114		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
愛媛	宇和島	115	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知	116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡	117	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
福岡	久留米	118	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
福岡	大牟田	119	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
福岡	北九州	120		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
福岡	行橋	121		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀	122		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎	123	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
長崎	佐世保	124		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
長崎	諫早	125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本(八代)	126		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分(別府)	127			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
大分	中津	128			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎(都城)	129						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
宮崎	延岡	130		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島	131	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
鹿児島	阿久根	132		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
鹿児島	鹿屋	133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇(沖縄)	134		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

ガイドチャンネル一覧表

（2002年10月現在）

地域	都道府県	放送局	ガイドチャンネル
全国共通		NHK総合	80
		NHK教育	90
北海道・東北	北海道	北海道放送（HBC）	1
		札幌テレビ（STV）	5
		テレビ北海道（TVH）	17
		北海道文化（UHB）	27
		北海道テレビ（HTB）	35
	青森	青森放送（RAB）	1
		青森朝日（ABA）	34
		青森テレビ（ATV）	38
	岩手	岩手放送（IBC）	6
		岩手朝日（IAT）	20
		めんこい（MIT）	33
		テレビ岩手（TVI）	35
	秋田	秋田放送（ABS）	11
		秋田朝日（AAB）	31
		秋田テレビ（AKT）	37
	宮城	東北放送（TBC）	1
		仙台放送（OX）	12
		東日本放送（KHB）	32
		宮城テレビ（MMT）	34
	山形	山形放送（YBC）	10
		さくらんぼテレビ（SAY）	30
		テレビュー山形（TUY）	36
		山形テレビ（YTS）	38
	福島	福島テレビ（FTV）	11
		テレビュー福島（TUF）	31
		福島中央（FCT）	33
		福島放送（KFB）	35
関東・甲信越	関東	日本テレビ（NTV）	4
		TBSテレビ（TBS）	6
		フジテレビ（CX）	8
		テレビ朝日（ANB）	10
		テレビ東京（TX）	12
		東京メトロポリタン（MXテレビ）	14
		放送大学	16
		テレビ埼玉（TVS）	38
		テレビ神奈川（TVK）	42
		千葉テレビ（CTC）	46
		群馬テレビ（GTV）	48
		とちぎテレビ（TTV）	23
	新潟	新潟放送（BSN）	5
		新潟テレビ21（NT21）	21
		テレビ新潟（TNN）	29
		新潟総合（NST）	35
	長野	信越放送（SBC）	11
		長野朝日（ABN）	20
		テレビ信州（TSB）	30
		長野放送（NBS）	38
	山梨	山梨放送（YBS）	5
		テレビ山梨（UTY）	37
中部	静岡	静岡放送（SBS）	11
		静岡第一（SDT）	31
		静岡朝日テレビ（SATV）	33
		テレビ静岡（SUT）	35
	中京	東海テレビ（THK）	1
		中部日本放送（CBC）	5
		名古屋テレビ（NBN）	11
		テレビ愛知（TVA）	25
		三重テレビ（MTV）	33
		中京テレビ（CTV）	35
		岐阜放送（GBS）	37
	富山	北日本放送（KNB）	1
		チューリップTV（TUT）	32
		富山テレビ（T34）	34
	石川	北陸放送（MRO）	6
		北陸朝日（HAB）	25
		テレビ金沢（KTK）	33
		石川テレビ（ITC）	37
	福井	福井放送（FBC）	11
		福井テレビ（FTB）	39
関西・中国	関西	毎日放送（MBS）	4
		朝日放送（ABC）	6
		関西テレビ（KTV）	8
		読売テレビ（YTV）	10
		テレビ大阪（TVO）	19
		テレビ和歌山（WTV）	30
		びわ湖放送（BBC）	30
		京都テレビ（KBS）	34
		サンテレビ（SUN）	36
		奈良テレビ（TVN）	55
	岡山	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	広島	中国放送（RCC）	4
		広島テレビ（HTV）	12
		テレビ新広島（TSS）	31
		広島ホーム（HOME）	35
	鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1
		山陰放送（BSS）	10
		山陰中央（TSK）	34
	山口	山口放送（KRY）	11
		山口朝日（YAB）	28
		テレビ山口（TYS）	38
四国	香川	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	愛媛	南海放送（RNB）	10
		愛媛朝日（EAT）	25
		あいテレビ（ITV）	29
		愛媛放送（EBC）	37
	徳島	四国放送（JRT）	1
	高知	高知放送（RKC）	8
		テレビ高知（KUTV）	38
		さんさんテレビ（KSS）	40
九州・沖縄	福岡	九州朝日（KBC）	1
		RKB毎日（RKB）	4
		テレビ西日本（TNC）	9
		TXN九州（TVQ）	19
		福岡放送（FBS）	37
	大分	大分放送（OBS）	5
		大分朝日（OAB）	24
		テレビ大分（TOS）	36
	佐賀	サガテレビ（STS）	36
	長崎	長崎放送（NBC）	5
		長崎国際（NIB）	25
		長崎文化（NCC）	27
		テレビ長崎（KTN）	37
	熊本	熊本放送（RKK）	11
		熊本朝日（KAB）	16
		熊本県民（KKT）	22
		テレビ熊本（TKU）	34
	宮崎	宮崎放送（MRT）	10
		テレビ宮崎（UMK）	35
	鹿児島	南日本放送（MBC）	1
		鹿児島読売テレビ（KYT）	30
		鹿児島放送（KKB）	32
		鹿児島テレビ（KTS）	38
	沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
		琉球放送（RBC）	10
		琉球朝日（QAB）	28
BS放送／CS放送／CATV		日本テレビケーブルニュース	40
		CSN1ムービーチャンネル	49
		チャンネルNECO	50
		ゴルフネットワーク	51
		BS1	71
		BS3	72
		BS5 WOWOW	73
		BS7 NHK衛星第1	74
		BS9 ハイビジョン放送	75
		BS11 NHK衛星第2	76
		BS13	77
		BS15	78
		CNN	81
		MTV	82
		スター・チャンネル	83
		スペースシャワーTV	84
		スポーツ・アイ	85
		衛星劇場	86
		GAORA（ガオラ）	87
		ホームチャンネル	88
		スカイ・A	89
		BBC	91
		ファミリー劇場	92
		スーパーチャンネル	93
		ザ・ゴルフ・チャンネル	94
		朝日ニュースター	99

言語コード一覧表

字幕や音声は、言語コードで表示されることがあります。表示された言語コードから言語名を知ることができます。
以下に言語コードと言語名の対応表を示します。

コード	言語名
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国（朝鮮）語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ（マレー）語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アフォン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ - ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

カントリーコード一覧表

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧表です。

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d’Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile

CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea

GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People’s Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People’s Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia

LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama

PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand

TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱ 水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CS情報センター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町１丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0301

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近　　畿		
滋賀	滋　賀S.S.	(077) 582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	**(06) 6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京　都S.C.	(075) 644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773) 22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	**(06) 6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈　良S.C.	(0744) 24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	**(06) 6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺　S.C.	(072) 254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073) 472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田　辺S.S.	(0739) 22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	**(06) 6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神　戸S.C.	(078) 252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫　路S.S.	(0792) 34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中　　国		
岡山	岡　山S.C.	(086) 243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082) 243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福　山S.S.	(084) 931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山　口S.C.	(083) 973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳　山S.S.	(0834) 27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下　関S.S.	(0832) 51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四　　国		
香川	高　松S.C.	(087) 866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳　島S.C.	(088) 622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高　知S.S.	(088) 882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松　山S.C.	(089) 923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895) 20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
		九　州・沖　縄		
福岡佐賀	福　岡S.C.	(092) 431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942) 39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093) 921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長　崎S.C.	(095) 862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956) 33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大　分S.C.	(097) 543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊　本S.C.	(096) 353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮　崎S.S.	(0985) 24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延　岡S.S.	(0982) 35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099) 282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098) 898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山　　陰		
山陰ビクター販売（株）				
島根	松　江S.C.	(0852) 31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥　取S.S.	(0857) 23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、DVDプレーヤー一体型ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（**138**～**139**ページ参照）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

127～**129**ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

項目	内容
品　名	DVDプレーヤー一体型 S-VHSビデオ
型　名	HR-DS1
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せて お知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　　）　　　－

修理料金のしくみ

項目	内容
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用の本機の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

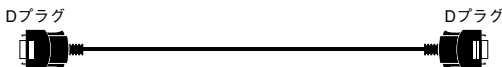
本機は非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

別売品のご案内

映像／音声用接続コード

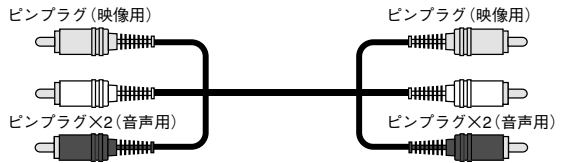
S映像コード
・S端子の接続

VC-S110G（1m）	希望小売価格（税別）	1,000円
VC-S120G（2m）	希望小売価格（税別）	1,200円
VC-S110E（1m）	希望小売価格（税別）	2,200円
VC-S120E（2m）	希望小売価格（税別）	2,600円

コンポーネントビデオコード（D-D）
・D端子付BS/CSデジタルチューナーやテレビを接続する場合

VX-DS110（1m）	希望小売価格（税別）	3,500円
VX-DS120（2m）	希望小売価格（税別）	4,000円

コンポーネントビデオコード（D-ピンプラグ×3）

VX-DS210（1m）	希望小売価格（税別）	4,000円
VX-DS220（2m）	希望小売価格（税別）	4,500円

映像／音声コード
・ビデオとステレオAVテレビとの接続

VX-17G（1m）	希望小売価格（税別）	1,300円
VX-18G（2m）	希望小売価格（税別）	1,500円
VX-410E（1m）	希望小売価格（税別）	2,500円
VX-420E（2m）	希望小売価格（税別）	2,800円

光デジタルケーブル
・光角型端子付CDプレーヤーを光角型端子付アンプに接続する場合

光角型プラグ　　光角型プラグ

XN-110SA（1m）	希望小売価格（税別）	2,000円
XN-120SA（2m）	希望小売価格（税別）	2,400円

アンテナコード

UHF／VHFアンテナコード
・ビデオとテレビアンテナ入力端子などの接続用

F型プラグ　　F型プラグ

VX-22A（1m）	希望小売価格（税別）	900円
VX-23A（2m）	希望小売価格（税別）	1,000円

CS／BSアンテナコード
・BSビデオとBSテレビアンテナ入力端子などの接続用

F型プラグ　　F型プラグ

VX-CS110（1m）	希望小売価格（税別）	2,200円
VX-CS120（2m）	希望小売価格（税別）	2,500円

映像／アンテナコード用変換アダプター

アンテナコード変換用アダプター

VZ-71A	希望小売価格（税別）	600円

アンテナコード変換用アダプター（CS/BS用）

VZ-CS72	希望小売価格（税別）	1,200円

主な仕様

●電源	AC100V　50Hz/60Hz
●消費電力	23W
待機時消費電力*	2.6W
待機時消費電力：時刻表示点灯時	2.6W
待機時消費電力：時刻表示消灯時	2.4W

*省エネ法に定める待機時消費電力です。

●外形寸法	435 mm × 98 mm × 357 mm （幅）（高さ）（奥行き）
●質量	4.8 kg
●許容動作温度	＋5℃〜＋40℃
●許容相対湿度	35%〜80%
●許容保存温度	−20℃〜＋60℃

ビデオ（映像）

●録画・再生方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン 輝度信号　FM方式 色信号　低域変換直接記録方式
●映像信号	NTSC日米標準信号

ビデオディスク

●光ピックアップ	1レンズ2レーザーユニット方式 DVD用：650nm、CD用：780nm
●再生可能ディスク	DVD-R（4.7 GB for General Ver2.0） DVDビデオ 音楽用CD ビデオCD CD-R/RW(CD-DA、ビデオCDフォーマットのディスク)

ハイファイオーディオ（音声）

●録音方式	VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性	20Hz〜20kHz
●ダイナミックレンジ	90dB以上
●ワウ・フラッター	0.005%以下
●チャンネルセパレーション	60dB以上

ノーマルオーディオ（音声）

●録音方式	リニアトラック
●音声トラック	1チャンネル(モノラル)

チューナー（テレビ受信）

●受信方式	周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式	インターキャリア方式
●受信チャンネル	VHF　1〜12チャンネル UHF　13〜62チャンネル CATV　C13(63)〜C63(113)チャンネル

●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

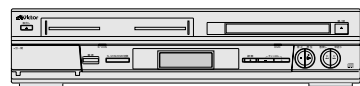
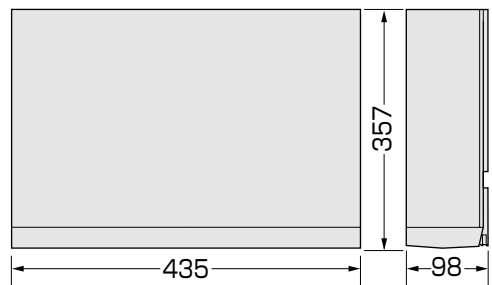
タイマー（タイマー予約・時計）

●タイマー予約	1ヵ月間8番組予約
●時計	12時間表示(午前・午後)方式
●停電補償時間	約60分

接続端子

●アンテナ	75Ω F型コネクター VHF/UHF一軸
●S映像	入力　Yp-p：0.8〜1.2 V　75Ω Cp-p：0.2〜0.4 V　75Ω 出力　Yp-p：1.0 V　75Ω Cp-p：0.29 V　75Ω
●映像	入力　0.5〜2.0Vp-p　75Ω（ピンジャック） 出力　1.0Vp-p　75Ω（ピンジャック）
●音声	入力　−8dBs　50kΩ（ピンジャック） モノ(左)対応 出力　−8dBs　1kΩ（ピンジャック）
●D1映像出力	Yp-p：1.0 V　75Ω CB/CR1、PB/PR p-p：0.7 V　75Ω コピープロテクション対応
●ビデオコントロール入力	3.5φ（ミニジャック）
●光デジタル音声出力	−18 dBm、660nm Dolby Digital、DTS対応 デジタルOUTメニューで選択

テープ走行

●早送り／巻戻し時間　約1分（T-120テープ使用時）
テープによっては早送り／巻き戻しに時間がかかる場合があります。

（単位はmm）

- 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオは日本国内のみ使用できます。
  外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

索　引

アルファベット

3D フォニック 84
A–B リピート 71
BS デジタルリンク予約 112
CATV 接続 111
CM スキップサーチ 53
G コード予約 46
MP3 ディスク 88
S-VHS ET 55
V スタビライズ .... 43、121

ア行

頭出し 52
オート CM カット 53
オートトラッキング 56
オート電源オフ 60
オートピクチャー 58
オーバーラッププログラム機能 47
オンスクリーン 120
音声を選ぶ 57

カ行

カウンターリセット 43
各部の名称
　テレビ画面表示 .... 116 ～ 118
　本体前面 14
　本体背面 15
　本体表示窓 18
　リモコン 16
　可変速再生 54
誤消去防止 45
コマ送り 54

サ行

再生設定メニュー 68
時刻を設定する 40
受信チャンネルの設定 .... 28 ～ 37
　一括チャンネル合わせ 28
　オートチャンネル合わせ 29
　地域番号表 .... 130 ～ 133
　チャンネルスキップ 30
　チャンネル表示変更 34
　微調整 36
　ひとつずつ設定 32
新・快速録画予約 48
スキップ 66
スロー再生 54
静止画再生 54

タ行

ダビング .... 104 ～ 107
チャイルドロック 126
着信予約 114
テープ残量 43
テープレベルアップ 59
ディスプレイオフ 61
電池の入れかた 16
時計合わせ 40
トップメニュー 63
トラッキング調節 56

ナ行

二ヵ国語音声録音 .... 57、121
二重音声放送 57
ノーマル音声 57

ハ行

ハイファイステレオ音声 57
パレンタルロック 98
ピクチャーセレクト 58
ぴったりクロック 40
ぴったり録画 120
日付を設定 40
表示切換 .... 86、87
ブルーバック 121

マ行

ミックス音声 .... 57、121
メニュー画面一覧 116
モード選択の設定内容 .... 120、123

ラ行

リージョン番号 12
リジューム .... 67、123
リピート再生 43
録画予約の確認 50
録画予約の取消し 51
録画予約の変更 51

ワ行

ワンタッチタイマー録画 45

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
138～139ページをご覧ください。	**東京 電話 (03) 5684−9311** **FAX (03) 5684−9317** 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪 電話 (06) 6765−4161** **FAX (06) 6765−4891** 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）450-2550

1202-MN-SW-PJ